

病  
院  
年  
報

令和6年度

白河厚生総合病院

# 病院年報

●令和6年度●



JA福島厚生連  
白河厚生総合病院

# 巻 頭 言

今年も白河厚生総合病院の年報を発刊するにあたり、これまで当院を支えてくださった地域の医療機関、行政、関連大学の皆さまに深く御礼申し上げます。また、地域医療の最前線で日々献身的に取り組んでくれているすべての職員の皆さんに心より感謝いたします。当院は「地域を守り、地域に愛される病院」という理念のもと、地域住民の皆さまに信頼される医療を提供し続けることを使命としています。

令和6年度は、地域医療を支える体制強化に向けた新たな一年となりました。1月には福島県立医科大学救急医療学講座の支援を受け、救急治療科を新設し、より迅速で質の高い救急対応を目指した取り組みを開始しました。救急車受入件数や救急外来患者数は増加傾向にあり、「地域で完結できる医療」を維持する上で、救急医療の充実は不可欠です。多職種が連携し、夜間・休日を含めた切れ目のない対応を強化することは、地域の安心に大きく寄与するものと考えております。診療面では入院延べ患者数99,528名、外来患者数207,337名と前年並み、救急車受け入れ件数は3,445台と増加しました。手術件数は2581件と前年同様でした。

一方で、我が国の医療は2040年問題と呼ばれる大きな節目に向かっていきます。医療・介護の需要がピークを迎える一方、人口減少と医療従事者不足はさらに進み、これまでの延長線では地域医療が立ち行かなくなることが予測されています。この変化は避けられない「時代の流れ」であり、単に従来の体制を守るのではなく、地域で支え合う医療へと転換していく必要があります。そのため当院は、急性期医療を軸にしつつ、回復期・慢性期医療機関との連携の強化、ICTやAIを活用した医療の効率化、タスクシフト／シェアによる人材活用、また地域のかかりつけ医との協働体制構築のため2人主治医制を掲げ、地域の皆様に安心できる医療の提供に取り組んでまいります。医療機能の分担と連携をより一層推し進め、患者さんが「地域で最適な医療を受けられる」体制を守り続けていくことが、これからの地域中核病院の重要な役割と考えています。

また、働く環境づくりも引き続き大切な課題です。高度な医療を支えるのは、何よりも職員一人ひとりの力です。当院は令和6年1月に健康経営宣言を発出しました。全ての職員が心身ともに健康で、やりがいを持ちいきいきと働ける職場環境を実現すること、職員一人ひとりの健康が、医療の質向上に直結することを認識し、地域の皆様へ最良の医療を提供していくことを宣言しました。多様な働き方を尊重し、成長し続けられる環境を整えることで、地域に選ばれる病院であると同時に、職員にも選ばれる病院を目指したいと考えています。

本年報が、当院の歩みを知っていただくとともに、地域の皆さまと共に未来の医療を考える一助となれば幸いです。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年12月吉日

病院長 大木進司

# 本院の理念

## 地域を守り地域の皆様に愛される 病院をめざします

### 基本方針

私たちは、

1. 医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します
1. 県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
1. 患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します
1. 十分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します
1. 使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます
1. 職員の心身の健康を守り、働きやすい環境づくりを推進します

# 目 次

I	病院の概要・組織	
	沿革	2
	病院の概要	3
	病院組織図	4
	職員数の推移	5
	入院・外来患者数	6
	手術室における年間手術件数	8
	主な年間行事	9
II	各診療科	
	総合診療科	15
	第一内科	18
	第二内科	20
	第三内科	22
	呼吸器科	24
	小児科	26
	外科	28
	整形外科	30
	脳神経外科	31
	産婦人科	33
	眼科	35
	耳鼻咽喉科	37
	皮膚科	38
	形成外科	39
	泌尿器科	40
	放射線科	42
	麻酔科	44
	救急治療科	45
	病理診断科	46
	脳神経内科	49
	心臓血管外科	49
	心療内科	49
	研修医	49

III	診療補助部門	
	看護部	53
	薬剤科	56
	放射線科	58
	検査科	63
	リハビリテーション科	65
	栄養科	68
	臨床工学科	70
IV	事務部門	
	医事課	75
	健康福祉課	76
	システム運用課	77
	患者サポートセンター	78
V	併設施設	
	居宅介護支援事業所	85
	訪問看護ステーション	86
	農村健診センター	87
	看護学院	88
VI	臨床研修センター	99
VI	各委員会	105
VII	広報誌「風によせて」	165

## I 病院の概要・組織

## 沿革

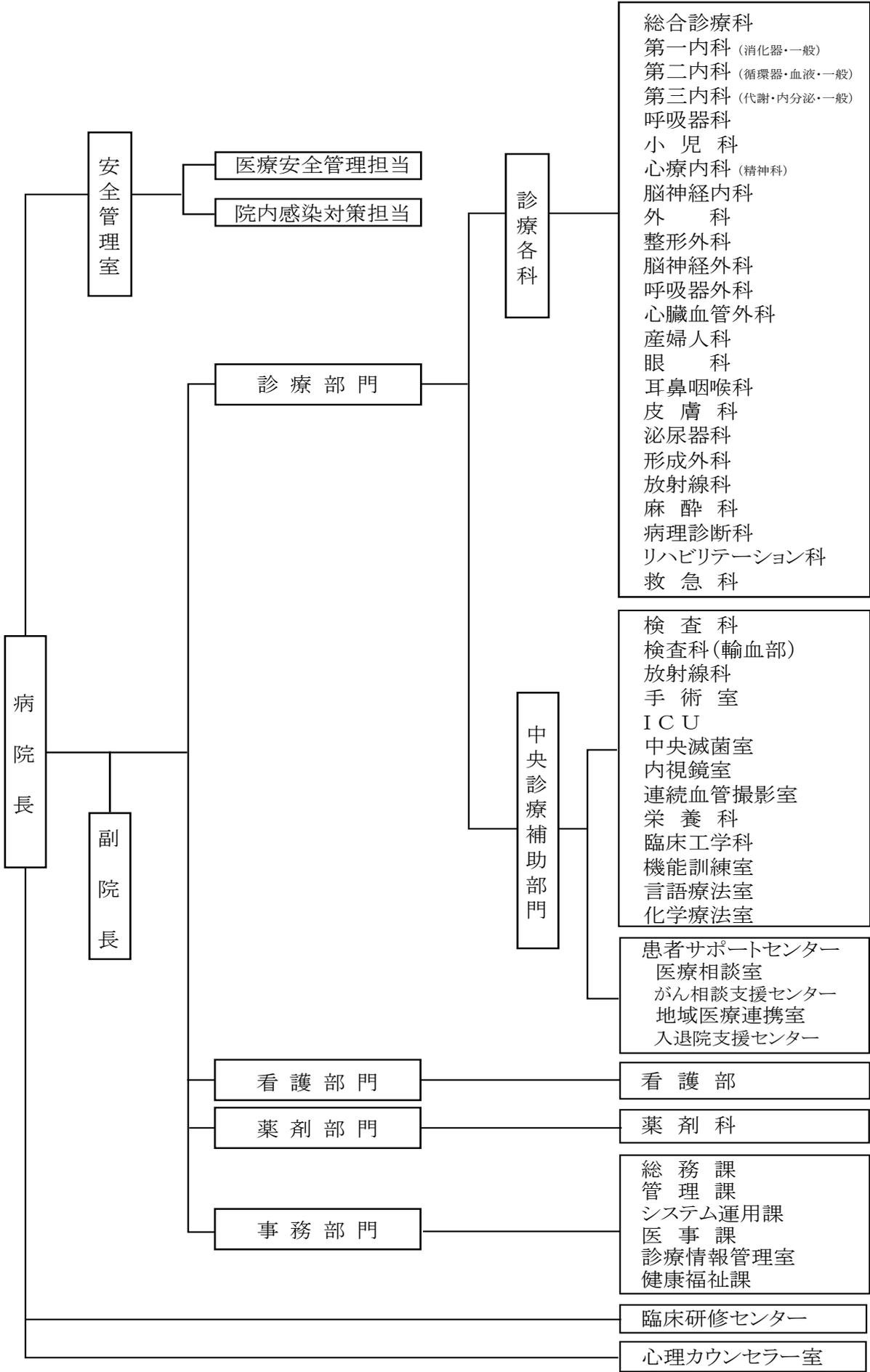
昭和19年10月1日	県農業会白河厚生病院開設（93床）
昭和23年8月14日	県厚生連白河厚生病院 18床増床（111床）
昭和24年11月	病棟増築 50床増（161床）
昭和28年5月	結核病棟新設 20床増（181床）
昭和29年6月	外来診療棟改築
昭和30年3月	結核病棟増築 42床増（223床）
昭和32年6月	結核病棟増築 51床増（274床）
昭和33年7月	総合病院昇格
昭和33年9月	病棟改築、隔離病棟併設（30床）（304床）
昭和36年4月	県厚生連白河高等看護学院開校
昭和36年6月	病棟増築 45床増（349床）
昭和41年5月	病棟増築 41床増（390床）
昭和46年1月	病院近代化増改築工事竣工（地下1階、地上6階）
昭和49年2月	公床増許可 一般350、結核60、隔離30（440床）
昭和49年5月	人工透析装置設置
昭和53年11月	病診療棟増改築工事竣工（西棟）
昭和60年1月	公床増床許可 一般400、結核60、隔離30（490床）
昭和63年8月	公床増床許可 一般455、結核25、隔離30（510床）
平成元年9月	病診療棟増改築工事竣工（東棟）
平成8年8月	災害拠点病院、エイズ診療拠点病院指定
平成11年4月	公床変更許可 一般455、結核25、感染4（484床）
平成11年11月	しらかわ訪問看護ステーション開設
平成12年4月	居宅介護支援事業所開設
平成14年5月	地域リハビリテーション広域支援センター指定
平成14年11月	地域医療連携室設置
平成15年10月	臨床研修病院（基幹型）指定
平成16年1月	病院移転用地決定（17年1月用地取得完了）
平成17年6月	造成工事着工
平成17年12月	建物本体工事着工
平成18年1月	オーダリングシステム稼動
平成20年4月	院内保育施設「なかよし保育園」開設
平成20年5月	新病院開院 471床（一般455、結核12、感染4）
平成20年7月	白河地区小児平日夜間救急外来開設
平成21年4月	付属高等看護学院新校舎開校
平成22年4月	地域がん診療連携拠点病院指定
平成26年5月	電子カルテシステム稼動
平成27年4月	福島県立医科大学寄附講座白河総合診療アカデミー開設
平成27年12月	地域包括ケア病棟開設
平成28年2月	日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0認定
令和3年2月	日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0認定
令和7年1月	救急科開設

# 病院の概要

(令和7年3月31日現在)

名称	福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院
所在地	〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1
電話代表	0248-22-2211
開設者	福島県厚生農業協同組合連合会
規模	敷地面積 157,052㎡ 建物延面積 42,644.53㎡ (付属施設含む)
構造	免震構造・鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上8階地下1階建
付属施設	研修医宿舎、看護学院
駐車台数	約600台
病床数	459床 (一般:455床、感染:4床)
診療科目	総合診療科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、心療内科、小児科、精神科、外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、内視鏡外科、呼吸器外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、泌尿器科(人工透析)、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急治療科
指定	保険医療機関、救急告示病院、新生児医療病院、エイズ治療拠点病院、地域災害医療センター (災害拠点病院)、結核予防法指定医療機関、感染症指定医療機関 (第2種)、病院群輪番制病院、臨床研修指定病院 (基幹型)、労災指定医療機関、育成更生養育医療指定医療機関、生活保護法指定医療機関、地域がん診療連携拠点病院、周産期医療協力施設、急性期一般入院料1、ハイケアユニット入院管理料1
学会認定施設	日本消化器内視鏡学会 指導連携施設、日本消化器病学会 専門医制度認定施設関連施設、日本循環器学会 循環器専門医研修施設、日本血液学会 専門医認定施設、日本高血圧学会 専門医認定施設、日本外科学会 外科専門医制度指定修練施設、日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設、日本臨床栄養代謝学会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設、日本整形外科学会 認定医・専門医研修施設、日本産科婦人科学会 専門医制度専攻医指導施設、日本泌尿器科学会 専門医教育施設、日本がん治療認定医機構 認定研修施設、日本皮膚科学会 認定専門医研修施設、日本麻酔科学会 専門医認定病院 (指導病院)、日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関、日本核医学会 専門医教育病院、日本病理学会 研修登録施設、日本臨床細胞学会 認定施設・教育研修施設、日本臨床腫瘍学会 認定研修施設、日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設、日本女性医学学会 専門医制度 認定研修施設、画像診断管理加算2 画像診断管理認定施設、肺がんCT検診施設認定
併設施設	居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、院内保育施設「なかよし保育園」農村健診センター
主な医療機器設	陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT)、MRI装置 (1.5・3T)、CT装置 (64×2列)、リニアック装置、放射線治療照合装置、放射線治療計画用CT、連続血管撮影装置、核医学画像診断装置 (RI)、各種X線撮影装置、X線TV装置、体外衝撃波結石破碎装置、各種超音波診断装置、人工透析装置、マンモグラフィ撮影装置、骨密度測定装置

# 病院組織図



## 職員数の推移

単位：人

職 種		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		総数	678	693	699	687
診療部門	医 師		79	82	83	88
看護部門	保 健 師		6	7	5	3
	助 産 師		25	19	20	22
	看 護 師		301	317	324	322
	准 看 護 師		16	17	15	15
	看 護 補 助 者		31	30	29	24
技術部門	薬 剤 師		17	16	16	16
	診療放射線技師		24	25	26	25
	臨床検査技師		23	23	24	24
	理学療法士		18	19	17	18
	作業療法士		8	8	8	8
	柔道整復師		0	0	0	0
	管理栄養士		4	5	6	5
	言語聴覚士		4	4	4	4
	視能訓練士		3	3	3	3
	臨床工学技士		16	16	17	15
	臨床心理士		2	1	1	1
事務部門	一 般 職		30	33	33	27
	ケースワーカー		6	6	6	5
	診療情報管理士		4	6	5	3
技 労 員	運 転 手		2	2	2	2
	ボイラー技士		4	4	4	4
	電気主任技師		1	1	1	1
	栄養士・調理師		5	5	4	4
	薬 剤 助 手		2	2	2	2
	放 射 線 助 手		0	0	0	0
	検 査 助 手		1	1	1	1
	理 学 助 手		1	1	1	1
	病 歴 助 手		27	23	24	26
	臨床工学助手		1	1	1	1
	給 食 員		12	11	12	11
	守 衛		0	0	0	0
	被 服・洗 濯		5	5	5	5

## 入院・外来患者数

科 別	令和 6 年 度			
	外 来 (人)	構 成 比 (%)	入 院 (人)	構 成 比 (%)
総合診療科	10,339	5.0	15,724	15.8
第一内科	15,050	7.3	10,637	10.7
第二内科	24,009	11.6	13,506	13.6
第三内科	20,941	10.1	3,888	3.9
呼吸器科	8,904	4.3	3,806	3.8
小児科	13,822	6.7	5,200	5.2
精神科	2,796	1.4	0	0.0
外科	9,232	4.5	9,622	9.7
整形外科	16,857	8.1	8,516	8.6
脳神経外科	5,857	2.8	11,755	11.8
産婦人科	17,232	8.3	5,237	5.3
眼科	9,859	4.8	2,029	2.0
耳鼻咽喉科	3,803	1.8	1,282	1.3
皮膚科	5,930	2.9	91	0.1
泌尿器科	30,810	14.9	7,580	7.6
形成外科	4,353	2.1	505	0.5
放射線科	3,642	1.8	46	0.1
麻酔科	2,464	1.2	59	0.1
救急治療科	118	0.1	45	0.1
心臓血管外科	529	0.3	0	0.0
脳神経内科	790	0.4	0	0.0
合 計	207,337	100.0	99,528	100.0

科 別	令和 5 年 度			
	外 来 (人)	構 成 比 (%)	入 院 (人)	構 成 比 (%)
総合診療科	10,071	4.8	18,458	18.5
第一内科	16,001	7.6	10,412	10.4
第二内科	25,138	12.0	12,615	12.6
第三内科	19,465	9.3	2,561	2.6
呼吸器科	10,450	5.0	3,411	3.4
小児科	12,950	6.2	4,296	4.3
精神科	2,797	1.3	0	0.0
外科	10,125	4.8	10,515	10.5
整形外科	18,364	8.7	9,830	9.9
脳神経外科	5,950	2.8	11,342	11.4
産婦人科	17,287	8.2	5,480	5.5
眼科	8,797	4.2	1,833	1.8
耳鼻咽喉科	3,498	1.7	1,085	1.1
皮膚科	6,642	3.2	25	0.0
泌尿器科	30,120	14.3	7,304	7.3
形成外科	4,381	2.1	464	0.5
放射線科	4,025	1.9	90	0.1
麻酔科	2,587	1.2	53	0.1
心臓血管外科	707	0.3	0	0.0
神経内科	756	0.4	0	0.0
合 計	210,111	100.0	99,774	100.0

科 別	令 和 4 年 度			
	外 来 (人)	構 成 比 (%)	入 院 (人)	構 成 比 (%)
総 合 診 療 科	10,710	5.1	15,765	15.9
第 一 内 科	16,406	7.8	10,170	10.3
第 二 内 科	26,747	12.6	10,845	11.0
第 三 内 科	18,495	8.7	2,671	2.7
呼 吸 器 科	10,450	4.9	3,717	3.8
小 児 科	12,950	6.1	4,344	4.4
精 神 科	2,797	1.3	0	0.0
外 科	10,125	4.8	11,045	11.2
整 形 外 科	18,364	8.7	10,778	10.9
脳 神 経 外 科	5,950	2.8	11,622	11.8
産 婦 人 科	17,287	8.2	7,691	7.8
眼 科	8,797	4.2	1,811	1.8
耳 鼻 咽 喉 科	3,498	1.7	1,390	1.4
皮 膚 科	6,642	3.1	282	0.3
泌 尿 器 科	30,120	14.2	5,718	5.8
形 成 外 科	4,381	2.1	962	1.0
放 射 線 科	4,025	1.9	32	0.0
麻 酔 科	2,587	1.2	60	0.1
心 臓 血 管 外 科	707	0.3	0	0.0
脳 神 経 内 科	756	0.4	0	0.0
合 計	211,794	100.0	98,903	100.0

科 別	令 和 3 年 度			
	外 来 (人)	構 成 比 (%)	入 院 (人)	構 成 比 (%)
総 合 診 療 科	8,864	4.3	14,751	14.4
第 一 内 科	15,814	7.8	9,689	9.5
第 二 内 科	25,690	12.6	11,973	11.7
第 三 内 科	18,437	9.0	2,584	2.5
呼 吸 器 科	10,105	5.0	4,191	4.1
小 児 科	11,548	5.7	4,933	4.8
精 神 科	2,756	1.4	0	0.0
外 科	9,957	4.9	11,106	10.8
整 形 外 科	18,254	8.9	10,982	10.7
脳 神 経 外 科	5,985	2.9	13,440	13.1
産 婦 人 科	17,420	8.5	7,940	7.8
眼 科	8,336	4.1	1,286	1.3
耳 鼻 咽 喉 科	3,772	1.9	1,575	1.5
皮 膚 科	5,790	2.8	50	0.1
泌 尿 器 科	28,726	14.1	6,887	6.7
形 成 外 科	4,472	2.2	924	0.9
放 射 線 科	3,949	1.9	68	0.1
麻 酔 科	2,713	1.3	119	0.1
心 臓 血 管 外 科	695	0.3	0	0.0
脳 神 経 内 科	830	0.4	0	0.0
合 計	204,113	100.0	102,498	100.0

## 手術室における年間手術件数

単位：件

	全 麻	脊 麻	硬 麻	局 麻	合 計
第一内科	1	0	0	0	1
呼吸器科	73	0	0	35	108
外 科	411	19	0	95	525
整形外科	275	4	61	38	378
脳神経外科	70	0	3	65	138
産婦人科	126	77	0	3	206
眼 科	9	0	41	817	867
耳鼻咽喉科	0	0	0	1	1
形成外科	17	0	0	69	86
泌尿器科	210	0	0	61	271
合 計	1,192	100	105	1,184	2,581

	定 時	臨 時	緊 急	麻酔科管理	呼 出
4 月	193	29	33	120	4
5 月	171	32	22	107	6
6 月	169	26	18	100	2
7 月	176	33	31	115	0
8 月	131	34	23	101	9
9 月	156	22	14	90	4
10 月	181	28	26	112	2
11 月	151	35	18	96	2
12 月	156	23	17	103	0
1 月	138	36	17	95	2
2 月	151	44	23	111	5
3 月	172	27	25	115	5
合 計	1,945	369	267	1,265	41

## 主な年間行事

令和6年度	
月 日	行 事
令和6年4月1日	新入職員入会式 新入職員オリエンテーション（1日～5日）
8日	白河厚生総合病院附属高等看護学院入学式
15日	白河地方病院輪番制病院協議会総会
16日	輸血療法研修会
30日	第1回管理者会議
5月16日	院内感染対策研修会 「抗菌薬の適切な使用」 「新興感染症への備え」 「標準予防策、手指衛生、個人防具について」
24日	院内感染対策研修会 「抗菌薬の適切な使用」 「新興感染症への備え」 「標準予防策、手指衛生、個人防具について」
29日	第1回医療の質向上委員会
29日	第2回管理者会議
6月7日	院内感染対策研修会 「抗菌薬の適切な使用」 「新興感染症への備え」 「標準予防策、手指衛生、個人防具について」
8日	新人職員研修会
15日	福島県農村医学会
27日	医療安全対策研修会 「令和5年度インシデント・アクシデント報告」 「画像診断・病歴診断報告書の確認不足に対する当院取り組みについて」 「2023年度医療安全風土院内アンケート結果報告」 「虐待・DV担当者からの報告」 「呼吸器ケアチーム活動について」
28日	第3回管理者会議
7月2日	CVポート管理研修会
3日	医療安全対策研修会 「令和5年度インシデント・アクシデント報告」 「画像診断・病歴診断報告書の確認不足に対する当院取り組みについて」 「2023年度医療安全風土院内アンケート結果報告」 「虐待・DV担当者からの報告」 「呼吸器ケアチーム活動について」
4日	医療安全対策研修会 「令和5年度インシデント・アクシデント報告」

令和6年度	
月 日	行 事
4日	「画像診断・病歴診断報告書の確認不足に対する当院取り組みについて」 「2023年度医療安全風土院内アンケート結果報告」 「虐待・DV担当者からの報告」 「呼吸器ケアチーム活動について」
20日	管理職員研修会
24日	内部監査（前期）～25日
25日	ME機器研修会
29日	第2回医療の質向上委員会
31日	第4回管理者会議
8月1日	病院運営委員会
7日	令和6年度初期臨床研修医採用面接試験
9日	永年勤続功労職員表彰式（30年）
13日	永年勤続功労職員表彰式（20年）
21日	令和6年度初期臨床研修医採用面接試験
24日	中堅職員研修会
28日	令和6年度初期臨床研修医採用面接試験
30日	第5回管理者会議
9月6日	院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌について」 「厚生労働者の定める抗菌薬適正使用の手引をもとに疾患、治療、感染対策について」
13日	災害対策委員会トリアージ研修会
19日	院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌について」 「厚生労働者の定める抗菌薬適正使用の手引をもとに疾患、治療、感染対策について」
26日	令和6年度上半期定期監査（～27日）
27日	院内感染対策研修会 「薬剤耐性菌について」 「厚生労働者の定める抗菌薬適正使用の手引をもとに疾患、治療、感染対策について」
30日	第3回医療の質向上委員会 第6回管理者会議
10月1日	福島県南地区化学療法研修会 「知っておきたい前立腺癌の最新知見」
22日	接遇研修会
26日	三年目職員研修会
26日	白河厚生総合病院附属高等看護学院継灯式
30日	接遇研修会
31日	第7回管理者会議
11月2日	緩和ケア研修会in白河

令和6年度	
月 日	行 事
14日	福島県国民保護共同訓練
14日	保険診療研修会
16日	事務職員研修会
22日	第8回管理者会議
25日	第4回医療の質向上委員会 医療安全対策研修会 「医療安全と個人情報漏洩防止について」
27日	医療法第25条に基づく病院に対する保健所立入検査
29日	内部監査（後期）
28日	医療安全対策研修会 「医療安全と個人情報漏洩防止について」
12月5日	県南地区緩和医療研修会 「若年世代・AYA世代の緩和ケア～意思決定支援とACPが目指すもの～」
12月4日	医療安全対策研修会 「医療安全と個人情報漏洩防止について」
12月20日	クリスマスコンサート
27日	第9回管理者会議
28日	仕事納め式
令和7年1月6日	仕事始め式
21日	令和6年度第5回医療の質向上委員会
28日	第10回管理者会議
2月17日	令和6年度下半期定期監査（～18日）
22日	院内災害防災訓練
28日	第10回管理者会議
3月14日	職員全体送別会
3月4日	白河厚生総合病院附属高等看護学院卒業証書授与式
5日	福島県南地区放射線療法研修会 「放射線治療による抗腫瘍免疫の活性化と、それを利用した治療法の開発」
11日	SHIRAKAWA-AWARD表彰式
13日	第6回医療の質向上委員会
14日	専攻医修了式
19日	身体的拘束についての研修会
21日	令和6年度研修医修了式
31日	第12回管理者会議

## Ⅱ 各 診 療 科

# 総合診療科

## 診療体制

- 宮下 淳 : 部長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本専門医機構総合診療専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本臨床疫学会臨床疫学上席専門家)
- 高田 俊彦 : 副部長 (日本内科学会総合内科専門医、総合診療専門研修特任指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本臨床疫学会臨床疫学上席専門家)
- 鈴木 龍児 : 副部長 (日本内科学会総合内科専門医)
- 三倉 直 : 科長 (日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会呼吸器専門医)
- 小坂 明博 : 科長 (日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・認定・指導医)
- 相田 雅司 : 科長／フェロー (日本内科学会総合内科専門医、日本小児科学会小児科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医)
- 吉田 健二 : 科長／フェロー (日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医、日本頭痛学会頭痛専門医)
- 岡野 希恵 : 医長 (内科専門医)
- 加藤 常充 : 医員
- 町田 萌子 : 医員 (内科専門医)
- 大宮 萌子 : 医員
- 菅野 裕樹 : 医員
- 吉田 帆南 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	14,751	15,765	18,488	16,876
外来患者延数	8,864	10,710	10,071	10,339

### 【診療のあゆみ】

私達、福島県立医科大学 白河総合診療アカデミーは、臨床と研究を「車の両輪」として質の高い医療を実現するため、広さと深さと発信力のある内科医を養成することをミッションとし、その実践の場として、平成27年4月に白河厚生総合病院内に総合診療科を開設し、今年度は開設後十年目となりました。今年度は教員、フェロー、専攻医あわせて13名（5名が専攻医）の体制で診療及び研究を行ってきました。

診療範囲は当初の、診断未確定・困難例、感染症、脳梗塞、膠原病、悪性腫瘍に加え、集中治療を要する重症患者、マンパワー不足の診療領域（呼吸器疾患、神経疾患、皮膚疾患）、高齢者のマルチモビディティ患者も担当しており、常時40～60名程度の入院患者に対応しています。外来患者も延べ数が10,000人を越え、1日50名を越える日も少なくない状態です。さらに、当院に併設されているJA福島厚生連農村健診センターに出向して在宅訪問診療にも従事しており、年間延べ1885回の往診・訪問診療を行い、74名の患者さんを在宅でお看取りしました。

研修医教育では、初期研修医の総合診療科研修（2か月）、救急科研修（2か月）の教育を担当しており

ます。また初期研修医向けの勉強会も主催し、初期研修医教育の中心を担っております。

さらに、救急外来での日中の救急車初期対応をすべて総合診療科が行っています。総合診療科設立時と比較して救急搬送台数は年間1,000台程度増えており、今年度は3,445台となりました。

研究面では、今年度9編（10年間で106編）の英文原著論文がアクセプトされ、着実な成果を上げています。引き続き研究でも発進力強化に努めていきます。

## 業 績

### 講 演

- 1 吉田健二 令和6年度第1回元気からだ塾 2024.6.25 福島
- 2 宮下 淳 お寺で終活 第22回終活セミナー 2024.8.17 東京
- 3 宮下 淳 福島済生会病院臨床倫理講演会. 2024.9.17 福島
- 4 高田俊彦 小学生へる塩プロジェクト減塩教育  
2024.7.5 2025.11.15 2025.12.20全3回 福島

### 学会発表

- 1 Breakthroughに乗り遅れない！AIと切り開くこれからの臨床研究 -文献検索編-  
高田俊彦  
白河厚生総合病院 総合診療科  
日本臨床疫学会 第7回年次学術大会 2024.11.2-3 東京
- 2 宗教・宗派を越えた普遍的信仰理由尺度(Scale of Motives for Faith)の開発及び妥当性・信頼性の検証  
宮下 淳  
白河厚生総合病院 総合診療科  
日本臨床疫学会第7回年次学術大会 2024.11.1-3 東京
- 3 Breakthrough に乗り遅れない！AIと切り開くこれからの臨床研究  
高田俊彦  
白河厚生総合病院 総合診療科  
PCRConnect第6回年次集会 2024.12.7-8 オンライン
- 4 市中のプライマリケア医はどうやって臨床研究を系統的に学ぶか  
鈴木龍児  
白河厚生総合病院 総合診療科  
PCRConnect第6回年次集会 2024.12.7-8 オンライン
- 5 日本における在宅医療研究の現状と今後の展望  
小坂明博  
白河厚生総合病院 総合診療科  
PCRConnect第6回年次集会 2024.12.7-8 オンライン

- 6 ANCA関連血管炎とIgG4関連疾患の鑑別を要した肥厚性厚膜炎の一例  
吉田帆南  
白河厚生総合病院 総合診療科  
日本内科学会東北支部第234回東北地方会 2025.2.14-15 仙台  
日本臨床疫学会 第6回年次学術大会(WT4) 2023.11.12 東京

#### 原著論文

- 1 Katayama K, Nishizaki Y, Takada T, Kataoka K, Houchens N, Shimizu T, et al. The relation between resident mentorship and in-training examination scores: A nation-wide, cross-sectional study in Japan. *J Gen Fam Med.* 2024;25(5):249-55.
- 2 Takada T, Hoogland J, Fujii K, Kudo M, Sasaki S, Yano T, et al. Added value of inflammatory markers to vital signs for predicting mortality in patients with suspected infection: external validation and model development. *Intern Emerg Med.* 2024.
- 3 Katayama K, Takada T, Nishizaki Y, Nagasaki K, Shimizu T, Yamamoto Y, et al. Self-Reported Time-at-Bedside and Its Association with In-Training Examination Scores of Residents in Japan. *J Gen Intern Med.* 2024.
- 4 Kudo M, Takada T, Fujii K, Sasaki S, Yagi Y, Yano T, et al. Added Value of Shaking Chills for Predicting Bacteremia in Patients with Suspected Infection. *J Gen Intern Med.* 2025;40(4):796-802.
- 5 Imamoto M, Takada T, Sasaki S, Onishi Y. Development of a Culinary Intervention (Cooking Class) for Salt Reduction in Japanese Home Cooking: Strategies and Assessment. *AJPM Focus.* 2024;3(3):100227.
- 6 Takada T, Yoshida K, Hamaguchi S, Fukuhara S. Role of inflammatory markers in the assessment of meningitis in adult patients with fever and headache. *J Infect Chemother.* 2024;30(11):1134-40.
- 7 Miyashita J, Kishigami H, Nabeshima N, Taniyama Y, Kamata T, Terao K, Kohara K, Shinohe J, and Yamamoto Y. Development and Validation of the Scale of Motives for Faith in Japan. *J Relig Health.* 2025.
- 8 Inokuchi R, Takada T, Iwagami M, Sasaki T, Sugiyama T, Maehara H, Gunshin M, Shinohara K, Tamiya N, Doi K. Developing and Updating Differential Diagnosis Tables in Emergency Medicine for Potentially Life-Threatening Diseases. *J Emerg Med.* 2025;73:34-41.
- 9 Kudo M, Sasaki S, Takada T, Fujii K, Yagi Y, Yano T, Sada K, Fukuhara S, Suganuma N. Predicting 30-day mortality in older patients with suspected infections by adding performance status to quick sequential organ failure assessment. *J Gen Fam Med.* 2025;26(3):238-45.

# 第一内科

## 診療体制

- 岡本 裕正 : 副院長、部長（東北大学臨床教授、東北医科薬科大学臨床教授、総合内科専門医、指導医、消化器病専門医、指導医、肝臓病専門医、消化器内視鏡専門医、ICD）
- 小林 茂之 : 副部長（内科認定医、産業医）
- 岡本 大祐 : 科長（総合内科専門医、消化器内視鏡専門医、消化器病専門医）
- 高橋 貴一 : 科長（内科認定医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医）
- 笹崎 早織 : 医員
- 佐々木 祥 : 医員
- 長島 智里 : 医員

肝疾患：岡本、上部消化管：小林、高橋 下部消化管：岡本(大)

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	9,689	10,170	10,412	10,637
外来患者延数	15,814	16,406	16,001	15,050

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上部内視鏡	3,180	2,999	3,055	3,099
下部内視鏡	1,190	1,130	1,208	1,491
上下消化器内視鏡治療	316	327	410	439
胆・膵内視鏡治療	138	147	149	119
超音波内視鏡	47	40	63	52
ラジオ波治療+エタノール局注治療法	2	0	5	6
超音波検査（エコー）	4,485	4,267	4,268	4,368

## 【診療のあゆみ】

令和6年度は人事の面では大きな動きはありませんでしたが、専門医研修を受けていた笹崎先生と西村先生が東北大学へ戻られました。笹崎先生と西村先生は当院で研修しながら私生活でも婚約され新しい生活を踏み出すこととなりました。今後も益々の活躍を期待したいと思います。また新しい専門医研修医として佐々木先生と長島先生が4月より後期研修をスタートさせ内視鏡をはじめ病棟主治医として診療に研鑽されています。新型コロナも5類となり当科でも時々小規模なクラスターは生じるものの大規模な診療制限に至ることはありませんでした。

上部消化管検査は紹介数も増え小林先生、高橋先生を中心にESD治療や胃食道静脈瘤の硬化療法の症例数が増え、難しい症例では大学から八田先生を招聘し取り組みました。また免疫チェックポイント阻害薬を主とした胃癌の化学療法も増えておりパネル診断治療前診断が重要となっています。下部消化管疾患はESD症例の増加以外に炎症性腸疾患の患者さんも増え、岡本大祐先生を中心に治療に忙しい1年でした。

特に生物学的製剤の進歩が目覚ましく奏功例も多数みられ、化学療法室が不足してきている現状であります。

胆膵疾患は大学からの応援医師である三浦先生を中心に総胆管結石の内視鏡的治療、悪性疾患のステント治療、またEUS-FNAでの診断などで手術症例も増えてきています。三浦医師は専門研修医の指導にも熱心であり当院の専門医研修でのERCP習得に大きく貢献していただいております。

肝疾患の治療では肝細胞癌に対する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の症例数が増えコンバージョン手術に持ち込める症例もありこれまでは緩和療法に移行していた症例が根治を考えた治療へシフトしてきています。今後は肝予備能を維持しながら治療の切り替えをいかにタイミングよく行うことが課題となります。

## 業 績

### 学会発表

- 1 ウステキヌマブによる寛解維持療法中に間質性肺炎を発症した潰瘍性大腸炎の一例

長島智里

白河厚生総合病院 第一内科

日本消化器病学会東北支部第218回例会 2025.2.7-8 仙台

## 第二内科

### 診療体制

- 前原 和平 : 名誉院長（日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器科学会専門医、福島県立医科大学臨床教授・客員教授）
- 齋藤 富善 : 副院長兼部長（日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器科学会専門医、日本高血圧学会指導医・専門医、福島県立医科大学臨床教授・客員講師）
- 三田 正行 : 副院長兼血液腫瘍センター長（日本内科学会認定内科医・指導医、日本血液学会指導医・専門医、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学臨床教授）
- 中村 研一 : 副部長兼検査科部長
- 泉田 次郎 : 部長（日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医）
- 松本 勇人 : 副部長（日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会指導医・専門医）
- 大和田卓史 : 副部長（日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会 認定医）  
日本救急医学会認定ICLSコースディレクターインストラクター）
- 渡邊 俊介 : 科長（日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会 認定医）
- 廣坂 諒 : 医長
- 亀井奈緒美 : 医員

### 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	11,973	10,845	12,615	13,506
外来患者延数	25,690	26,747	25,138	24,009

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
心臓カテーテル検査	268	216	201	206
冠動脈形成術（PCI）	164	133	118	124
ペースメーカー植込み	27	65	26	38
心筋梗塞治療	68	67	42	58

入院患者実数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
悪性リンパ腫	47	59	54	51
急性白血病	16	13	24	26
骨髄腫	18	14	21	19
骨髄異形成症候群	9	6	6	5
血液疾患全体	96	97	115	115

## 【診療のあゆみ】

令和6年度は循環器として前原、斎藤、泉田、渡邊、廣坂の6人で担当しました。

この1年を振り返ってみると、コロナ禍の影響も徐々に無くなりカテーテル検査・治療数、ペースメーカー治療も増加しておりました。病棟での心不全診療は、高齢化に伴い患者の増加はありましたが、治療薬の選択肢も増え再入院となる患者は減少しておりました。月1回行っている心不全カンファランスでは多職種連携を図り、再増悪・再入院の予防に努めてまいりました。外来診療では患者さんの増加に伴い、診療時間・待ち時間も長くなっており、患者さんだけでなく対応するスタッフの負担にもなっており、今後の課題と考えております。

令和6年、血液内科の入院患者は、悪性リンパ腫、骨髄腫、白血病、骨髄異形成症候群などの血液腫瘍が90%以上を占めています。近年、新たな分子標的治療薬が次々と登場し、放射線治療の進歩もあり、血液腫瘍の治療成績が向上しています。造血幹細胞移植が適応になる患者には、福島医大や県外の施設を紹介しております。血液専門医が不足し県内の血液内科が縮小傾向にある影響から、令和5年以降、県南医療圏の圏外から受診する患者が増加しています。日本血液学会認定血液専門医・指導医（三田、松本）、内科専攻医（亀井）が常勤し、医療スタッフとカンファレンスを行いながら、質の高い医療を提供できるように心がけました。高齢患者が多く基礎疾患や合併症により治療困難になるケースもありますが、満足いただけるように努めております。福島医大血液内科と連携し池添教授による外来診療も継続しております。

## 業 績

### 学会発表

- CTO入口部が判別しにくいLADCTOPCIの一例  
大和田卓史  
白河厚生総合病院 第二内科  
ADATARALIVEDEMONSTRATION 2024.6.5-7 郡山
- ダサチニブ維持療法中に髄膜再発を認めたPh染色体陽性急性リンパ性白血病の1例  
小林一造<sup>2)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第232回日本内科学会東北地方会 2024.6.22 仙台 若手奨励賞受賞
- 顔面神経麻痺が出現し中枢神経浸潤を認めた急性前骨髄球性白血病の再発例  
萩野莉沙<sup>2)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第233回日本内科学会東北地方会 2024.9.21 WEB
- 皮膚腫瘍の再発を繰り返し骨髄病変により診断が確定した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例  
山元 想<sup>3)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>、野沢佳弘<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 病理診断科  
3) 白河厚生総合病院 研修医  
第234回日本内科学会東北地方会 2025.2.15 仙台

## 第三内科

### 診療体制

- 草野 良郎 : 部長（日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医、福島県県民健康調査「甲状腺超音波検査」検査者 認定医）
- 平井 裕之 : 副部長（日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医）
- 森谷 千尋 : 科長（日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医、日本内分泌学会専門医・指導医、日本病態栄養学会病態栄養専門医NSTコーディネーター、日本医師会認定産業医）
- 岩崎 剛史 : 科長（日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医）
- 矢吹 峻也 : 医員

### 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	2,584	2,671	2,561	3,888
外来患者延数	18,437	18,495	19,465	20,941

#### 【診療のあゆみ】

平成23年4月から常勤体制で診療しています。令和2年4月から当科が日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰに認定され、糖尿病専門医取得の研修が可能になりました。令和5年4月から当院で初期臨床研修をされた矢吹峻也先生が糖尿病内分泌専門医を目指して当科で専門研修を開始しています。当科の担当疾患は本態性高血圧症、2次性高血圧症、各種内分泌疾患、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症及び腎疾患です。内分泌疾患は甲状腺と副腎疾患が多く、さらに糖尿病患者も多く現在約800名以上の糖尿病患者が通院しております。慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群及び透析患者は、腎臓専門医の岩崎先生が当院泌尿器科及び福島県立医科大学大腎臓内科と連携して診療しています。当科の担当疾患は生活習慣病の範疇にはいる疾患が多く、治療薬の進歩などにより外来診療が中心となります。患者の個々の病態を考慮したエビデンスに基づいた治療を行っていきたいと考えています。

## 業績

### 論文

- 1 Case report: Strong GAD antibody positivity and type 1 diabetes-HLA-susceptible haplotype-DRB1\*04:05-DQB1\*04:01 in a Japanese patient with immune checkpoint inhibitor-induced type 1 diabetes. Yabuki S, Hirai H, Moriya C, Kusano Y, Hasegawa T. Front Endocrinol (Lausanne). 2024 May 22;15:1407192.
- 2 Initial spinal epidural hematoma symptoms mimic artery dissection. Yabuki S, Hirai H, Miyajima M, Moro T. Clin Case Rep. 2024 Mar 8;12(3):e8652.

### 学会発表

- 1 Young - onset type 2 diabetes mellitus enhances proteinuria, but not glomerular filtration rate decline: A Japanese cohort study  
Journal of Diabetes Investigation  
2024-10 | Journal article  
DOI: 10.1111/jdi.14272  
Contributors: Haruka Saito; Hayato Tanabe; Hiroyuki Hirai; Moritake Higa; Kenichi Tanaka; Satoshi Yamaguchi; Gulinu Maimaituxun; Hiroaki Masuzaki; Junichiro J Kazama; Michio Shimabukuro
- 2 Case report: Strong GAD antibody positivity and type 1 diabetes-HLA-susceptible haplotype-DRB1\*04:05-DQB1\*04:01 in a Japanese patient with immune checkpoint inhibitor-induced type 1 diabetes  
Frontiers in Endocrinology  
2024-05-22 | Journal article  
DOI: 10.3389/fendo.2024.1407192  
Part of ISSN: 1664-2392  
Contributors: Shunya Yabuki; Hiroyuki Hirai; Chihiro Moriya; Yoshiro Kusano; Takeo Hasegawa
- 3 やっぱり必要なカーボカウント～1型糖尿病患者に接して～  
齋須裕美<sup>1)</sup>、会田望美<sup>2)</sup>、鈴木博恵<sup>1)</sup>、森谷千尋<sup>3)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 栄養科  
2) 塙厚生病院 栄養科  
3) 白河厚生総合病院 第三内科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

# 呼吸器科

## 診療体制

長谷川剛生 : 部長 (日本外科学会専門医、呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医  
日本がん治療認定医機構認定医、肺がんCT検診認定医、日本胸部外科学会専門医会員、  
福島県立医科大学 臨床教授)

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	4,191	3,717	3,411	3,806
外来患者延数	10,105	10,450	9,676	8,904

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間手術	74	107	107	113
全身麻酔	60	54	62	74
局所麻酔	14	53	45	39
(手術の内訳)				
肺悪性腫瘍手術	34	30	30	39
気胸手術	7	9	9	14
縦隔腫瘍手術	1	0	2	2
膿胸手術	2	4	5	8
その他	30	64	61	50

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
気管支鏡	63	52	36	26

## 業績

### 学会発表

- 左上葉切除術後急性期に腎袖塞をきたした袖袖1例  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
第41回日本呼吸器外科学会 2024.5.30-31 軽井沢
- 膿胸術後線維素溶解療法追加後に血胸を生じ再手術を要した1例  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

## 講演

- 1 症例ディスカッション『IV期非小細胞がん症例ディスカッション』パネリスト  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
Immuno-Oncology Conference 2024.8.28 宇都宮
- 2 大鵬薬品工業社内研修会  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
2024.9.3 白河
- 3 Astrazeneca Expert Summit  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
2024.11.22 東京
- 4 肺癌県中・県南地域セミナー小野薬品工業  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
2024.12.17. 郡山

## 論文

- 1 Shunya Yabuki, Hiroyuki Hirai, Chihiro Moriya, Yoshiro Kusano, Takeo Hasegawa. Case report: Strong GAD antibody positivity and type 1 diabetes-HLA-susceptible haplotype-DRB1\*04:05-DQB1\*04:01 in a Japanese patient with immune checkpoint inhibitor-induced type 1 diabetes. *Frontiers in Endocrinology (Lausanne)* 15: 1407192, 2024
- 2 膿胸術後繊維素溶解療法追加後に血胸を生じ再手術を要した1例  
長谷川剛生  
白河厚生総合病院 呼吸器科  
福島県農村医学会雑誌 P63(1) 2025.11.13

# 小 児 科

## 診療体制

- 村井 弘通 : 部長 (日本小児科学会小児科専門医、福島県立医科大学客員准教授)  
菅野 修人 : 副部長 (日本小児科学会小児科専門医、日本アレルギー学会専門医)  
齋藤 康 : 科長 (日本小児科学会小児科専門医・指導医、災害時小児周産期リエゾン養成研修課程修了)  
渡邊 涼介 : 医長 (日本小児科学会小児科専門医)  
渡邊みずき : 医長

## 診療実績

利 用 者 数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入 院 患 者 延 数	4,933	4,344	4,296	5,200
外 来 患 者 延 数	11,548	12,950	13,583	13,822

### 【診療のあゆみ】

令和6年度の当院小児科は常勤医5人体制(村井、菅野、齋藤、渡邊涼介、渡邊みずき)で診療に従事しております。当院は県南唯一の小児科入院機関施設であるため、日々様々な症例を診察しています。

外来診療におきましては、午前中は予約外の一般診療を中心に行っております。午後は一か月健診や予防接種、慢性疾患の予約外来を行っておりますが、終日他院からの紹介を受けております。専門性を要する疾患につきましては福島県立医科大学から専門医を派遣していただき、毎週火曜日は小児循環器外来、第1・第3月曜日は神経外来を行っていただいております。また、救急搬送症例につきましても、県南地域に留まらず一部の県中地域、栃木県北部からの受け入れも行っております。

病棟業務に関しましては、前述の通り県南での小児科入院機関は当院だけであるため、多様な疾患の入院の受け入れを行っております。昨年はマイコプラズマの大流行などの影響もありましたが、年間772名の入院数がありました。これは直近5年間で最も多い人数であり、新型コロナウイルス流行前と比較しましても増加しておりました。県南小児医療の砦として今後も邁進していく所存です。

教育関連では、福島県立医科大学のBSLアドバンスコースや東北医科薬科大学の医学部6年生の臨床実習の受け入れを行っております。また、研修医や看護師などへの勉強会なども定期的開催し、臨床現場に即した教育で県南の小児医療の発展に努めております。その他にも、専攻医などの若手医師には積極的に小児科学会や農村医学会での発表を行い、論文作成などの指導も行っております。

## 業 績

### 講 演

- 1 小児救急市民公開フォーラム from 福島  
齋藤 康  
白河厚生総合病院 小児科  
オンラインセミナー 2024.11.24

### 学会発表

- 1 腰部の疼痛性皮下浮腫と陰茎の浮腫性紅斑を認めたIgA血管炎の症例  
渡邊みずき、齋藤康、渡邊涼介、菅野修人、村井弘通  
白河厚生総合病院 小児科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

# 外科

## 診療体制

- 大木 進司 : 院長（日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本消化管学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本食道学会食道科認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、福島県立医科大学医学部特任教授、福島県立医科大学臨床教授）
- 土井 孝志 : 副院長兼外科部長兼化学療法部長兼医療福祉連携部長（日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医・乳がん検診超音波検査実施・判定医師、日本医師会認定産業医、東北大学医学部臨床教授（胃腸外科）、東北医科薬科大学臨床教授）
- 竹村 真一 : 部長（日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本臨床肛門病学会臨床肛門病認定医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、東北大学医学部臨床准教授（肝胆膵外科））
- 青木 豪 : 副部長（日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本膵臓学会認定指導医制度指導医）
- 遠山 慎吾 : 科長（日本外科学会外科専門医、日本外科学会外科、日本消化器外科学会消化器外科専門医）
- 遠藤 英成 : 科長（日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認証医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化管学会胃腸科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍専門医、日本食道学会食道科認定医）
- 坂本 有 : 医長
- 蒔田 真基 : 医員
- 佐藤 正樹 : 医員
- 寺下 茅夏 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	11,106	11,045	10,515	9,622
外来患者延数	9,957	10,125	9,737	9,232

	令和3年度	令和4年度	令和5年	令和6年
全手術症例数	544	520	548	526
全身麻酔	439	388	395	396
腰椎麻酔	32	40	38	27
(主な手術の内訳)				
胃手術	29	30	21	24
小腸・大腸手術	81	79	75	78
胆道手術	58	55	47	36
その他消化器手術	58	80	73	51
乳腺手術	43	49	35	32
虫垂手術	39	38	26	29
ヘルニア	104	90	90	97
肛門手術	67	41	80	71
全手術のうち腹腔鏡下手術	239	248	203	219

### 【診療のあゆみ】

令和6年度は、前年度のメンバー（土井、竹村、青木、遠山、医局派遣医）に加え4月から遠藤英成先生が新たに加わり6人体制となりました。大木進司病院長には、消化管の鏡視下手術に参加して頂いております。

令和6年4月から「医師の働き方改革」がスタートし、これまで以上に労働時間を意識しながら診療に従事するようになりましたが、休日や年末年始には関連医局からの応援をいただきながら診療体制を維持しています。

取り扱う疾患は、消化器疾患と入選疾患が中心で、癌診療や緊急手術など地域のニーズに可能な限り対応できる様に心掛けています。

県南地域の基幹病院として診療レベルの一層の向上を目指すべく、東北大学総合外科医局から石田孝宜教授（乳腺外科）および西條文人講師（消化器外科）に、自治医大さいたま医療センター一般消化器外科からは、力山敏樹教授に定期的に来院・ご指導頂いております。

## 業 績

### 学会発表

- Gemcitabine+Nab-Paclitaxel療法により癌性腹水が改善した原発不明癌腹膜播種の1例  
竹村真一、青木 豪、遠山慎吾、遠藤英成、土井孝志、大木進司  
白河厚生総合病院 外科  
第62回日本癌治療学会学術集会 2024.10.23-27 福岡
- 腹腔鏡下S状結腸切除術中の心肺停止に対し心拍再開後に創を利用して人工肛門造設し二期的に手術した1例  
遠山慎吾、竹村真一、青木 豪、遠藤英成、大木進司  
白河厚生総合病院 外科

第37回日本内視鏡外科学会総会 2024.12.4-7 福岡

- 3 術前 GEM+nab-PTX 療法施行後に膵頭十二指腸切除術を施行し長期生存を得ている膵頭部癌同時性単発性肝転移の1例

竹村真一

白河厚生総合病院 外科

第22回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025.3.6-8 神戸

- 4 膵尾部インスリノーマ (NET-G1) に対して腹腔鏡下碑温蔵膵体尾部切除術を施行した1例  
堀江 宗<sup>2)</sup>、青木 豪<sup>1)</sup>、遠藤英成<sup>1)</sup>、遠山慎吾<sup>1)</sup>、竹村真一<sup>1)</sup>、土井孝志<sup>1)</sup>、大木進司<sup>1)</sup>

1) 白河厚生総合病院 外科

2) 白河厚生総合病院 研修医

第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

## 論 文

膵尾部インスリノーマ (NET-G1) に対し腹腔鏡下脾温存膵体尾部切除術を施行した1例

堀江 宗<sup>2)</sup>、青木 豪<sup>1)</sup>、遠藤英成<sup>1)</sup>、遠山慎吾<sup>1)</sup>、竹村真一<sup>1)</sup>、土井孝志<sup>1)</sup>、大木進司<sup>1)</sup>

1) 白河厚生総合病院 外科

2) 白河厚生総合病院 研修医

福島県農村医学会雑誌 (0911-9426) 63巻1号 Page14-16 (2025.03)

# 整形外科

## 診療体制

- 鈴木 幹夫 : 副院長兼手術部部长 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医、日本医学会専門医、日本医師会専門医、専門医認定協議会専門医)
- 茂呂 貴知 : 部長 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本リウマチ学会専門医)
- 小林 賢司 : 科長
- 馬場 貫多 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	10,982	10,778	9,830	8,516
外来患者延数	18,254	18,364	18,903	16,857
年間手術	512	469	444	377

### 【診療のあゆみ】

令和6年度の白河厚生総合病院整形外科は、小林賢司医師と馬場貫多専攻医の3名の体制となりました。コロナ禍による病床使用制限は徐々に解除の方向にむかっていましたが、病棟内クラスター発生のため、新規入院を中止せざるを得ない期間が何回か生じました。

平日の外来は水曜日に福島県立医科大学講師加藤欽志医師の脊椎外来と福島県立医科大学寄付講座スポーツ医学講座加賀医師の肩肘上肢スポーツ外来の専門外来を行っており、その関係上水曜日のみ予約診療とさせていただきます。そのほか、常勤の医師の減員もあり、小林医師は脊椎脊髄疾患を行い木曜日は兼子医師が肩肘上肢スポーツ外来を行っております。

手術総件数は2年連続で500件以下となってしまいました。手術の半数以上は外傷症例となり、外傷以外では外部医師の応援により脊椎、人口股関節置換術、肘や肩のスポーツ外傷手術など専門的な知識や技術の必要な手術も行っております。

# 脳神経外科

## 診療体制

- 三野 正樹 : 部長 (日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本脳神経外傷学会認定指導医)
- 眞野 唯 : 副部長 (日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医)

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	13,440	11,622	11,342	11,755
外来患者延数	5,985	5,950	5,856	5,857

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間手術	238	180	190	161
(手術の内訳)				
脳動脈瘤	15	16	17	16
脳内出血	24	18	14	9
頸動脈内膜剥離術	13	14	14	4
バイパス手術	2	1	0	1
血管内手術 (コイル、ステント、血栓回収)	66	59	51	53
慢性交肢血腫	58	48	57	41

### 【診療のあゆみ】

東北大学の脳神経外科と連携し、手術に関しては何でも可能な体制を構築しています。

一次脳卒中センターの認定を受け、脳梗塞急性期の血栓溶解・機械的血栓回収にも精力的に取り組んでいます。

## 業 績

### 学会発表

- 1 急性硬膜下血腫に対する小開頭での血腫除去術の治療成績  
三野正樹  
白河厚生総合病院 脳神経外科  
第48回日本脳神経外傷学会 2025.2.21-22 東京
- 2 経橈骨動脈アプローチでWoven EndoBridge留置を行った脳底動脈先端部瘤の1例  
眞野 唯<sup>1)</sup>、三野正樹<sup>1)</sup>、遠藤英徳<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 脳神経外科  
2) 東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野  
第51回日本脳神経血管内治療学会東北地方会 2025.3.23 新潟
- 3 頸部内頸動脈アテローム血栓性旧性閉塞・狭窄に対する急性期治療選択と経過  
眞野 唯<sup>1)</sup>、三野正樹<sup>1)</sup>、遠藤英徳<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 脳神経外科  
2) 東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野  
STROKE2025 2025.3.6-8 大阪
- 4 福島県南医療圏におけるprimary stroke center の実情  
眞野 唯<sup>1)</sup>、三野正樹<sup>1)</sup>、高根沢妃咲<sup>2)</sup>、郷 広和<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 脳神経外科  
2) 白河厚生総合病院 医事課  
第72回福島県農村医学会総会 2024.15 白河
- 5 Internal trapping後2週間で再開通した破裂椎骨動脈解離性動脈瘤の1例  
眞野 唯、三野正樹  
白河厚生総合病院 脳神経外科  
第50回脳神経欠陥内治療学会東北地方会 2024.9.14 仙台

# 産婦人科

## 診療体制

- 山内 隆治 : 部長（日本産婦人科学会専門医・指導医、インфекションコントロールドクター、子宮がん施設健診担当医師、日本女性医学会女性ヘルスケア暫定指導医、母体保護法指定医）
- 加茂 矩士 : 科長（日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡 外科学会技術認定医、日本超音波医学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医）
- 大越 千弘 : 科長
- 吉田 圭甫 : 医員
- 辛 俊幸 : 医員
- 伊藤 百花 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	7,940	7,691	5,480	5,237
外来患者延数	17,420	17,287	18,830	17,232

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
分娩件数	544	531	438	377
手術件数（帝王切開術含む）	218	199	216	197
（主な手術の内訳）				
子宮全摘術	39	36	34	31
筋腫核出	5	3	9	3
附属器摘出・附属器腫瘍摘出	33	37	33	44
腹腔鏡下手術	43	32	45	30
帝王切開術	97	95	84	77
子宮頸部切除術	17	9	30	14
レーザー照射術	0	0	0	0
腔式手術	15	13	13	14
頸管縫縮術	0	0	1	0
悪性腫瘍	1	1	1	1
その他	10	28	21	6

## 【診療のあゆみ】

- 1 令和6年は常勤医師5名と、火曜日は昭和大学、木・金曜日は福島県立医科大学から医師を派遣していただき、診療を行いました。
- 2 令和6年の手術件数は197件と前年より19件減少しました。しかし、腹腔鏡下手術は52件と昨年より7件増加しており、内視鏡下手術が良性婦人科手術の中心であることには変わりありませんでした。今後も異所性妊娠を含め、良性婦人科疾患には可能な限り腹腔鏡下手術で対応したいと思います。今後は、骨盤臓器脱に対してロボット補助下仙骨膣固定術が目標です。当科での悪性腫瘍手術は1件程度ですが、福島県立医科大学に紹介、術後当科で化学療法を行っている症例が多く、化学療法が増加しています。
- 3 分娩はここ数年減少傾向にあり、令和6年の分娩数は376件で前年比85.4%でしたが、県南の周産期医療協力施設として、紹介患者、里帰り妊婦は全員受け入れています。緊急母体搬送の受け入れは、小児科医師の協力と努力のおかげで、在胎34週かつ推定体重2,000g前後の症例は、ほぼ前例受け入れています。
- 4 外来の妊婦検診では、事前に同意を得たうえで、特定の週数（19週、30週の2回）に胎児の精密超音波検査を実施しています。また、妊婦さんおよび褥婦さんとの信頼関係をより確かなものにするため「助産師外来」「産後2週間健診」「乳腺炎重症化予防ケア・指導」も行っています。
- 5 これまでコロナ感染症のために「両親教室」と「母親教室」を休止していましたが、コロナ感染症が2類から5類に変更になりましたので「両親教室」は「出産準備教室」と名称を変え「母親教室」とともに再開しました。

# 眼 科

## 診療体制

- 伊勢 重之 : 部長（日本眼科学会専門医、P D T 認定医、視覚障害者用補装具適合判定医福島県立医科大学眼科学講座臨床教授・非常勤講師、厚労省 臨床研修指導医）
- 菊地有希久 : 医員
- 長谷川純郎 : 医員

## 診療実績

利 用 者 数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入 院 患 者 延 数	1,286	1,811	1,833	2,029
外 来 患 者 延 数	8,336	8,797	9,197	9,859

### 【診療のあゆみ】

県南地域の中核病院という立場から、当科では手術及び急性期治療に注力しています。これまでの常勤医師2名体制に加え、令和6年度はもう一名、嘱託医としての常勤医師が加わりました。非常勤医師の応援体制もこれまで同様に維持していただき、外来診療を行っております。現在の体制は、2016年より眼科責任者として赴任した伊勢重之医師（途中、2020年4月～2021年6月末まで聖隷浜松病院眼形成眼窩外科に国内留学）、2023年4月より前任の村上裕也医師にかわり、菊地有希久医師が福島県立医科大学眼科より着任し、2024年度も当科での勤務を継続しています。また大学医局のご配慮により、2024年4月からは長谷川純郎先生が赴任し、当科初の常勤医3人体制となりました。当科で行っている診療の特徴としましては、眼科一般外来・白内障手術に加え、網膜硝子体手術、眼形成外科手術にも力を入れています。眼形成領域では眼瞼手術（眼瞼下垂・睫毛内反症）・涙道手術（涙道チューブ挿入術）を積極的に行なっています。涙道・硝子体内視鏡も導入され、涙道手術や網膜硝子体診療・手術の幅がさらに広がりました。3人体制となったことから緊急対応がより迅速になったこと、外来診療と手術を平行に行うことができたようになったことなど、以前よりも診療科としてより機能的に動けるようになりました。とはいえ、現状では全員すべてが常に独立して動けるとは限らず、今後の課題として残っていますが、当科は福島県立医科大学眼科専門研修プログラムの連携施設でもあり、引き続き医師教育にも力を入れていきます。

当科では特殊外来として、令和6年度も網膜硝子体疾患については福島県立医科大学教授石龍鉄樹先生に、斜視弱視ならびに眼形成については北福島医療センター八子恵子先生と福島県立医科大学講師森隆史先生に、定期的に診療（外来・手術・手術指導）をお願いしております。難治性疾患については福島県立医大と連携して診療にあたっていますが、当院の地理的状況から、患者様の希望によっては栃木県の御施設に紹介させて頂く場合もございます。同様に、当科への患者様の紹介元は県南の施設のみならず、栃木県北部や南会津地方、茨城県久慈郡からも御紹介頂くこともあります。常日頃の御紹介、この場をお借りして感謝申し上げます。

当科では前述にありますように、手術治療に力を入れており、県南地域唯一の網膜硝子体手術施設として実績を積んできました。硝子体手術は低侵襲・無縫合の27ゲージ手術を導入しており、主に増殖性糖尿病網膜症や網膜剥離症例に対して適用しています。黄斑手術には従来通りの25ゲージ手術を行っています。白内障

障手術は2.2～2.4mm切開を基本とし、乱視の強い症例に対しては積極的に乱視矯正（トーリック）眼内レンズもしくは3mm強主経線切開を選択しています。また多焦点眼内レンズは令和2年4月から先進医療から外れて選定療養となりましたが、少ないながらも一定数の希望者がおり、適応症例には積極的に使用しています。眼内レンズ挿入困難症例に対しては、眼内レンズを強膜内固定術もしくは強膜縫着術で対応しています。眼形成分野では特に眼瞼手術が増加しており、保険診療の範囲内で満足頂く手術を心がけています。

なお、例年とは異なった当科のイベントとしては、一般財団法人日本ゴールボール協会が主催する、ゴールボール大会に科として参加したことでした（2024/7/21福島市）。ゴールボールは、視覚に障がいのある人のために考案された、鈴の入ったボールを使って音を頼りにゴールを狙うチームスポーツです。近年は参加資格に視覚障害の有無は問われないことが多くなっており、非視覚障がい者はゴーグルで目隠ししてプレイします。今回我々は八子恵子コーチ、菊地有希久チームリーダー、長谷川、伊勢ファミリーの合計6人のチーム編成で参加しました。最年長の八子コーチは皆が驚愕するほどの俊敏さで魅せ、菊地リーダーの気合の入れようはチームの原動力となりました。長谷川氏も意外や意外、感覚の鋭さとセンスの良さが際立ちました。私（伊勢）は5感の8割を占めるといわれる視覚を遮られ、方向感覚もわからずアタフタしておりました。完全な視覚障がい者はこの状態で日々を過ごしているのかと思うと、眼科の使命である、視機能改善による生活の質を向上させることと失明を回避することの重責を、改めて噛み締めた大会となりました。

今後も幅広い領域に対応すべく、診療技術の向上に努めて参ります。緊急的な疾患も随時可能な限り受け入れておりますが、当院の予約システムの都合上、迅速対応ができない場合がございます。近隣の先生方におかれましては、当日は紹介状より先に当科もしくは医師に直電でご一報頂いても構いません。これからも地域の急性期医療に貢献できるよう、努力を続けて参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 実 績

### 講 演

#### 1 眼瞼下垂について

伊勢重之

白河厚生総合病院 眼科

公益財団法人 福島県臓器移植推進財団第40回目の愛護デー講演会 2024.10.19 須賀川

# 耳鼻咽喉科

## 診療体制

石川 浩男 : 部長 (日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医、補聴器相談医)

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	1,575	1,390	1,085	1,095
外来患者延数	3,772	3,498	3,787	4,573

### 【診療のあゆみ】

- 1 耳鼻咽喉科の診療は、入院加療として、突発性難聴や顔面神経麻痺に対してのステロイド漸減投与などによる急性期加療、眩暈症での対症的投薬、また急性扁桃炎などを中心とした急性炎症性疾患の治療などを行っております。当科は現在、常勤医1人体制で診療にあたっております。
- 2 外来診療としては、紹介患者さんを含め、耳鼻咽喉科一般の診察を行っております。月に2回の形で月曜日に東北大学から、また毎週火曜日は日本大学大島教授に診療応援いただいております。さらに、金曜日、土曜日には福島県立医科大学からの診療応援をいただいております。

# 皮膚科

## 診療体制

佐藤 正隆 : 部長 (日本皮膚科学会専門医、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学臨床教授)  
則川 菜摘 : 医長

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	50	282	25	91
外来患者延数	5,790	6,642	5,324	5,930

### 【診療のあゆみ】

平成20年に新病院が開院し、福島県立医科大学皮膚科臨床教授であった竹之下秀雄医師が旧病院時代より引き続き部長として就任し、以降も県南地域での皮膚科医療に従事して参りました。竹之下医師はとくにツツガムシ感染症について精力的に診療と研究を続け、ツツガムシ感染症分野において多大な功績を挙げられました。

平成29年4月から形成外科医として平野真希医師が就任しました。それに伴い、母斑切除、陥入爪手術のほか、難治性潰瘍や皮膚腫瘍切除、皮弁再建など、整容面に配慮した治療にも対応できるようになりました。平成30年4月から竹之下医師の退職に伴い、佐藤正隆医師が赴任し、皮膚科診療に従事しております。平成31年4月から形成外科が皮膚科から診療科として独立しましたが、両科互いに協力し県南地域における皮膚科医療にあたっております。

## 実績

### 学会発表

- 1 顆粒状C3皮膚症と考えた1例  
則川菜摘<sup>1)</sup>、佐藤正隆<sup>1)</sup>、草野美沙希<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 皮膚科  
2) 福島県立医科大学 皮膚科学講座  
日本皮膚科学会福島地方会 2024.11.4 郡山

# 形成外科

## 診療体制

平野 真希 : 科長 (日本形成外科学会専門医)

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	924	962	464	505
外来患者延数	4,472	4,381	4,385	4,353

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間手術	325	421	431	423

### 【診療のあゆみ】

白河厚生総合病院で、形成外科が標榜科としてスタートして6年が経過しました。

当科は先天性体表奇形から皮膚がん、外傷、潰瘍の治療に至るまで幅広い分野で診療を行い、昨年度は入院、外来を併せて423件ほどの手術を行いました。県南地域の医療を支える一助として、今後もより一層、充実した診療を行っていきけるよう頑張っ参りたいと思います。

# 泌尿器科

## 診療体制

- 喜屋武 淳 : 副院長兼部長（日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本超音波医学会専門医、指導医東北大学医学部臨床教授、日本超音波医学会指導医（腎・泌尿器）、東北医科薬科大学医学部臨床教授）
- 高橋 正博 : 副部長（日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会泌尿器科腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 白岩 徹郎 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	6,887	5,718	7,304	7,580
外来患者延数	28,726	30,120	30,342	30,810

手術の内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
泌尿器科癌手術				
腎（尿管）摘除術	11	10	11	15
副腎摘除術	1	3	0	0
（うち腹腔鏡下術）	4	4	5	4
膀胱全摘術	0	1	1	2
前立腺全摘術	3	6	5	3
経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）	65	58	71	57
精巣摘除術	6	3	7	3
前立腺肥大症手術				
経尿道的前立腺切除術（TUR-P）	14	21	20	24
尿道ステント留置（交換含む）	31	34	27	21
尿路結石手術				
体外衝撃波結石破碎術（ESWL）	69	61	62	72
経皮的腎碎石術（PNL）	0	3	3	2
経尿道的尿管碎石術（TUL）	63	51	89	88
膀胱結石手術	7	8	10	6
小児手術				
停留精巣手術	3	2	2	4
包茎手術	7	10	10	14
陰嚢水腫	2	3	2	4
精巣（垂）捻転	2	3	3	2
透析関連手術				
内シャント造設	47	30	34	24

内シャント経皮的血管形成術 (PTA)	179	170	148	163
C A P D カ テ 設 置	1	2	2	0
そ の 他	15	27	24	19

### 【診療のあゆみ】

- 1 泌尿器科癌：腎細胞癌、尿路上皮癌（腎盂尿管癌、膀胱癌）、前立腺癌、精巣癌の手術、投薬治療を行っています。腹腔鏡下腎摘除術も積極的に行っています。前立腺癌、尿路上皮癌に対する外来化学療法も行っています。
- 2 前立腺肥大症、過活動膀胱：主に投薬治療ですが改善ない場合はTUR-Pを行っています。またリスクが高い患者には尿道ステント留置を行っています。
- 3 尿路結石症：ESWLを導入し碎石術を行っています。PNL、TUL等の内視鏡治療も行っています。  
最近は軟性尿管鏡とレーザー碎石装置を用いた低侵襲のf-TULを主に行っています。
- 4 小児泌尿器科：停留精巣、陰嚢水腫、真性包茎等の手術を行っています。精巣捻転等の緊急手術も行っています。
- 5 透析：移転時に血液透析ベッドを24床から32床へ増床しています。シャント閉塞、狭窄に対してはPTAを迅速に行いブラットアクセスの温存に努めています。腹膜透析も行っています。

## 実 績

### 学会発表

- 1 Nivolumab治療後にリウマチ性多発筋痛症を来した1例  
白岩徹郎、高橋正博、喜屋武淳  
白河厚生総合病院 泌尿器科  
第270回日本泌尿器科学会東北地方会 2024.5.11 秋田

# 放射線科

## 診療体制

- 浦部 真平 : 副院長兼部長（日本医学放射線学会放射線治療専門医、日本医学放射線学会研修指導者、日本核医学学会専門医、日本核医学学会PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、福島県立医科大学臨床教授）
- 本荘 浩 : 画像診断科部長（日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学学会PET核医学認定医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医・専門医、肺がんCT検診認定医、日本医学放射線学会研修指導者、福島県立医科大学臨床教授）
- 宮嶋 正之 : 副部長（日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学学会PET核医学認定医、日本核医学学会核医学専門医）
- 河野 崇行 : 科長（日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本医学放射線学会放射線治療専門医、日本核医学学会PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本医学放射線学会研修指導者）

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	68	32	90	46
外来患者延数	3,949	4,025	3,132	3,642

### 【診療のあゆみ】

放射線診療自体は堅調な1年となりました。

#### 1、診療体制について

診断専門医2名（本荘、宮嶋）、治療専門医2名（浦部、河野）の体制は前年までと同様で、安定した体制となっています。

#### 2、画像診断部門

CT、MRIなどを中心とした診断業務では画像診断管理加算2を算定しています。読影件数は1日100件に及んでおり、臨床や病院経営に貢献しています。加算の維持の必要もあり、診断医にかかる負担も増しています。本来なら増員が必要な状態となっています。

#### 3、放射線治療部門

2024年4月からVarian社製TrueBeamを中心とした放射線治療システムの運用を開始しました。治療の半数以上は高精度照射を行っており、今後も癌診療への貢献が期待されます。

新規登録件数はアイソトープ治療とも併せて伸びており。地域がん診療拠点病院の維持にも貢献しています。

#### 4、核医学部門

核医学検査全体での件数は依然として600件を越えています。

県内でも数少ない、アイソトープ治療を施行可能な施設としての役割を全うしています。

甲状腺癌に対する131ヨードの内用療法、去勢抵抗性前立腺癌に対する223ラジウム治療の双方を行っ

ていましたが、さらに<sup>177</sup>ルテチウムによるPRRT（神経受容体核医学内用療法）の開始を開始し、患者の受け入れを行っています。

今後は前立腺癌の新たなリガンド療法であるPSMA治療を導入予定です。

FDG-PET装置は、前年度に半導体検出器を備えたSiemens社製Biograph VISIONに更新してからは画質が向上しており、従来機では検出が難しかった小さな病変も検出可能となっています。年間2,000件以上の検査件数を維持しており、臨床使用や健診を通じ、地域や農家組合員のがん医療と健康増進に貢献しています。検診では利用者の2%程度から腫瘍を発見しており、従来機と比較して2倍近い発見となっています。

表1：2024年度の画像診断実績

モダリティ	検査件数	読影件数	割合
C T	16,920	15,104	89.3%
M R	6,970	5,350	76.8%
核 医 学	618	602	97.4%
P E T / C T	2,384	2,384	100%
M M G	1,796	1,796	100%

表2：2024年度の放射線治療実績

	2023	2024
治療実績	167	234
外照射	122	216
ヨード入院	19	7
<sup>223</sup> Ra	20	2
<sup>177</sup> Lu	-	9

# 麻 酔 科

## 診療体制

- 岡崎美智弥 : 部長 (日本麻酔科学会専門医)  
郡司 瑞樹 : 医員  
大石彩友美 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院患者延数	119	60	53	59
外来患者延数	2,713	2,587	2,570	2,464

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
麻酔科管理麻酔件数	1,419	1,298	1,283	1,265

## 【診療のあゆみ】

### 1 麻酔科管理麻酔件数の増加

外来における術前診察の増加に伴い、外来処置を必要とするペインクリニック患者（各種神経ブロック・理学治療を要する）を制限せざるを得なくなりました。

### 2 ペインクリニック

処置を要さない内服処方に対処可能な「帯状疱疹後神経痛」を主に診療しています。

また、緩和ケアチームにも属していますが、あくまで「所属」の域を出ていない状況です。

### 3 援助

平成30年度から福島医大より新専門医制度による専攻医を受け入れております。

### 4 その他

白河消防署にて心肺停止傷病者の救急活動に係る事後検証（月平均20件前後）

### 5 今後

週2回の福島医大からの応援で凌いでいますが、可及的速やかな常勤2人体制への復活を期待しています。

## 業 績

### 学会発表

#### 1 腹腔鏡下S状結腸切除術中の心停止が冠攣縮性狭心症によるものと疑われた1例

村上礼佳<sup>2)</sup>、岡崎美智弥<sup>1)</sup>、郡司瑞樹<sup>1)</sup>

1) 白河厚生総合病院 麻酔科

2) 白河厚生総合病院 研修医

第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

# 救急治療科

## 診療体制

- 安田 貢 : 部長（日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本脳ドック学会認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、日本航空医療学会航空医療医師指導者、日本脊椎脊髄病学会日本脊髄外科学会脊椎脊髄外科専門医、社会医学系専門医協会社会医学系指導医専門医）
- 林 堅二 : 集中治療部長（日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医、日本蘇生学会指導医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター）
- 関根 萌 : 医員

## 診療実績

利用者数	令和6年度
入院患者延数	45
外来患者延数	118

### 【診療のあゆみ】

10年ぶりの診療科新設となる救急治療科が2025年1月から診療を開始しました。

救急科専従医3名で外傷や脳卒中、めまいなどの患者中心に日中の救急医療を担当しています。

1月～3月の3ヶ月間の救急外来実績で平日日中勤務時間帯の救急車受入台数は、前年比130.8%で約3割の応需増となりました。また、診療科設置前2024年7月末から白河消防と連携して、週1回の実証実験ワークステーション方式ドクターカーを救急治療科が引き続き運用しています。今まで高エネルギー外傷などの事案に現場出動していますが、福島県南地域での同システムの有用性が示唆されています。

# 病理診断科

## 診療体制

野沢 佳弘 : 病理センター長（日本病理学会病理専門医・病理専門医研修指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医、日本臨床細胞学会教育研修指導医、医療安全管理者、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学臨床教授）

## 臨床検査技師

### 【資格取得】

細胞検査士  
国際細胞検査士  
認定病理検査技師  
特定化学物質および四アルキル鉛等作業主任者  
有機溶剤作業主任者

## 診療実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
組 織 診	2,914	2,880	3,026	2,947
細 胞 診	2,903	2,684	2,695	2,671
迅 速 診 断	74	67	61	78
病 理 解 剖	5	4	3	2
院 外 組 織 診	852	915	1,073	1,173
院 外 細 胞 診	510	432	459	409

### 【診療のあゆみ】

病理診断科は病院の中央部門で、組織診、細胞診などの診断業務として重要な役割を担っています。また、塙、坂下、高田の各厚生病院の組織診や細胞診の業務も行っており、正確かつ迅速な診断を心がけています。さらに、症例のカンファレンスの重要性がますます高まり、院内では術後症例検討会を消化器疾患が毎週1回、泌尿器疾患が2か月に1回、病理医、臨床医、研修医などが参加して検討しています。さらに、病理組織の詳細な検討を希望する先生方には組織標本を顕微鏡でみていただき、ミニカンファレンスも行っています。

細胞診においては、毎日、細胞診専門医と細胞検査士による科内カンファレンスを行っています。近年は、CTガイド下針生検やEUS-FNAなどのon-site cytologyによる迅速評価（ROSE）を積極的に行っています。

病理解剖は研修医や臨床検査技師と行い、さらにその症例について、臨床医、研修医、臨床検査技師などのコメディカルなどが参加するCPC（2回/年）を行い、実際の臓器を提示して問題点を検討しています。臨床的により良い治療方針をたてていただけるよう、幅広く対応し、開かれた病理診断科を目指しています。

## 業 績

### 学会発表

- 1 皮膚腫瘍の再発を繰り返し骨髄病変により診断が確定した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例  
山元 想<sup>3)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>、野沢佳弘<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 病理診断科  
3) 白河厚生総合病院 研修医  
第234回日本内科学会東北地方会 2025.2.15 仙台
- 2 肺癌術後に鼠径部リンパ節腫脹を示した皮膚病性リンパ節症の一例  
二木照美、小峰光由、猪越静、松木浩子、野沢佳弘  
白河厚生総合病院 病理診断科  
第55回福島医学検査学会 2024.6.2 郡山
- 3 当院病理診断科におけるタスク・シフト/シェアの現状  
松木浩子、小峰光由、猪越静、二木照美、野沢佳弘  
白河厚生総合病院 病理診断科  
第55回福島医学検査学会 2024.6.2 郡山
- 4 健康診断で偶発的に発見された腸管スピロヘータ症の一例  
猪越静、小峰光由、二木照美、松木浩子、野沢佳弘  
白河厚生総合病院 病理診断科  
令和6年度JA福島厚生連臨床検査技師会 2024.11.16 白河

### 論 文

- 1 細胞保存液として経口腸管洗浄液を用いた細胞学および遺伝子学的検討  
松木浩子、二木照美、野沢佳弘  
白河厚生総合病院 病理診断科  
日本臨床細胞学会雑誌 Vol63 No3 (2024) P119-128
- 2 左大腿部に術後転移した子宮体部由来の漿液性癌の一例  
二木照美<sup>1)</sup>、松木浩子<sup>1)</sup>、中村聡一<sup>2)</sup>、野沢佳弘<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 病理診断科  
2) 白河厚生総合病院 産婦人科  
医学検査 Vol.73 No.3(2024) P555-559

## 剖 検 記 録

(2023年1月～12月)

番号	年齢	性別	臨床科	臨床診断	剖 検 診 断
23001	70歳	男	2内	心停止	心筋梗塞(左室内腔側で、全周性に新旧混在した梗塞: 461g) 1.左冠動脈起始部から前下行枝および回旋枝と右冠動脈の動脈硬化症、2.左甲状腺の腺腫、3.胸水貯留(左400ml、右400ml)、4.[心室細動]
23002	68歳	男	総診	急性肺炎	<B>敗血症</B> 1.肺、肝臓、腎臓、脾臓、胃、甲状腺のムコール(接合菌)症 2.肺出血を伴うサイトメガロウイルス性肺炎(842,1635g) 3.膿瘍を伴う癒着性腹膜炎 4.陳旧性心筋梗塞(側後壁,307g) 5.[顕微鏡的多発血管炎の治療後]
23003	83歳	男	非常器	原発不明がん	二重癌 1)<B>肝内胆管癌</B>(腺扁平上皮癌,高分化)転:あり 2)前立腺癌(腺癌,高分化)転:なし 1.静脈血栓症(下大静脈、右腎静脈、門脈)2.胆石症 3.癌性胸膜炎(400:900ml)4.腹水(200ml)

## 脳神経内科

診療体制 非常勤医師

診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来患者延数	830	756	819	790

## 心臓血管外科

診療体制 非常勤医師

診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来患者延数	695	707	687	529

## 心療内科

診療体制 非常勤医師

診療実績

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外来患者延数	2,756	2,797	2,834	2,796

## 研修医

2年次研修医：小林一道、酒井貴史、山元 想、町田夏希、村上礼佳、萩野莉沙

1年次研修医：橋本明佑美、川島 萌、宍戸愛理、笛木アレン、木嶋優介、堀江 宗

## 業 績

### 学会発表

- 1 皮膚腫瘍の再発を繰り返し骨髄病変により診断が確定した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の1例  
山元 想<sup>3)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>、野沢佳弘<sup>2)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 病理診断科  
3) 白河厚生総合病院 研修医  
第234回日本内科学会東北地方会 2025.2.15 仙台
- 2 ダサチニブ維持療法中に髄膜再発を認めたPh染色体陽性急性リンパ性白血病の1例  
小林一道<sup>2)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第232回日本内科学会東北地方会 2024.6.22 仙台 若手奨励賞受賞
- 3 腹腔鏡下S状結腸切除術中の心停止が冠攣縮性狭心症によるものと疑われた1例  
村上礼佳<sup>2)</sup>、村岡崎美智弥<sup>1)</sup>、郡司瑞樹<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 麻酔科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 4 腓尾部インスリノーマ（NET-G1）に対して腹腔鏡下碑温蔵腓体尾部切除術を施行した1例  
堀江 宗<sup>2)</sup>、青木 豪<sup>1)</sup>、遠藤英成<sup>1)</sup>、遠山慎吾<sup>1)</sup>、竹村真一<sup>1)</sup>、土井孝志<sup>1)</sup>、大木進司<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 外科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 5 顔面神経麻痺が出現し中枢神経浸潤を認めた急性前骨髄球性白血病の再発例  
荻野莉沙<sup>2)</sup>、松本勇人<sup>1)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、三田正行<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 血液内科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
第233回日本内科学会東北地方会 2024.9.21 WEB

### 論 文

- 腓尾部インスリノーマ（NET-G1）に対し腹腔鏡下碑温蔵腓体尾部切除術を施行した1例  
堀江 宗<sup>2)</sup>、青木 豪<sup>1)</sup>、遠藤英成<sup>1)</sup>、遠山慎吾<sup>1)</sup>、竹村真一<sup>1)</sup>、土井孝志<sup>1)</sup>、大木進司<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 外科  
2) 白河厚生総合病院 研修医  
福島県農村医学会雑誌（0911-9426）63巻1号 Page14-16（2025.03）

### Ⅲ 診療補助部門

# 看護部

要 員 (令和6年4月1日)

保 健 師	4名
助 産 師	23名
看 護 師	340名
准 看 護 師	22名
看護補助者	32名
合計	422名

看護部長1名 副看護部長3名 看護師長17名 副看護師長13名 主任看護師17名  
認定看護師9名 特定行為研修修了者2名

## 【看護のあゆみ】

### 1 病棟移転の経緯と実施状況

令和6年3月31日をもって5階コロナ病棟を閉鎖し、R I室の稼働に伴い3階西病棟を5階西病棟へ移転することとなりました。限られた準備期間の中、各部署の緊密な連携と協力により準備を進め、令和6年4月5日に3階西病棟入院患者31名の移動を実施しました。

移転により5階西病棟は、整形外科、泌尿器科、形成外科、放射線科の混合病棟として新たに運用を開始し、病床数は従来の52床から60床へと拡充されました。各所属長を中心とした該当部署スタッフが内容を十分に理解したうえで作業に臨んだことにより、全患者を安全かつ円滑に移動することができました。

### 2 救急治療科新設とベッドコントロール体制の強化

令和7年1月、救急治療科が新設されました。当院の使命である質の高い急性期医療を提供するため、救急患者の効率的な受け入れ体制の構築が急務となります。この課題に対し、各部署間の連携を強化し、看護部が主導となってベッドコントロール業務を実施することで、救急患者の円滑な受け入れの実現を目指しています。

### 3 看護の質向上を図る

身体拘束最小化を重点課題として組織的な取り組みを展開しています。認知症ケアチームが中心的な役割を担い、各部署への定期的なラウンドを通し、身体拘束の実施状況確認と代替手段の提案や技術指導を行っています。各部署においては多職種カンファレンスを定期的に開催し、多職種が参加して、患者の状態や治療方針を多角的に検討しています。継続的な指導により現場職員の身体拘束に対する意識と技術の向上が図られ、患者の尊厳を尊重した安全で質の高い医療・ケアの提供体制を目指します。

### 4 心理的安全性の高い職場環境の構築

地位や経験に関わらず組織やチームの誰もが率直な意見や疑問を発言できる心理的安全性の高い職場風土を目指し各部署が取り組みました。今年度は24名の新人看護職員が入職しました。昨年度に引き続き、看護学院、臨床心理士、病院で連携をとり、メンタルヘルスケアについてのサポートを行い現場の指導に活かすことができました。

## 業績

### 研究会

- 1 B病棟における術後せん妄発症の実態調査  
金澤亜耶、菊地真由、添田みさき  
白河厚生総合病院 看護部  
令和6年度看護協会県南支部研究発表会 2024.12.14 白河
- 2 フットケア介入プログラムと多職種連携  
～下肢切断を宣告された糖尿病患者の意思決定支援を支える～  
中村雅代  
白河厚生総合病院 看護部  
令和6年度看護協会県南支部研究発表会 2024.12.14 白河
- 3 外来看護師の口腔ケアに対する意識調査  
大迫千晶、笠井菜保、圓谷 愛  
白河厚生総合病院 看護部  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 4 扁平・陥没乳頭褥婦の電動搾乳器使用による授乳状況の変化  
伊東早耶香、臼井佳奈、菊地優梨  
白河厚生総合病院 看護部  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 5 院内クリティカルパスマニュアル作成と今後の課題  
高橋郁江  
白河厚生総合病院 看護部  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

### 学会発表

- 1 外来看護師の口腔ケアに対する意識調査  
大迫千晶、笠井菜保、圓谷 愛  
白河厚生総合病院 看護部  
第32回 福島県看護学会 2024.11.20 郡山
- 2 院内クリニカルパスマニュアル作成と今後の課題  
高橋郁江  
白河厚生総合病院 看護師  
日本クリニカルパス学会学術集会 2023.11.10-11 埼玉
- 3 医科歯科連携によりサルコペニア摂食嚥下障害が改善した1症例（ポスター発）  
郷田佳代  
白河厚生総合病院 看護部  
日本栄養治療学会2024.2.15-16 東京

4 地域におけるストーマ外来の役割

稲田ゆかり

白河厚生総合病院 看護部

第42回日本ストーマ排泄リハビリテーション学会総会 2025.2.8 福島

6 併存疾患を抱える造血管腫瘍患者の希望を支えるために

～思いを紡ぐ多職種チームアプローチ～

小針文子

白河厚生総合病院 看護部

第39回日本がん看護芸術集会 2025.2. 22-23 札幌

**講演・講師**

1 地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割

神田やよえ

白河厚生総合病院 看護部

福島県看護協会

2 福島県看護協会看護力向上事業 認知症看護

小室真紀

白河厚生総合病院 看護部

福島県看護協会

3 第1回訪問看護師のためのストーマケア講習会 指導講師

稲田ゆかり

白河厚生総合病院 看護部

東北ストーマリハビリテーション講習会

# 薬 剤 科

薬剤科では、医薬品の管理と調剤、医薬品情報管理、薬学的患者ケアを実践するとともに、院内の各種チーム医療のメンバーとして、医薬品に関連する業務を支えています。

令和6年度も様々な業務改善に取り組みました。

- ・ 薬剤管理指導業務の充実と指導件数を増進
- ・ お薬窓口での院内処方患者に対する服薬指導
- ・ 入院患者及び一部の外来患者（手術、検査入院予定）に対する持参薬鑑別の実施
- ・ 後発医薬品、後続医薬品への切替え推進
- ・ 病棟および外来の定数配置医薬品の管理（期限、保管状況のチェック等）
- ・ がん化学療法のレジメン登録と管理
- ・ 抗MRSA薬の血中濃度解析（TDM）
- ・ 注射薬の無菌調整（抗がん剤、中心静脈栄養剤 他）

また、病院実務実習生受け入れ施設として、薬学部5年生を3期4名の受け入れを行い、病院薬剤師の実習を通して学生教育にも貢献しています。

今後も医薬品適正使用に基づき、個々の患者さんが安全で安心できる薬物療法を提供できるように、診療部門、看護部門、安全管理部門、事務部門と連携して薬剤師の役割と業務を遂行していきたいと思っております。

## □ 専門・認定薬剤師など（2025年3月現在）

- 日本静脈経腸栄養学会／栄養サポートチーム専門療法士
- 日本薬剤師研修センター／研修認定薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／認定実務実習指導薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／漢方薬・生薬認定薬剤師
- 日本薬剤師研修センター／小児薬物療法認定薬剤師
- 日本糖尿病療養指導士認定機構／日本糖尿病療養指導士
- 福島県糖尿病療養指導士会／福島県糖尿病療養指導士
- 日病薬病院薬学認定薬剤師
- 日本骨粗鬆学会／日本骨粗鬆症リエゾンマネージャー
- 日本病院薬剤師会／感染制御認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会／がん薬物療法認定薬剤師
- 日本化学療法学会／抗菌化学療法認定薬剤師
- 日本緩和医療薬学会／緩和薬物療法認定薬剤師

		令和5年度	令和6年度
入院処方せん枚数		38,948枚	40,622枚
外来処方せん枚数		123,892枚	124,531枚
院外処方せん発行率		87.4%	87.6%
薬剤管理指導件数		4,460件	6,095件
退院時薬剤管理指導件数		1,327件	1,619件
抗がん剤無菌調整実施患者数	入院	1,023名	958名
	外来	1,897名	1,924名
後発薬剤切り替え割合（2025.3現在）		84.69%	95.19%

## 業績

### 学会発表

- 1 当院のサイトカイン放出症候群への取りくみ  
土井智香子、木島夏津葉  
白河厚生総合病院 薬剤科  
第55回全国厚生連病院薬剤長会議学術総会 2024.11.1 東京
- 2 白河厚生総合病院における二次骨折予防（FLS）チーム活動  
松浦祥子  
白河厚生総合病院 薬剤科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

# 放射線科

放射線科の主な業務として画像診断と放射線治療があります。画像診断では診断価値の高い画像を提供することを目的とし日々努力しています。一般撮影、CTやMRIなどの画像診断検査は救急科の影響か救急対応が増えており、更にMRIの脳検診、他病院からの委託検査などの依頼が増加しています。また時間外の業務では宿直者だけでは対応できない場合が増え、限られた技師数で対応するためには緊急の呼び出しや待機など技師全員の協力のもと検査を行っています。

骨密度については、令和7年2月に装置の更新をしました。装置の習熟度が増せば現在よりも予約を増やす事が可能となるため、来年度は検査数の更なる増加を目指していきたいと思います。

放射線治療では、専門の医師、診療放射線技師、看護師が協力し高度な放射線治療を実現しています。今年度は放射線治療装置の更新があり4月より新装置による治療が開始されました。新装置は患者に対する副作用が少なく、更にこれまでよりも高精度な放射線治療が行えます。その分治療にたずさわるスタッフはより専門的な知識が必要となり、業務の内容も難しいものとなります。その中で、それぞれのスタッフの努力により更新前と同等以上の治療件数を達成することができました。しかしながら、このまま治療スタッフに無理をさせ続けるわけにはいきません。負担軽減のためにも今後は治療に関わる技師の育成が重要になってくると考えます。

## 資格取得

肺がんCT認定技師	4名
X線CT認定技師	4名
救急撮影認定技師	1名
画像等手術支援認定技師	1名
Ai（オートプシー・イメージング）認定放射線技師	1名
第1種放射線取扱主任者	4名
核医学専門技師	1名
核医学専門技術者	1名
放射線機器管理士	3名
放射線管理士	3名
医療画像情報精度管理士	1名
健診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	8名
磁気共鳴専門技術者	2名
放射線治療専門技師	2名
放射線治療品質管理士	1名

## 放射線科検査実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般撮影	27,062	25,870	27,461	28,128
検診一般撮影	4,077	3,677	3,223	3,996
ポータブル	8,433	7,994	8,067	7,996
C T	17,096	16,446	16,253	16,925
肺検診 C T	79	89	62	72
M R I	5,809	5,539	5,676	6,045
脳検診 M R I	1,184	1,084	1,070	1,189
P E T	2,499	2,353	2,284	2,347
核医学	699	646	685	646
X線 T V	1,696	1,697	1,855	1,559
健診 M D L	1,966	1,757	1,310	1,759
マンモグラフィ	640	607	646	647
健診マンモグラフィ	1,299	1,140	1,110	1,149
血管撮影	624	589	514	581
放射線治療	3,565	3,464	2,416	3,507
骨密度	444	554	706	675
結石破砕	58	64	64	68
O P 室イメージ	480	467	462	411
コピ	5,752	6,053	6,175	6,548
ゾーフィゴ	9	25	20	2
放射線治療病室	17	8	25	16
外来アブレーション	0	0	0	0

※実施人数

## 業績

### 講演・講師

- 1 心筋血流SPECT ～基礎から活用まで～  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
ADATARA Live Demonstration 2024 メディカルスタッフプログラム 2024.6.4 郡山
- 2 Theranosticsにおける当院の取り組み ～収集・再構成条件～  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第13回 東北Symbia User 's Meeting 2024.6.8 仙台
- 3 cardioMUSkが活きる心電図同期SPECT  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第25回宮城県心臓核医学研究会 2024.7.10 仙台
- 4 放射線内用療法の院内整備について  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
ノバルティスファーマ社内研修会 2024.7.30 東京
- 5 cardioMUSk& Anger型カメラで算出できる心筋血流定量法  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第12回あすなろ核医学技術研究会 2024.8.24 青森
- 6 心筋血流シンチの信頼性向上へ ～臨床で役立つ心外集積抑制法～  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第1回日本放射線医療技術学術大会 2024.11.2 沖縄
- 7 事前線量検証の知ったかぶりを吹き飛ばせ  
高橋健一  
白河厚生総合病院 放射線科  
第52回福島県放射線治療懇話会 - Advance - 2024.6.8 猪苗代
- 8 3次元水ファントムのSetupの重要性  
鈴木広志  
白河厚生総合病院 放射線科  
SunSCANワークショップ in 白河厚生総合病院 2024.8.17 白河
- 9 装置更新による高精度治療開始と今後の展望  
高橋健一  
白河厚生総合病院 放射線科  
ExacTrac Dynamic勉強会 in 白河厚生総合病院 2024.11.29 白河

- 10 ExacTrac Dynamicの使用経験  
白井龍司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第56回福島県放射線治療懇話会-Basic- 2024.11.30 白河
- 11 Multi Metaに対する定位放射線治療  
高橋健一  
白河厚生総合病院 放射線科  
第10回京大病院脳定位放射線治療セミナー 2024.12.7 WEB

#### 学会発表

- 1 圧縮センシングを用いた頭部MRA  
吉田友彦  
白河厚生総合病院 放射線科  
福島県MRI技術研究会 2024.6.29 福島
- 2 Dual Sourceによる冠動脈CT  
増子英教  
白河厚生総合病院 放射線科  
第6回福島県CTテクニカルセミナー 2024.6.8 福島
- 3 骨密度測定における測定モードと患者体系の影響について  
増子英教  
白河厚生総合病院 放射線科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 4 DyrectDensityにおける金属密度の違いが金属アーチファクト低減技術併用時のCT値に与える影響について  
吉田龍太  
白河厚生総合病院 放射線科  
第73回日本農村医学会学術総会 2024.10.15 新潟
- 5 甲状腺癌ヨード内用療法複数回治療におけるSUV算出の有用性  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
日本核医技術学会 第29回東北地方会 2024.9.22 青森
- 6 「<sup>177</sup>Lu-DOTATATEイメージングの技術的検討～エネルギーピーク選択の検出精度～」  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
日本核医技術学会 第29回東北地方会 2024.9.22 青森

- 7 胸部ポータブル撮影の撮影距離がバーチャルグリッド画像に与える影響  
慶野龍樹  
白河厚生総合病院 放射線科  
厚生連技師会 2024.10.26 会津坂下
- 8 左室位相解析における心外集積抑制法の有用性の検討  
小室敦司  
白河厚生総合病院 放射線科  
第44回日本核医学技術学会総会学術大会 2024.11.8 横浜

## 論 文

- 1 Atsushi Komuro, Rika Endo, Mika Tanno, Kouichi Ishimori, Kazuo Funaki,  
Jiro Izumida, Tomiyoshi Saito  
「Evaluation of the Usefulness of the Myocardial Flow Reserve Index Using an Anger-  
Type SPECT/CT System」  
Ann Nucl Cardiol J-STAGE Advance published date: February 14, 2025

## 施設基準・認定

- 1 PET撮像施設認証(I) 18F-FDGを用いた全身PET撮像
- 2 PET撮像施設認証(I) アミロイドイメージング剤を用いた脳PET撮像(一括)
- 3 画像診断管理加算2 画像診断管理認証施設
- 4 肺がんCT検診施設認定
- 5 マンモグラフィ検診施設画像認定
- 6 治療用照射装置の第三者出力線量評価施設

# 検査科

検体検査取扱い実績は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少傾向でしたが新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行したため、令和5年度に続き令和6年度も一部を除き各分野で増加傾向に転じています。また、外部委託検査も遺伝子学的（ゲノム）検査が目覚ましい発展を遂げている点もあり、増加傾向となっています。

生理検査取扱い件数は令和5年度に比し、全体的には横ばい傾向で大きな差はありませんでしたが一部の検査では増加傾向にあります。

令和6年度末に採血室の採血管準備装置システムが更新され、自動受付機の導入により採血整理券の発行は迅速になりました。待ち時間の大幅な削減に繋がり、患者サービス向上の一助となっています。

検査科では学会発表や研修会への出席に加え、各種精度管理調査事業を通じて、検査精度の向上を図り迅速に、より質の高い検査結果を臨床へ届けられるよう研鑽してまいります。

## 検査実績件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
尿・糞便等検査	85,754	83,005	83,675	89,692
血液学的検査	263,053	242,995	220,694	225,773
生化学的検査（Ⅰ）	1,354,276	1,340,603	1,374,330	1,387,510
生化学的検査（Ⅱ）	54,912	55,301	59,926	60,524
免疫学的検査	134,847	151,421	144,654	139,583
微生物学的検査	42,676	46,626	45,338	21,046
輸血検査	1,642	2,072	1,306	2,065
生理学的検査	31,961	31,027	32,041	32,228
外部委託検査	35,990	33,228	36,125	36,103
心電図	14,917	14,549	15,280	15,102
ホルター心電図	789	738	668	566
腹部エコー	4,390	4,267	4,268	4,368
心臓エコー	1,438	1,464	1,443	1,402
頸動脈エコー	170	174	132	136
甲状腺エコー	797	742	822	767
乳腺エコー	743	653	664	679
聴力検査	2,165	2,073	1,980	2,128

※令和5年度より検査システムの更新により集計方法に変更あり

## 業績

### 学会発表

- 1 生理検査室で経験した患者急変事例と今後の課題  
高野寿史  
白河厚生総合病院 検査科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 2 迅速なホルター心電図解析が早期治療に有用であった1例  
遠藤琴子  
白河厚生総合病院 検査科  
令和6年度J A福島厚生連臨床検査技師研修会 2024.11.16 白河

### 主な精度管理事業

- 日本医師会 臨床検査精度管理調査
- 日本臨床衛生検査技師会 臨床検査精度管理調査
- 福島県臨床検査技師会精度管理
- 日本輸血・細胞治療学会 精度管理調査
- 日本超音波検査学会 画像コントロールサーベイ

### 検査機器整備

低温インキュベーター	FMU-404
バイオメディカルフリーザー	MDF-MU339H
全自動血液凝固測定装置	CN-6000
自動採血管準備装置システム	BC・ROBO-8001 RFID

### 資格（令和6年度取得）

乳房超音波技術講習会 修了者	1名
臨床検査技師臨地実習指導者講習会 修了者	1名
聴力測定技術講習会 修了者	1名
福島県肝炎コーディネーター 認定者	1名

# リハビリテーション科

リハビリテーション科では、疾病や環境に応じ、疾患別リハビリテーション（以下リハ）を展開しております。施設基準は、心大血管リハⅠ、脳血管リハⅠ、廃用症候群リハⅠ、運動器リハⅠ、呼吸器リハⅠ、がんリハ、摂食機能療法を算定しています。理学療法、作業療法、言語聴覚療法の各部門が専門性を発揮しながら連携を図り、質の高いリハを目標に日々提供しております。また、急性期の入院リハだけでなく、県南医療圏の実情を踏まえ、小児リハビリテーション外来、スポーツ外来、リンパ浮腫外来も対応しています。

学術関連においては、研修会や学会等に積極的に参加、発表を行い、年間を通して研鑽に努め、科内全体の活性化も図っております。

令和4年度より、院内で必要な事項を協議や検討する場として、リハビリテーション運営委員会を立ち上げ、安全かつ適切な急性期リハビリの実現を目指しております。また、当科主体で行っている骨メタカンファレンス、摂食嚥下カンファレンス、心リハミーティングは、多職種による協働の検討会として、毎月、定期開催を継続しております。今年度は、院内他職種に対して、学会報告や実績報告、更に開催の意義を他職種へ啓蒙する研修会を開催しました。院内のチーム活動にも多数所属しており、リハ職としての専門性を発揮しながら、多職種とのチーム医療に取り組んでいます。

地域活動においては、これまで地域サロン事業や各市町村の自立支援型地域ケア会議への参加を行っています。また、県南地域リハビリテーション広域支援センターとして地域住民に対し、医療・介護・福祉事業者へのリハビリテーションの啓蒙などにより地域に密着した活動を継続しています。

## 業 績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総患者数（人）	34,399	35,155	35,498	35,953
総単位数（単位）	78,903	78,270	71,373	71,360

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
心大血管Ⅰ（単位）	入院	3,569	3,708	3,745	3,498
	外来	0	22	0	0
脳血管Ⅰ（単位）	入院	32,698	30,857	25,848	26,949
	外来	1,833	2,351	2,169	1,977
廃用Ⅰ（単位）	入院	11,266	11,247	9,711	10,422
	外来	40	5	34	24
運動器Ⅰ（単位）	入院	15,403	14,082	10,521	10,269
	外来	1,134	861	840	641
呼吸器Ⅰ（単位）	入院	6,746	8,480	9,324	8,847
	外来	6	31	11	7
がん（単位）	入院	6,208	6,626	9,170	8,726
摂食機能療法（件）	入院	145	150	31	26
	外来	2	0	2	1

## 資格取得

循環認定理学療法士	1名
呼吸認定理学療法士	1名
心臓リハビリテーション指導士	1名
3学会合同呼吸療法認定士	3名
NST専門療法士	1名
厚生労働省後援 新リンパ浮腫研修修了者	1名
福島県糖尿病療養指導士	3名
産前・産後ヨガインストラクター	1名
福島県体育協会認定アスレティックトレーナー	1名
機能的骨盤底筋エクササイズPilates認定インストラクター	2名
日本リウマチ財団登録理学療法士	1名
リンパ浮腫複合的治療科実技研修修了者	1名
認知症ケア専門士	1名
離床アドバイザー	1名

## 業績

### 学会発表

- 1 循環器疾患の運動療法 ～糖尿病と心臓リハビリテーション～  
百足昭一郎  
白河厚生総合病院 リハビリテーション科  
白河糖尿病治療講習会 2024.4.25 白河
- 2 5年目を迎えて、骨転移カンファレンスを開催する意義を考える  
～各職種が共通目標に向かって加速した症例を交えて～  
円谷公洋<sup>1)</sup>、東 光久<sup>2)</sup>、近藤和弘<sup>1)</sup>、百足昭一郎<sup>1)</sup>、出島 明<sup>1)</sup>、小野鈴恵<sup>1)</sup>、田村清香<sup>1)</sup>  
1) 白河厚生総合病院 リハビリテーション科  
2) 奈良県総合医療センター  
第9回日本がんサポーターズ学会学術集会 2024.5.18-19 埼玉
- 3 気管支炎の再発を繰り返す小児漏斗胸患者へのリハビリテーション介入 ～再発予防に向けて～  
大高拓也  
白河厚生総合病院 リハビリテーション科  
第23回福島県理学療法士学術集会 2024.10.14 福島
- 4 福島県循環器リハビリテーション研究会の立ち上げ1年間の活動報告  
百足昭一郎  
白河厚生総合病院 リハビリテーション科  
第23回福島県理学療法士学術集会 2024.10.14 福島

5 私たちが関わっているチーム活動の紹介

～それぞれが専門知識と役割を発揮する場として～

円谷公洋

白河厚生総合病院 リハビリテーション科

令和6年度福島県厚生連リハビリテーション技師会研修会 2024.11.23 白河

6 多発性骨髄腫を呈し入退院を繰り返す中で長期に関わった一例

大沼恵利奈

白河厚生総合病院 リハビリテーション科

令和6年度福島県厚生連リハビリテーション技師会研修会 2024.11.23 白河

# 栄 養 科

栄養科の業務は、大きく給食管理と栄養管理に分けられます。

給食管理は主に献立作成・発注業務にはじまり、食材の納品・納品処理に至ります。高齢化の波は大きく、当院の食事は70歳以上の高齢者食の割合が最も多くなっています。総合病院のため、離乳食から幼児食・産婦人科の出産で入院された方・高齢者と幅広い年代に提供しています。家庭の食事に準じた一般食と、成分栄養別コントロール食の特別食があります。食事の形態も多く、ペースト食から刻み・刻みトロミ食など患者さんが最も食べやすくりスクの少ない食事を提供しています。

栄養管理は患者さんのベットサイドに訪問し、患者さん一人一人食事摂取量はどうか、全身状態・褥瘡の有無・口腔内も考量し、食事内容が合っているかなどアセスメントを行います。看護師によるスクリーニングや検査データをもとに、これらをトータルして患者個人ごとの栄養管理計画書の作成を行います。リスクの高い患者は、一週間ごとにモニタリングを続けます。入院時のスクリーニングは良かった患者でも、入院中に栄養状態が悪くなると、NSTチームの介入が必要になります。NSTチームは、緩和ケアチームとも連携しているため、緩和ケアが必要な患者さんは、両面からのサポートが得られるようになります。この他チーム医療への参画として、透析予防チームをはじめ、褥瘡ケアチーム、心不全チームと栄養療法が必要なチーム活動を積極的に行っています。近年は、経管栄養のプランニングや下痢・便秘への改善にも力を入れています。

小児科病棟で行っている食物アレルギー経口負荷試験では、三大アレルギーを主として食べられた量を蛋白質質量に換算し、外来栄養食事指導をしています。摂取可能な食品が増え、就学時には、他の児童と同じ給食が食べられる事を目標としています。また妊産婦の信仰宗教に対する禁食については、ハラール食を中心に健診時外来に赴き聴き取りをし、希望に沿った食事の提供に心掛けています。

入院・外来を問わず、食生活の改善や合併症予防について、栄養食事指導を通じて患者さんに介入します。入院して外来通院後もサポートさせていただき、外来から入院された後も同じくサポートさせていただきます。最近では、がん罹患の方や、摂食嚥下困難な方への栄養食事指導も増えています。

## 【資格取得】

日本糖尿病療養指導士	1名
病態栄養専門管理栄養士	1名
NST専門療法士	1名
特定保健指導実践者育成研修 修了	1名

## 【令和6年度 栄養指導件数】入院・外来

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	59	55	51	49	46	51	42	34	36	40	27	34	524

【栄養サポートチーム管理加算（NST）件数】 438件

【糖尿病透析予防管理加算 指導件数】 14件

【食種別食数実績】

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
常 食	84,408	79,918	74,801	69,973
軟 食	59,823	65,899	69,371	70,512
エネルギーコントロール食 塩 分 制 限 食	46,947	42,433	41,318	44,035
たんぱく制限食透析食	11,808	9,325	11,751	9,017
脂 質 制 限 食	3,795	4,110	4,177	4,188
潰 瘍 食	9,630	8,021	9,477	9,178
検 査 食	817	827	958	896
そ の 他 特 食	1,191	319	1,099	3,887

やっぱり必要なカーボカウント～1型糖尿病患者に接して～

齊須裕美<sup>1)</sup>、会田望美<sup>2)</sup>、鈴木博恵<sup>1)</sup>、森谷千尋<sup>3)</sup>

1) 白河厚生総合病院 栄養科

2) 埴厚生病院 栄養科

3) 白河厚生総合病院 第三内科

第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

## 臨床工学科

我々、臨床工学技士は平成19年に看護部所属11名でしたが、平成22年までの4年間で病院長直属を経て臨床工学科として部門独立致しました。徐々に要員も増加し、令和6年度は技士15名と助手1名の16人体制となりました。

業務内容は大きく2つに大別され、1つは血液透析・血管撮影・救急救命などの臨床業務、もう1つは医療機器や診療材料の管理業務となっています。平成22年4月より、診療材料及びME機器の管理を目的に手術部との業務連携を開始しました。更に、平成26年5月より新たに夜間緊急時の内視鏡業務を開始しました。令和6年度は下の表にある業務実績と共に36機種のME機器を中央管理しています。

現在では24時間365日宿日直・当直体制を維持し、様々な医療機器、生命維持管理装置に対する専門的な技術と安全性の高い医療の提供を目指し業務に臨んでいます。

### 業務実績

	令和6年度
第一内科	
肝動脈塞栓術（TAE）	2
ラジオ波焼灼療法（RFA）	1
第二内科	
経皮的冠動脈形成術（PCI）	110
ペースメーカー植込術（交換含む）	57
体外式ペースメーカー留置術	33
経皮的末梢血管形成術（EVT）	11
脳神経外科	
脳血管造影	36
脳血管内治療	67
泌尿器科	
経皮的血管形成術（PTA）	156
動注化学療法	4
透析業務	
透析室における透析実績	17,555
持続的緩徐式血液ろ過透析（CHDF）	28
腹水ろ過濃縮再静注法（CART）	6
血漿交換療法（PE）	6
内視鏡業務（夜間緊急時）	
局注法（高張Naエビネフリン法（HSE）	1

## 業 績

### 学会発表

- 1 CRT-D埋め込み患者iATP治療報告について  
車田賢汰  
白河厚生総合病院 臨床工学科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 2 当院における呼吸ケアサポートチーム（RST）の発足と取り組み  
柳田雄貴  
白河厚生総合病院 臨床工学科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河
- 3 心室リードにCa沈着が疑われた維持透析患者の一例  
小砂子裕太  
白河厚生総合病院 臨床工学科  
第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 白河

## IV 事務部門

# 事務部門

## 〔医事課〕

令和6年度は、人口減少や少子高齢化等に伴う医療需要（患者）の減少やコロナ禍後の患者の受療行動の変化がみられる中、DPC病院として急性期医療の拡充、一般医療と感染医療の両立、入退院サポート促進と増収対策を講じました。また、引き続き医師事務作業補助者を病棟・外来に配置し、オーダーリング入力、サマリー入力、診断書作成等、医師の事務作業のサポートを継続し、医師の労働環境改善へ努めております。

今後とも、優しさと思いやりをもって、患者さん中心の医療業務に取り組んでまいります。

## 〔主な施設基準届出状況〕

網膜付着組織を含む硝子体切除術	令和7年3月1日
腎代替療法指導管理料	令和6年6月1日
慢性腎臓病透析予防指導管理料	令和6年6月1日
毛様体光凝固術	令和6年6月1日
外来・在宅ベースアップ評価料（I）	令和6年6月1日
定位放射線治療	令和6年5月1日
骨髄微小残在病変量測定	令和6年5月1日
内視鏡下胃十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術	令和6年1月1日
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	令和5年11月1日
遺伝学的検査	令和5年11月1日
呼吸ケアチーム加算	令和5年7月1日
報告書管理体制加算	令和4年4月1日
一般不妊治療管理料	令和4年4月1日
外来腫瘍化学療法診療料1	令和4年4月1日
医師事務作業補助体制加算2 20対1	令和2年11月1日
強度変調放射線治療（IMRT）	平成31年2月1日
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	平成30年4月1日
乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術等）	平成28年8月1日
精神疾患診療体制加算	平成28年4月1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成28年4月1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成28年1月1日
がん患者リハビリテーション料	平成27年10月1日
感染防止対策加算1	平成27年4月1日
感染防止対策地域連携加算	平成27年4月1日
遠隔画像診断	平成27年4月1日
乳がんセンチネルリンパ加算1・2	平成26年12月1日
がん患者指導管理料1・2	平成26年8月1日
地域連携小児夜間・休日診療科1	平成26年8月1日
リハビリテーション初期加算	平成25年11月1日

## 〔健康福祉課〕

健康福祉課では、J A病院の使命としてJ A組合員並びに地域住民の健康を守るため、生活習慣病の予防をはじめとする疾病予防の視点に立った「一次予防」の普及・促進を重点に、J Aの特色を生かした健康管理活動を積極的に展開しております。

また、PET/CTによるがん検診も積極的に進めており、福島県民を対象とした福島県民コース第8期、那須町民を対象とした那須町民コース第7期、J A組合員を対象としたJ A福島コース第3期を実施しました。

### 健康診断の目的・活用について

#### 1 生活習慣を振り返り、改善するきっかけにする

多くの病気は、必ずしも加齢によるものではなく生活習慣の結果から起こることが明らかになってきました。言い換えれば、不健康な生活習慣を改め、健康的な生活を送っていれば、多くの病気は防ぐことができるのです。健診を受けることによって、自分の生活習慣を見直し、日常生活の中で、どんな点に注意すれば良いのか分かります。

#### 2 静かに進行する生活習慣病のこわさ

生活習慣病には、「がん」「心臓病」「脳卒中」という命にかかわる重大な病気や糖尿病や痛風、骨粗しょう症などQOL（生活の質）を下げる危険な病気があります。

○自覚症状があらわれにくく、気づいた時にはかなり進行していることが多い。

○複数の病気を併発することが多い。

○加齢を土台にした慢性病なので完全に治らず、生涯にわたってコントロールしていかなければならない。

#### 3 生活習慣病の芽をつみとる

①悪い食習慣 ②運動不足 ③ストレスと睡眠不足 ④喫煙 ⑤過度の飲酒

この5つが生活習慣病を発症させ進行させていく大きな要因です。つまり、その名の通り生活習慣の良し悪しが生活習慣病の発症と深くかかわっています。

## 各種健診実績

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
定 期 健 診	677	517	726	683
特 定 健 診	314	332	368	358
農 業 従 事 者 特 別 健 診	12	6	4	7
骨 粗 鬆 症 検 診	0	1	0	0
成 人 病 健 診	51	27	24	51
結 核 検 診	4	2	0	2
子 宮 が ん 検 診	924	792	779	749
乳 が ん 検 診	1,207	1,009	992	748
大 腸 が ん 検 診	168	145	120	133
前 立 腺 が ん 検 診	14	11	9	3
腹 部 超 音 波 検 診	0	0	0	0
P E T 検 診	1,854	1,754	1,734	1,830
そ の 他 検 診	8,302	8,370	7,973	7,584
衛 生 講 話 ・ 保 健 指 導	7,329	7,201	6,338	3,462
特 定 保 健 指 導	0	82	136	74
予 防 注 射	22,110	17,173	10,027	4,327
人 間 ド ッ ク	3,905	3,666	3,706	3,776
政 管 一 般 健 診	2,035	1,916	2,220	2,393
合 計	48,906	43,004	35,156	26,180

## 〔システム運用課〕

令和6年度は、電子カルテシステム及び各部門システムの問題点、改善等に取り組んだ他、サイバー攻撃対策として院内ネットワーク（電子カルテ系、情報系ネットワーク）を監視するための『iNetSec SF振る舞い検知システム』を設置、導入しました。振る舞い検知機能により内部拡散を行うマルウェアを感知することが可能となり、感染端末を即座にネットワークから遮断し感染被害を最小限に抑えることができました。

今後も院内業務の改善や効率化を検討し、職員の業務軽減につながるようサポートを引き続き励んで参ります。

# 患者サポートセンター

患者サポートセンターは、令和4年4月1日より入院前から患者さんの「入院生活」や「退院後の生活」を見据え、住み慣れた地域で継続して生活できるように医師・看護師だけではなく、ソーシャルワーカーなど多職種の連携・協働による患者への支援（サポート）を行うため、既存の地域連携室、医療福祉相談室を集約した「機能的センター」として設立しました。

患者・患者家族が紹介から受診、入院から退院、転院、在宅療養生活まで安心して治療を受けていただくために、途切れなくトータルサポートを目指し今後も努力してまいります。

## 【地域医療連携室】

地域医療連携室は、地域の医療機関や介護施設の皆様との密接な連携を図ることを目的に開設されました。当院は、福島県南二次医療圏の基幹病院として地域の医療機関の先生方との架け橋となり、ご紹介頂く患者さんに最適で質の高い医療を提供する使命があります。そのため開設当初から前方連携・後方連携の強化に努め、迅速で円滑な連携と支援の役割遂行のため取り組んでおります。

また、白河歯科医師会とも医科歯科連携し、歯科治療が必要な入院中の患者様に対し歯科往診を依頼しております。

平成28年から開始した地域がん連携パスは、肺がん患者で運用を開始し、現在10施設の協力を頂き4名の患者で連携を図っています。

福島県医療福祉情報のキビタン健康ネットに発足当初より登録しております。賛同している医療機関・介護施設・薬局をインターネットで結び診療情報を把握することで診療の向上役立てています。今後も連携を密にとりながら、患者さんが地域で安心した医療を受けられるように努めてまいります。

## 【連携医療機関】

令和6年度 医療連携登録医療機関 135施設

## 【業務実績】

- 令和6年度 歯科往診依頼件数 37件  
白河歯科医師会・白河厚生総合病院合同会議  
毎月第3木曜日 12回開催
- 令和6年度 キビタン健康ネット新規登録者数 98件
- 第39回 地域医療連携協議会 参加施設20施設 参加人数 72名  
日時 令和6年10月16日 18時30分から20時00分  
場所 白河厚生総合病院 2階大会議室  
内容 1) 議題 令和5年度 患者サポートセンター実績報告  
2) 情報共有・意見交換

#### 4 紹介実績（人）

診 療 科	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第 一 内 科	700	722	642
第 二 内 科	747	718	762
呼 吸 器 科	247	256	286
第 三 内 科	353	377	387
小 児 科	387	548	575
心 療 内 科	10	7	10
外 科	189	196	182
整 形 外 科	585	582	548
脳 神 経 外 科	291	251	333
産 婦 人 科	479	384	411
眼 科	376	427	408
耳 鼻 咽 喉 科	190	157	141
皮 膚 科	178	133	168
形 成 外 科	305	280	291
泌 尿 器 科	588	507	564
放 射 線 科	1,185	1,130	1,037
麻 酔 科	3	0	2
心 臓 血 管 外 科	50	22	24
脳 神 経 内 科	42	42	39
総 合 診 療 科	377	432	425
合 計	7,282	7,171	7,235

## 5. 他院紹介実績 (人)

診療科	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第一内科	430	410	314
第二内科	569	648	807
呼吸器科	176	169	153
第三内科	432	406	484
小児科	139	100	252
心療内科	43	57	36
外科	149	161	182
整形外科	947	1,036	1,002
脳神経外科	765	834	1,136
産婦人科	217	248	276
眼科	377	684	625
耳鼻咽喉科	86	121	127
皮膚科	66	52	55
形成外科	99	105	99
泌尿器科	399	418	460
放射線科	319	320	336
麻酔科	7	4	3
心臓血管外科	76	29	17
脳神経内科	87	30	19
総合診療科	755	867	997
救急治療科			44
合計	6,139	6,699	7,380

### 〔入退院支援センター〕

入院サポートは、入院時に必要な手続き、持ち物や入院生活のイメージがしやすいように説明を行い、安心して入院していただけるように心がけ説明をしています。また、患者さんの生活背景に添って、穏やかな雰囲気の中で説明ができるよう努力しています。各科の特殊性を生かした説明を行い、必要時、入院前から医療相談員、認知症ケア専任看護師、NST看護師等に患者情報を共有し、切れ目のないチーム医療を心がけています。今後とも、入院前から多職種と連携を取り、安心して入院生活を送れるよう支援してまいります。

入院支援対応科実績表（件）

診 療 科	令和5年度	令和6年度
第 一 内 科	175	129
第 二 内 科	101	15
総 合 診 療 科	0	3
呼 吸 器 科	47	49
外 科	338	320
泌 尿 器 科	386	362
脳 神 経 外 科	0	5
整 形 外 科	190	96
産 婦 人 科	100	112
眼 科	72	270
小 児 科	4	0
総 数	1,413	1,361
入院時スクリーニング提出	114	71

### 【がん相談支援センター】

「がん治療について知りたい」「今後の療養生活の事が心配」など、患者さんやご家族からのがんに関する質問や相談に医療ソーシャルワーカーや看護師等がお答えいたします。

令和6年度 がん相談件数 911件

令和6年度 がんピアサロン結い 12回 参加者89名

### 【医療福祉相談室】

当院の医療福祉相談室は、当時県内2番目の昭和34年に初代医療ソーシャルワーカーとして、相澤知代氏が採用されたことから始まり、現在に至ります。

医療福祉相談室では、医療ソーシャルワーカーの業務指針に基づき、資質の向上を図るとともに、医療ソーシャルワーカーが社会福祉学を基にした専門性を十分に発揮し、業務を適正に行うことを目的とします。

### 【業務内容】

- 1 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- 2 退院援助
- 3 社会復帰援助
- 4 受診・診療援助
- 5 経済的問題の解決、調整援助
- 6 地域活動

【令和6年度 相談件数・相談内容】

診療に関する相談	4,383
回復期リハビリテーション病院転院	608
一般病院転院	86
療養型病院転院	136
その他	3,553
福祉に関する相談	11,686
退院支援、介護相談	8,491
公費制度	1,684
障害年金	355
医療費、限度額認定	226
障害者手帳	605
透析導入時手続き関係	307
その他	18
がん支援に関する相談	1,913
苦情クレーム	26
合 計	18,008

## V 併設施設

# 居宅介護支援事業所

介護保険制度が平成12年に創設されて、団塊の世代が75歳以上となる令和7年を見すえ、自立支援のためのサービス体系、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進してきており、現在は令和27年に向け地域で支え合う「地域共生社会」に向けた制度改革が進行中です。

当居宅介護支援事業所では、在宅での看取りを希望した相談が多くなっています。利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送る事ができるよう、ケアマネジャーが、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関連機関との連絡・調整を行っています。

設置母体が総合病院である為、医療とのつながりが強く医療依存が高いケースや、ターミナルケアを必要としている利用者の割合が大きい事があげられます。また、当院では訪問看護ステーションも併設されており互いに連携を密にして対応にあたり、利用者のご家族が必要とされる在宅療養が継続出来るよう努めています。

今後とも、住み慣れた在宅において、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援してまいります。

## 業務体勢

主任ケアマネジャー 1名（基本資格 准看護師）

## 利用実績

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ケ ア マ ネ ジ ャ ー	1名	1名	1名	1名
給付管理ケアプラン件数	386件	358件	375件	404件
訪 問 調 査 件 数	16件	15件	12件	15件

## 訪問看護ステーション

しらかわ訪問看護ステーションは、平成11年11月1日より指定訪問看護事業者としての指定を受け、医療保険によるサービス提供を開始しています。また、平成12年4月からは介護保険の指定居宅サービス事業者の指定も受けており、病院併設という形で訪問看護ステーションを運営し、医療保険・介護保険によりあらゆる年齢・疾患の方に対して訪問を行わせて頂いています。

勤務しているスタッフは訪問看護認定看護師（保健師）1名、看護師3名の計4名体制で対応させて頂いております。

訪問実施地域は、白河市・西白河郡・那須町で、利用者の方は併設する白河厚生総合病院だけではなく、地域の医療機関からも御紹介を頂いています。また、令和4年度より、農村健診センターより訪問診療が開始となり、連携を図りながら、在宅療養支援・継続看護を実施させて頂いております。

利用者数は月平均58名、訪問延べ回数は250件／月、医療保険と介護保険の割合は2：8程度となっています。定期訪問のほか24時間体制（宅直制）をとっており、夜間・休日でも電話相談や必要に応じて訪問を実施し、安心して在宅療養生活が継続できるよう支援させて頂いております。また、実習施設としても提供しており、白河厚生総合病院附属看護学院を始め、福島県看護協会、学生など多方面からの実習を受け入れております。

白河厚生総合病院および農村健診センター併設の訪問看護ステーションという事もあり、医療依存度の高い利用者はもちろんのこと、在宅看取りを希望される方も増加してきております。利用者数は年々増加傾向にあり、今後は更に在宅療養者が増えることが予測されます。住み慣れた家で病状を安定させ療養生活を送りたい、最期を家で迎えたいという方々の希望を尊重し、安心して療養生活が送れるよう、医師や多職種の方々と協働し、地域から信頼されるステーションを目指して今後も努力して参りたいと思います。

## 農村健診センター

農村健診センターは、昭和44年8月1日に農業従事者の健康調査および農村に多発する疾病の調査研究のため、農村医学研究所として設立されました。設立当時の職員は医師、看護師、検査技師、事務員、運転手の5名で、初代所長には町田保氏が就任し、県内の農家組合員の健康調査と研究に尽力してまいりました。その後、県内農家組合員およびその家族の健康を守るため、巡回健診を業務として、平成元年4月より農村健診センターに名称変更し、現在に至っています。

平成20年5月1日には、白河厚生総合病院の移転新築に伴い、病院1階西側に診療所を構え、新たな農村健診センターとして巡回健診に取り組んでいます。

現在の健診体制は、レントゲンバスと生化学自動分析装置を搭載したバスを整備しております。

スタッフは、緑川副所長ほか看護師3名、放射線技師2名、臨床検査技師2名、事務職員3名、運転手2名の計13名で健診活動を実施しています。

健診は、県内J A職員および組合員の健康管理活動、さらに地域企業の職員健診にも積極的に取り組んでいます。

また、平成28年度にはX線デジタル化を図り、精度の高いX線検診が可能となりました。

受診者数は設立当時1万5千人でしたが、平成10年度には3万人を超える利用人員となりました。その後、受診者数は3万人前後で推移していましたが、平成20年度から特定健診が開始された影響で、市町村の胃がん検診受診者数が減少しました。

その結果、平成24年度の利用者数は26,579人、平成27年度は24,831人、平成30年度は25,345人と減少が続きました。さらに、令和2年度にはコロナ感染症の拡大により健診活動が制限され10,855人にまで減少しましたが、徐々に受診者が回復し令和6年度は15,159人の実績となりました。

また、令和4年4月より、在宅療養支援診療所を開設し、県南医療圏で増加する在宅患者需要に対し診療を行っており、令和4年度延べ351人、令和5年度延べ1,204人、令和6年度延べ1,890人の実績となりました。

# 看護学院

令和6年度は、第64回の入学生21名を迎え、第62回生25名が卒業し、同窓生総数は1,397名となりました。本校の使命は「いのちの大切さを基盤に、豊かな人間性と高い倫理観を培い、看護に関する専門的知識・技術を身につけ、あらゆる健康レベルにある対象に応じた看護を実践し、地域社会に貢献できる看護師を育成していくこと」です。

今年度、全学年が第5次改正カリキュラムとなり、J A福島厚生連の理念を礎とし、「地域に愛され、地域に必要とされる看護師養成所の存在価値」を目指す教育を実践しています。学生確保の観点から地域の小学生を対象とした仕事体験を開催し、一人でも多くの地域住民の皆さまに本校を知っていただく取り組みを始めました。学院長の指揮のもと教育目的が達成できるよう教職員が一丸となり、次年度も本校の目指すべき方向性を大切にして魅力ある学校作りを目指していきたいと考えております。

## 【令和5年度 基本情報】

### 1. 学生状況 (令和6年4月1日現在)

(男子学生数)

学 年	1年	2年	3年	総数
学 生 数	21 (4)	31 (4)	25 (4)	77 (12)

### 2. 第62回 卒業生の状況

#### 1) 就職

##### (1) 厚生連：20名

勤 務 先	人 数
白河厚生総合病院	11
塙厚生病院	6
坂下厚生総合病院	3

##### (2) 厚生連以外：2名

勤 務 先	人 数
東海大学医学部付属病院	1
神奈川県立こども医療センター	1

#### 2) 進学：3名

勤 務 先	人 数
栃木県立衛生福祉大学校	2
マロニエ医療福祉専門学校	1

3) 令和6年度 看護師国家試験の結果 (既卒含む)

実施回	受験者数	合格者数	合格率
第114回 (全国)	26名 (63,131名)	26名 (56,906名)	100% (90.1%)

【教育体制】

1. 教職員総数：14名

学院長1名 副学院長1名 事務長1名 事務課長補佐1名

教務主任2名 主任専任教員3名 専任教員4名 実習指導教員1名(4月～10月)

2. 学校医およびスクールカウンセラー 各1名

3. カリキュラム・講師

1) カリキュラム：103科目 113単位 3,090時間

第62回生 3年次 17科目 24単位 866時間

第63回生 2年次 45科目 47単位 1,141時間

第64回生 1年次 41科目 42単位 1,083時間

2) 講師：108名 常勤14名 非常勤講師94名(大学教授、厚生連職員他)

4. 臨地実習指導者 71名

施設名	人数
白河厚生総合病院(地域医療連携室/居宅介護支援事業所含む)	22
農村健診センター	1
埴厚生病院(地域医療連携室/居宅介護支援事業所/デイケア含む)	10
高田厚生病院(地域医療連携室)	2
坂下厚生総合病院(地域医療連携室/居宅介護支援事業所)	2
鹿島厚生病院(地域医療連携室/居宅介護支援事業所)	2
埴厚生病院併設介護老人保健施設「久慈の郷」	1
坂下厚生総合病院併設介護老人保健施設「なごみ」	2
鹿島厚生病院併設介護老人保健施設「厚寿苑」	2
J A 福島厚生連	1
白河市高齢福祉課	1
白河市中心保健センター	1
白河市地域包括支援センター	2
白河市西部地域包括支援センター	2
西郷村保健福祉センター	1
白河市わかば保育園	1
白河市さくら保育園	1
白河市社会福祉協議会 白河みのり保育園	1
白河市社会福祉協議会 白河保育園	1
福島県立西郷支援学校	1

信越半導体株式会社白河工場	1
白河市立東北中学校	1
白河市立大信中学校	1
白河市立みさか小学校	1
しらかわ訪問看護ステーション	1
はなわ訪問看護ステーション	1
すみれ訪問看護ステーション	2
泉崎南東北訪問看護ステーション	2
かしわ助産院	1
デイサービスセンター「やすらぎの家」	1
デイサービスセンター「ふれあいの家」	1
NPO法人ウッドピアはなわ	1

### 【受験生確保のための活動】

#### 1. 高校訪問

##### 1) 第1回 34校

日 時	学 校 名
5月15日（水）	光南高校
	白河旭高校
5月17日（金）	那須拓陽高校
	黒磯南高校
	那須高校
5月20日（月）	白河実業高校
	白河高校
5月21日（火）	修明高校
	学法石川高校
	石川高校
5月22日（水）	須賀川創英館高校
	須賀川桐陽高校
	尚志高校
	帝京安積高校
	田村高校
	日大東北高校
郡山東高校	

##### 2) 第2回 7校

日 時	学 校 名
5月23日（木）	安達高校
5月31日（金）	原町高校
	相馬総合高校
	相馬高校
6月4日（火）	南会津高校
	葵高校
	会津若松商業高校
	会津西陵高校
	会津若松ザベリオ学園高校
6月5日（水）	会津学鳳高校
	喜多方高校
	あさか開成高校
	安積黎明高校
6月14日（金）	本宮高校
	小野高校
	郡山商業高校
7月23日（火）	岩瀬農業高校

##### 2) 第2回 7校

日 時	学 校 名
10月22日（火）	白河高校
10月23日（水）	白河旭高校 光南高校 帝京安積高校 修明高校
10月25日（金）	須賀川桐陽高校 須賀川創英館高校

2) 進学ガイダンス・進路説明会 13回

開催日	内 容	対 象	来場者	開催場所
5月24日	進学ガイダンス	3学年	9名	光南高校
6月19日	進路ガイダンス	3学年	7名	学法石川高校
7月12日	学校説明会	2学年	5名	光南高校
7月16日	学校説明会	3学年	2名	修明高校
11月8日	進学ガイダンス	2学年	12名	光南高校
12月6日	進学ガイダンス	1～3学年	0名	マイタウン白河
12月10日	進学ガイダンス	2学年	11名	白河旭高校
12月17日	進路ガイダンス	2学年	1名	会津農林高校
1月21日	進路ガイダンス	2学年	2名	修明高校
2月21日	進学相談会	1・2学年	7名	東京第一ホテル
	進学ガイダンス	1～2学年	2名	エスパル福島
3月8日	進路相談会	中学生～高校生	6名	ビックパレットふくしま
3月12日	進学説明会	1学年	1名	会津農林高校

3) 学校説明会

開催日	内 容	対 象	参加者	開催場所
5月～11月 第2・4・5土曜日	個別学校説明会	高校生 (保護者)	37名	本校
7月21日(日)	オープンキャンパス (学院祭)	高校生 保護者	38名	本校

【学校評価】

授業評価 授業	非常勤講師各1回 専任教員各1回 対象学生			
授業評価 実習	各領域1回 (実習指導者2名・担当教員1名) 対象学生			
学生満足度調査	1～3年生 (77名)			
自己点検・自己評価	教職員 (13名)			
学校関係者 評価	委 員	J A 福島厚生連代表理事常務 看護部長 (白河・埴) 教育担当者 (副看護部長: 白河・埴) 同窓会会長 本校: 学院長 副学院長 事務長 教務主任 主任専任教員 事務課長補佐		
	委員会	第1回 5月16日 対面 第2回 2月26日 対面		

## 【看護教員に求められる実践能力の向上】

### 1. 授業参観 2名

実施日	科目名	教員
2月16日（金）	臨床判断技術Ⅱ	大谷
2月20日（火）	小児看護学概論	知々田

### 2. 看護実践現場研修 6名

実施日	研修先	教員
7月23日（火）24日（水）	白河 4階東病棟 NICU	知々田
7月25日（木）26日（金）	埴 産婦人科外来・産婦人科病棟	坂本
7月29日（月）	白河 3階東	薄井
8月1日（木）	白河 外来（総合診療科／救急外来）	柳沼
9月6日（金）	埴 2階病棟	大谷
12月26日（木）	白河 地域医療連携室	和知

### 3. 公開授業 2名

実施日	科目名	教員
11月26日（火）	精神看護学概論	芳賀
12月20日（金）	看護研究Ⅱ	志田

### 4. 研修会参加実績

対象教員10名 合計89回

### 5. 出前講座講師 4名

実施日	研修名	テーマ	教員
6月25日（火）	埴厚生病院 臨地実習指導者勉強会	看護診断とは	和知 芳賀
7月16日（火）	白河市立大信中学校 薬物乱用防止教室	喫煙と受動喫煙による健康被害	前原
8月6日（火）	福島県看護連盟 管理者研修	Z世代の人材育成 —看護学校の立場から—	秋山

6. 研究発表 3題

開催月	学 会 等	テ ー マ	発表者	研究メンバー
8月	第36回 日本看護学校協議会学会	A県看護師養成所における看護教員の社会人 基礎力実態調査	薄井	福島県看護教育 研究会メンバー
9月	第55回 日本看護学会学術集会	看護職確保に繋げるキャリア教育の在り方 -小・中学生対象「助産師の仕事」の評価-	秋山	坂本/和知/与儀
10月	第73回 日本農村医学会学術総会	小中学生を対象とした助産師職業意識の調査 -職業体験からの考察-	坂本	秋山/和知/与儀

【教科外活動】

日 程	行 事	詳 細
4月8日	第64回入学式 保護者オリエンテーション	
4月12日	1学年 オリエンテーリング	
4月19日	新入生歓迎会	学生自治会主催
6月28日	1学年 研修旅行	那須どうぶつ王国
7月21日	学院祭	高校生と保護者 地域住民
10月11日	2学年 研修旅行	東京ディズニーシー
10月26日	第64回継灯式	保護者 各看護部長 臨床指導者代表者
11月29日	3学年 研修旅行	東京ディズニーランド
12月20日	3学年 看護研究発表会	在校生・各病院教育担当者 臨地実習指導者
2月14日	第114回看護師国家試験壮行会	
3月4日	第62回卒業式	
3月21日	新入生・保護者オリエンテーション	令和7年度入学予定者22名

日程	行事	対象	担当
4月24日 5月16日 10月26日 2月26日	厚生連教育	2・3学年 3学年 2学年 1・2学年	各病院看護部長 本所人事課 JA福島厚生連代表理事常務 各看護部長 各病院先輩看護師
4月16日 5月1日	アサーティヴコミュニケーション研修	2・3学年	白河厚生総合病院公認心理師
4月22日	防犯訓練	全学年	白河警察署
5月2日	性教育	全学年	母性看護学領域 専任教員
5月10日	講師会議	講師 実習指導者	新規講師及び外部実習指導者 他、資料配布
5月9日	交通安全教室	全学年	白河警察署(交通課)
5月13日 11月25日	避難訓練 (火災2回)	全学年	白河消防署
5月14日 7月11日 11月13日	接遇研修	全学年	(株)マイナビ
6月5日	学生のための消費者講座	1学年	福島県労働福祉協議会
6月13日	坐禅・入棺体験	1学年	臨済宗妙心寺派大統寺住職
6月14日	厚生連病院見学	2学年	坂下厚生総合病院
6月18日	年金セミナー	2学年	日本年金機構白河年金事務所
11月4日	J Aまつり	1・2学年	よさこい披露
11月14日	福島県国民保護共同実動訓練	2学年	福島県危機管理課
2月22日	院内災害対応訓練	1学年	白河厚生総合病院
通 年	キャリア開発看護観育成	全学年	副学院長・教員

## 【継続教育支援】

### 1. カムバックデー開催

#### 1) ねらい

忙しい臨床現場に勤務する当学院の卒業生が、懐かしい学び舎に集まり、卒業生同士、教員と語り合い、楽しい時間を過ごし、明日への糧とする。卒業生が看護師として働く苦労を表出し、ストレスの軽減につながり、医療現場における継続教育支援の一助とする。

#### 2) 対象：当看護学院の卒業生

#### 3) 開催日時及び参加人数（合計32名）

- 第1回 5月11日（土）14時～16時 令和5年度卒業生
- 第2回 7月13日（土）14時～16時 主に卒後3年目
- 第3回 9月14日（土）14時～16時 主に卒後2年目
- 第4回 11月9日（土）14時～16時 令和5年度卒業生

### 【新カリキュラム会議】

- 1) 開催時期及び回数 8月～3月 5回開催
- 2) 内容
  - (1) 実習科目評価方法
  - (2) 新設科目の評価 (臨床判断技術Ⅱ／慢性期と看護／健康運動論／基礎・臨床看護技術の統合／災害看護)
  - (3) 看護過程マトリクス
  - (4) ルーブリック評価
  - (5) 領域別実習におけるルーブリック評価表の点検

### 【地域への貢献】

- 7月14日(日) 本校主催 Kids nurse in 2024  
「救命」 参加者23名
- 10月5日(土) 白河第三小学校 KAEDKKOフェア  
「看護師の仕事」体験出展 参加者59名

## Ⅵ 臨床研修センター

# 臨床研修センター

令和7年（2025）4月 NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）4年間認定

## 【これまでの経緯】

当院は平成16年度から基幹型臨床研修病院として、研修の効果的な実施を図ることを目的に、臨床研修管理委員会・臨床研修プログラム委員会を中心として運営してきました。平成25年、27年にはよりよい臨床研修病院を目指して、NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）の訪問調査を受審いたしました。この受審により当院の課題が明確となり、平成28年4月、院内の臨床研修管理体制の確立及び改善のため、臨床研修センターを立ち上げ課題に取り組み、令和7年6月NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）より4年間の認定を受けることができました。

年度	JCEP受審	認定期間	年度	JCEP受審	認定期間
平成27年	4月	2年間認定	令和2年		
平成28年			令和3年	5月	4年間認定
平成29年	4月	4年間認定	令和4年	書面調査提出	
平成30年	書面調査提出		令和5年		
令和元年			令和6年	2月	4年間認定

## 【令和6年度の活動と成果】

臨床研修センターと研修医は、病院長の直轄的な位置づけとし、センター長、事務局を中心として運営しております。NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による改善項目数は下記のとおりです。

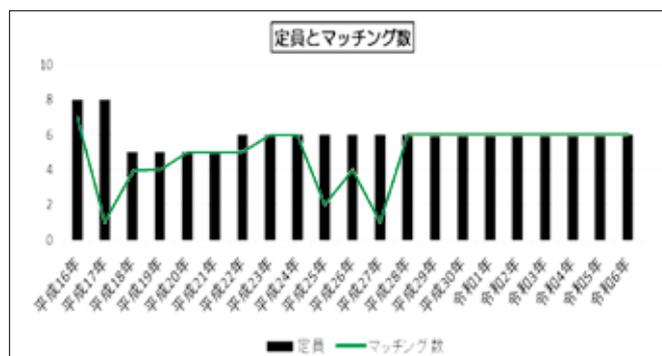
臨床研修評価調査票	平成27年4月	平成29年4月	令和3年5月	令和7年2月
要検討項目	20項目	11項目	13項目	11項目
要改善項目	4項目	-	-	1項目
「b」	51項目	19項目	19項目	13項目
「c」	5項目	-	-	1項目

臨床研修センターとしての事業は、大きく分けると次の通りです。

1. 臨床研修医招聘事業
2. 臨床研修医育成事業
3. 臨床研修医強化事業

## 【臨床研修医招聘事業】

- 1) 医学生向け就職ガイダンス参加：5件
- 2) 医学生の当院見学・実習受け入れ  
：令和6年度 117名（参考：令和5年度76名）
- 3) 医師臨床研修マッチング  
：9年連続6名フルマッチ



【臨床研修医育成事業】

<初期研修医と研修コース一覧> 定員6名（1年次：6名 2年次：6名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次 小林一道	小児科	循環器 内科	地域 医療 (坂下)	小児科	保健・ 救急科	一内科	精神科 (こころの杜)	整形 外科	脳神経 外科	産婦 人科	小児科	
2年次 酒井貴史	精神科 (こころの杜)	呼吸器 内科 (福医大)	産婦 人科	麻酔科	地域 医療 (坂下)	三内科	脳神経 外科・ 保健	一内科	小児科	形成 外科	循環器 内科	放射 線科
2年次 山元 想	血液 内科	リウマチ 膠原病内科 (福医大)	精神科 (こころの杜)	総合 診療科	救急科	放射 線科	地域 医療 (坂下)	病理・ 保健	整形 外科	小児科	産婦 人科	一内科
2年次 町田夏希	産婦人科		一内科	地域 医療 (塙)	小児科	整形 外科	三内科	精神科 (こころの杜)	放射 線科	循環器 内科・ 保健	一内科	
2年次 村上礼佳	麻酔科	小児科	放射 線科	形成 外科	保健・ 病理	地域 医療 (坂下)	産婦 人科	脳神経 外科	精神科 (こころの杜)	一内科	麻酔科	
2年次 萩野莉沙	泌尿 器科	整形 外科	小児科	産婦 人科	麻酔科	病 理	外科・ 保健	地域 医療 (坂下)	放射 線科	精神科 (こころの杜)	形成 外科	泌尿 器科
1年次 笛木アレン	総合診療科		循環器 内科	一内科	外 科	呼吸器 外科	救急科		三内科	血液 内科	麻酔科	
1年次 宍戸愛理	総合診療科		三内科	循環器 内科	麻酔科		外 科	呼吸器 外科	救急科		一内科	
1年次 木嶋優介	麻酔科		総合診療科		一内科		救急科		外 科	呼吸器 外科	三内科	循環器 内科
1年次 川島 萌	三内科	循環器 内科	麻酔科		総合診療科		一内科		救急科		外 科	呼吸器 外科
1年次 堀江 宗	一内科		外 科	呼吸器 外科	総合診療科		循環器 内科	三内科	麻酔科		救急科	
1年次 橋本明佑美	外 科	呼吸器 外科	総合診療科		三内科	循環器 内科	麻酔科		一内科		救急科	

## 1. 臨床病理検討会（CPC）

臨床医・放射線医・病理医その他の医療従事者が臨床経過、検査データ及び画像所見、剖検結果などを含めて症例を検討しました。

	開催日	発表者	テーマ	出席者
1	6月10日	(2年) 小林 一道	腹痛を主訴とした原発不明癌の一例	37名
		(2年) 萩野 莉沙		
2	11月18日	(1年) 笛木アレン	顕微鏡的多発血管炎治療後に著しい免疫不全を来した一例	28名
		(1年) 橋本明佑美		
		(1年) 川島 萌		

## 2. 症例発表会

研修医が研修中に体験した事例を基に、指導医・上級医の指導を受けながら症例をまとめ発表しました。

	開催日	発表者	テーマ	出席者
1	5月14日	(2年) 町田 夏希	低体温症による心停止後蘇生に成功し、神経学的後遺症を残さなかった一例	15名
		(2年) 萩野 莉沙	膀胱タンポナーデの一例	
2	6月11日	(2年) 村上 礼佳	腹腔鏡下S状結腸切除術中の心停止が冠攣縮性狭心症によるものと疑われた一例	15名
3	7月9日	(2年) 小林 一道	初回免疫グロブリン療法に対して反応不良だった川崎病の一例	17名
		(2年) 酒井 貴史	突然のめまいで発症した小脳梗塞の一例	
4	8月6日	(2年) 山元 想	多発性硬化症の既往があり、誇大妄想が強く興奮状態となり措置入院となった一例	14名
		(2年) 萩野 莉沙	腹痛を主訴に救急外来を受診し異所性妊娠を認めた女性の一例	
5	9月3日	(2年) 町田 夏希	出血性胃潰瘍に対して純エタノール局注法による内視鏡的止血術を行った一例	10名
6	11月26日	(1年) 宍戸 愛理	心肺停止蘇生後で搬送されたBrugada症候群の一例	15名
		(1年) 堀江 宗	急性胆管炎の経過中にDICを合併した一例	
		(2年) 酒井 貴史	アルコール多飲患者に発症した高血糖高浸透圧症候群の一例	
7	12月17日	(1年) 木嶋 優介	Hb2.9 g/dLで搬送された出血性胃潰瘍の一例	16名
		(2年) 小林 一道	急性発症の腰痛、両下肢脱力で救急搬送された一例	
8	2月25日	(1年) 川島 萌	巨大子宮筋腫と貧血に対してレルゴリクスによる治療中に発症したPRESの一例	18名
		(2年) 村上 礼佳	外来管理で良好な経過を得られた広範囲熱傷の一例	
		(2年) 山元 想	皮膚腫瘍の再発を繰り返し骨髄病変により診断が確定した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例	

9	3月4日	(1年) 笛木アレン	頸部脊髄腫瘍摘出術後に悪寒戦慄を伴う急性発熱で救急搬送された一例	12名
		(1年) 橋本明佑美	急性腎盂腎炎との鑑別を要した急性巣状細菌性腎炎の一例	

### 3. 救急症例検討会

研修医が救急室研修において体験した事例及び学びたいことを中心に毎週火曜日に開催しました。

	開催日	発表者	テーマ	出席者
1	4月9日	(2年) 小林 一道	お役立ち情報	11名
2	4月16日	(2年) 萩野 莉沙	救急外来シュミレーション (walk in)	11名
3	4月23日	(2年) 町田 夏希	救急外来見学	10名
4	5月7日	(2年) 山元 想	パスの使い方	12名
5	8月13日	(2年) 町田 夏希	失神・めまいの救外対応	10名
6	8月10日	(2年) 小林 一道	STEMI	11名
7	10月15日	(2年) 萩野 莉沙	漢方薬講義	11名
	開催日	発表者	テーマ	出席者
8	10月24日	(2年) 村上 礼佳	脳卒中初期診療	21名
9	12月3日	(2年) 萩野 莉沙	輸液について	11名
10	12月10日	(2年) 酒井 貴史	血液ガス分析	11名

### 4. 基本的臨床能力評価 (J A M E P) 試験受験

「基本的臨床能力評価試験」は、臨床研修のアウトカムの客観化を目的に実施されています。2024年1月は690医療機関から、9,663名の研修医が受験しています。本院も2015年から受験しています。

■2015年度受験者：1年次0名、2年次4名	■2016年度受験者：1年次6名、2年次1名
■2017年度受験者：1年次6名、2年次6名	■2018年度受験者：1年次6名、2年次7名
■2019年度受験者：1年次5名、2年次5名	■2020年度受験者：1年次6名、2年次5名
■2021年度受験者：1年次6名、2年次6名	■2022年度受験者：1年次6名、2年次6名
■2023年度受験者：1年次6名、2年次6名	■2024年度受験者：1年次6名、2年次6名

	受験病院数	平均点	偏差値
2015年総合	319	63.5	53.3
2016年総合	380	54.9	50.6
2017年総合	459	32.3	50.0
2018年総合	503	31.25	47.0
2019年総合	370	29.56	51.3
2020年総合	417	28.92	50.1
2021年総合	376	46.92	53.7
2022年総合	662	49.45	55.5
2023年総合	696	47.58	54.2
2024年総合	690	51.67	57.7

### 【研修指導強化事業】

1. 臨床研修管理委員会：5月/9月/3月
2. 臨床研修プログラム委員会：4月/6月/7月/10月/11月/12月/1月/2月/3月
3. 内科専門プログラム管理委員会：6月/12月/3月
4. 専門研修委員会：4月/5月/7月/8月/9月/10月/11月/1月/2月/3月
5. 指導医の養成：3名
6. 広報活動：ホームページ更新/研修医通信発行/  
院内通信への掲載/募集要項作成
7. 研修医へのフィードバック：
  - 1) 360度評価の実施（ローテート毎）  
研修医の評価（自己評価・指導医評価・コメディカル評価）  
指導医の評価（研修医評価・コメディカル評価）/コメディカルの評価（研修医評価）
  - 2) 形成的評価の実施9月：前期評価結果を基にフィードバック センター長面談
  - 3) 総括的評価の実施3月：後期評価結果を基にフィードバック センター長面談

### 【令和7年度の目標】

1. 臨床研修センターの体制を構築・維持・改善
2. 令和7年2月NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）受審時の「b項目」及び「要検討項目」について、令和11年度認定調査に向けて指摘項目改善に取り組んでいく。

## Ⅶ 各委員会

# 病院運営委員会

## 【目的】

病院運営委員会は、原則として年1回開催され、理事長の諮問に応じ病院の運営に関して重要事項を協議し、かつ、遂行に関して協力援助すると共に、一般の要望を病院に反映させ、地域医療の確保と農村の健康増進を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 1 白河厚生総合病院利用区域内の農業協同組合より若干名
- 2 白河厚生総合病院利用区域内市町村及び市町村議会代表者よりそれぞれ若干名
- 3 一般利用者代表又は学識経験者より若干名
- 4 本会の役員より若干名及び本会参事
- 5 病院長並びに従業員代表1名

# 管 理 者 会 議

## 【目 的】

管理者会議は、病院経営並びに運用等の方針を決定する機関とすることを目的とし、決定した方針については迅速に実行することとする。

## 【構 成】

- 委員長 : 副院長
- 委 員 : 医師部門 病院長、名誉院長、副院長、各部・科代表  
看護部門 看護部長、副看護部長  
技術部門 薬剤科長、技師長  
事務部門 事務長、事務次長、課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

収支状況、経営対策、運営方針書等について協議報告し、毎月1回会議を開催しました。

## 【協議事項】

- 1 病院経営の方針、経営対策に関する事項
- 2 病院財務に関する事項
- 3 病院設備の主要なる改善に関する事項
- 4 患者サービスの改善に関する事項
- 5 病院職員の教育に関する事項
- 6 その他病院長が必要と認める事項

# スタッフミーティング

## 【目的】

スタッフミーティングは、病院（看護学院を含む。）運営の円滑化及び管理の改善向上を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、名誉院長、副院長、診療部長、科長、医長  
看護部門 看護部長、副看護部長、看護師長、副学院長、教務主任  
しらかわ訪問看護ステーション所長、居宅介護支援事業所長  
技術部門 薬剤科長、技師長  
事務部門 事務長、課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

収支状況、経営対策、運営方針書等について協議報告し、年4回、管理者会議と併せて会議を開催しました。

## 【協議事項】

- 1 内規の制定改廃に関する事項
- 2 設備の主要なる改善に関する事項
- 3 サービス改善に関する事項
- 4 経営の合理化、効率化に関する事項
- 5 財務に関する事項
- 6 職員の教育に関する事項
- 7 職員の健康管理に関する事項
- 8 その他病院長が必要と認める事項

# 医療安全管理対策委員会

## 【目的】

医療安全管理対策委員会は、毎月1回開催され、病院における医療安全管理事項の予防対策等の推進を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長：副院長
- 委員：医師部門 病院長、産婦人科部長  
看護部門 看護部長、看護師長、看護副師長、主任看護師  
技術部門 薬剤科長、技師長（副技師長、主任技術者）  
事務部門 事務長、総務課長、医事課長、医事課長補佐  
安全管理室 室長、医療安全管理者、看護部専任医療安全管理者  
その他委員長が必要と認めた者

## 【活動報告】

医療安全管理対策委員会では、院内で発生したインシデント・アクシデント事例の要因分析、改善策の立案と共有、周知を行うとともに、医療安全に関する院内、院外の情報の発信を行っています。多職種からなる安全部会においては、職種の垣根を超えた横断的な部署ラウンドを行うことで、医療安全活動の推進を図ることができました。

医療安全において地域連携強化を図るため、県南地域の3病院と『医療安全対策地域連携協議会』を実施しました。今年度も各病院の相互ラウンドを実施し、各施設の安全対策内容を確認できました。会議では議論を交わすことで意義のある情報共有の場となりました。

医療安全推進週間（11月25日～29日）は、1階正面玄関フロアにおいて、各部署の『医療安全に向けた取り組み』を掲示しました。「指差し呼称」や「報告・連絡・相談」など様々な取り組みが掲げられ、各部署の士気を高めることができました。また、地域の方々に当院の安全に向けた取り組みを伝える機会となりました。

## 【協議事項】

- 1 インシデント・アクシデント事例の分析、ならびに再発防止の検討に関する事
- 2 医療事故防止のための啓発、教育等に関する事
- 3 医療事故防止のために行う病院長等に対する提言に関する事
- 4 医療安全管理等の情報交換に関する事
- 5 医療訴訟への対応に関する事
- 6 呼吸器ケアに関する事
- 7 放射線、病理レポート未読対策に関する事
- 8 侵襲的検査・手術に対する説明・同意書の監査・承認
- 9 その他、医療安全の確保に関する事

## 【院内研修会】

- 1 令和6年6月27日、7月3日、7月4日

事例報告会

発表部署：医療安全室、医師部門、医療相談室

発表内容：令和5年度インシデント・アクシデント報告

画像診断・病理診断報告書の確認不足に対する当院取り組みについて

2023年度「医療安全風土」院内アンケート結果報告

虐待・DV担当者からの報告

呼吸器ケアチーム活動について

参加人数：387名

- 2 令和6年11月25日、11月28日、12月4日

講義、動画上映型式

講師：医療安全管理者

研修内容：医療安全と個人情報漏洩防止について

参加人数：370名

# 院内感染対策委員会

## 【目的】

院内感染対策委員会は毎月1回定期的に会議を行い、病院における患者及び職員相互の感染症の発生や、感染拡大を防止するための対策を樹立することを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 病院長、名誉院長、副院長、診療部長
		看護部門 看護部長、看護師長、副看護師長、主任看護師
		技術部門 薬剤科長、技師長、副技師長
		事務部門 事務長、総務課長、医事課長、医事課長補佐
		安全管理室
		その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

各部署の感染対策状況の確認のため、感染対策チーム（ICT）でラウンドを毎週実施し、各部門への改善を促し、委員会で報告をしています。感染経路別予防策の徹底と手指衛生の遵守、個人防護具（PPE）の正しい着脱の啓蒙を目的に職員に対し、研修会を実施しました。また、手指衛生の遵守率調査のために手洗い遵守率調査を2回実施し、ブラックライトによる個人の手洗い検証を継続しています。

感染レポートを電子カルテの掲示板により職員全体へ発信し、必要時にラウンド対応しています。

抗菌薬適正使用について指定抗菌薬の届け出制を行い、適正使用であるか、ラウンド時に検討しています。必要時、主治医に検討内容をフィードバックしています。

自施設における感染症の発症状況を把握するためにサーベイランスを実施しています。結果をフィードバックし感染対策活動の改善、教育を行っています。

## 【協議事項】

- 1 院内感染の調査・研究・予防対策に関する事項
- 2 感染症患者の対応に関する事項
- 3 院内感染防止のための情報収集及び関係機関への伝達に関する事項
- 4 二次感染防止のための医療廃棄物処理に関する事項
- 5 院内感染防止のための職員教育・研修・指導に関する事項
- 6 その他院内感染対策に関する事項

## 【院内研修会】

1 令和6年5月16日、5月24日、6月7日

講師：ICT（看護部、薬剤科）

研修内容：「抗菌薬の適切な使用」

新興感染症への備え

標準予防策、手指衛生、個人防護具について

参加人数：421名

2 令和6年9月6日、9月19日、9月27日

講師：ICT（検査科・薬剤科）

研修内容：「薬剤耐性菌について」

厚生労働省の定める「抗菌薬適正使用の手引き」をもとに、疾患、治療、感染対策について

参加人数：368名

# I C T 委 員 会

## 【目 的】

I C T 委員会は、白河厚生総合病院における、院内感染の蔓延防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動を行うことを目的に設置する。

## 【構 成】

委員長 : 副院長

委 員 : 医師部門 副院長、産婦人科部長

看護部門 看護師長、副看護師長、主任看護師

技術部門 薬剤科、検査科、放射線科主任、リハビリテーション科主任  
栄養科、臨床工学科

事務部門 医事課

その他病院長が必要と認めた者

## 【協議事項】

- 1 感染対策に関連して行った問題の対応事項
- 2 「院内感染対策マニュアル」の改定に関する事項
- 3 院内感染防止のための職員教育・指導に関する事項
- 4 院内ラウンドに関する事項
- 5 その他院内感染防止に関する事項

# 褥瘡対策委員会

## 【目的】

褥瘡対策委員会は毎月1回開催し、病院における褥瘡対策を討議、検討しその効率的な推進を図ることを目的としている。

## 【構成】

- 委員長：皮膚科部長
- 委員：医師部門 副院長、診療部長、褥瘡専任医師  
看護部門 副看護部長、看護師長、主任看護師  
皮膚・排泄ケア認定看護師、看護師  
技術部門 薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士  
事務部門 総務課、医事課  
その他病院長が必要と認めたもの

## 【活動報告】

褥瘡対策委員会は、毎月第一月曜日に定期的実施し、褥瘡回診は毎月第一月曜日（二週間後再診）に行われ、委員会に於いて褥瘡回診報告を行っています。部門別（形成外科医師、理学療法士、NST専門看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師）報告を行い、褥瘡評価から褥瘡処置方法やケア、ポジショニング、栄養など専門的な視点からの報告や退院支援について委員会全体で情報共有を図っています。

また委員会主催の全職員を対象とした勉強会では「IAD（失禁関連皮膚炎）」、「MDRPU（医療関連機器圧迫創傷）」と題しアルケア（株）大友 拓海 氏を講師として行われました。発生要因や予防対策方法など日頃のケアに役立つ内容で知識の向上につながりました。

## 【協議事項】

- 1 褥瘡及び予防対策の確立に関する事項
- 2 褥瘡と予防対策の実施、監視及び指導に関する事項
- 3 褥瘡発生の調査、日本病院会 QIプロジェクト褥瘡発生率調査に関する事項
- 4 褥瘡予防における情報共有に関わる事項
- 5 その他、褥瘡予防対策についての重要事項に関する事項
- 6 院内褥瘡対策委員会内規の改正に関する事項

## 【活動内容】

- ・毎月一回の形成外科医師を中心とした褥瘡回診
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師による発生状況報告
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師による褥瘡記録（危険因子、褥瘡予防治療計画）のOJTでの指導
- ・院内研修会の開催

# 診療録管理委員会

## 【目的】

診療録管理委員会は、病院診療録に関する重要事項を協議することを目的とする。

## 【構成】

委員長 : 病院長  
委員 : 医師部門 副院長、診療部長、診療科長  
看護部門 看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長  
技術部門 薬剤科長、技師長（主任技術者）  
事務部門 事務長、課長、医事課係長 他  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

定例に委員会を開催し、30日以内、14日以内に完成された退院時サマリーについての完成率の報告、医師が記載したプログレスノートに関する監査の報告、入院カルテ不備に対する依頼件数の報告、診療情報管理に関する事項について協議を行いました。

## 【協議事項】

- 1 診療録様式の研究に関する事項
- 2 診療録整理に関する事項
- 3 診療録保管に関する事項
- 4 入院統計に関する事項
- 5 その他必要事項

# 検査運営委員会

## 【目的】

検査運営委員会は、病院の臨床検査における精度管理、適正な検査及び検査成績の質向上を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 検査科部長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 看護師長、主任看護師  
技術部門 検査科技師長、検査科副技師長、検査科主任技師  
臨床工学科  
事務部門 総務課課長、医事課課長  
その他病院長が必要と認めたもの

## 【活動報告】

- 1 検査科における各部門別の検査件数の推移、外部委託件数の実績集計、外部委託契約の金額について報告を行いました。
- 2 検査項目に関することとして外部委託検査の新規項目の採用と委託先見直しを行いました。
- 3 検査精度の維持と向上を目的として、日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、福島県臨床衛生検査技師会の精度管理調査事を実施し、その結果報告を行いました。
- 4 検査運営委員会の規約変更を行いました。

## 【報告事項】

- 1 臨床検査精度管理に関する事項
- 2 臨床検査の適正な実施に関する事項
- 3 臨床検査の管理及び運営に関する事項

# 輸血療法委員会

## 【目的】

輸血療法委員会は、年6回開催し、病院における輸血療法の安全性確保と適正化を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 検査科部長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長、診療副部長  
看護部門 看護師長、副看護師長、看護師  
技術部門 検査科技師長、検査科、薬剤科  
管理部門 医事課係長、総務課  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年2回の院内監査や輸血療法マニュアルの変更点や製剤の外観確認方法について研修会を行いました。

## 【協議事項】

- 1 輸血療法の適応に関する事項
- 2 血液製剤の選択に関する事項
- 3 輸血時検査項目・術式の選択に関する事項
- 4 輸血業務実施時の手続きに関する事項
- 5 輸血事故時の対応に関する事項
- 6 副作用・合併症対策に関する事項
- 7 輸血業務の円滑な運営に関する事項

## 【院内献血】

年2回福島県赤十字血液センター、白河市、輸血療法委員会による院内献血を開催

令和6年9月27日 受付数：19名 実施数：15名

令和7年3月4日 受付数：20名 実施数：20名

## 【研修会】

令和6年6月20日「輸血・血液製剤の基礎知識」

参加人数：24名（新入職員看護師）

令和7年2月13日「輸血療法マニュアルの変更点」「製剤外観確認、K吸着フィルター」

参加人数：45名

# 栄養管理委員会

## 【目的】

栄養管理委員会は、病院食事計画、調査、改善等食事に関する事項を検討し、患者給食の質の向上を図ることを目的としています。また栄養管理を行う上で、多職種との連携やチーム医療への貢献のため、改善すべく点を検討して協議します。

## 【構成】

委員	診療部門	診療部長
	看護部門	看護部長、副看護部長、外来看護師長、病棟看護師長（副看護師長） NST（専任）看護師
	技術部門	管理栄養士、栄養士、調理師
	事務部門	事務長、総務課長、医事課長
	安全管理室	医療安全管理者、感染管理（専従）看護師
		その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

電子カルテにおけるハード面で防ぐ事のできないオーダーについて、ミスが起こらないように『給食オーダーマニュアル』を作成し、各部門と共有しています。食事提供をする上での決定事項を決め発信する事で、安全でおいしい食事が提供できるようにも努めています。

当院の食事は、数多くの病態に対応する食事を提供しているため、約45種類の食種がある。高齢化が進む中、食形態の対応は食種ごとにペースト食・刻み食など7種類対応しています。

令和5年度の2月に起こった幼児の誤嚥による死亡事故を受け、なかよし保育園と病院で提供している幼児食から、『うずらの卵・ミニトマト』を献立から外すことにしました。

タスクシフトシェアの観点から、管理栄養士のオーダー修正権限について協議しました。コメント選択から選ぶところ、フリーコメントに入力してくる場合があるため、それについて医師代行の入力で修正することにしました。また、造影剤投与時の食事は、乳製品が禁止になるため昼付けている牛乳の提供を中止するなどの対応も行っています。

## 【協議事項】

- 1 食事計画、調査、改善等食事に関する事項
- 2 患者の栄養指導、栄養管理に関する事項
- 3 業務軽減、タスクシフトに関する事項
- 4 その他、食事に関して必要と認める事項

# N S T 運 営 委 員 会

## 【目 的】

N S T 運営委員会は毎月 1 回開催し、入院中の栄養管理の重要性が指摘されていることから、病院における栄養サポートチームの活動を推進し、医療の質の向上に寄与することを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 泌尿器科部長
- 委 員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長 他  
技術部門 薬剤科、放射線科、検査科、臨床工学科  
リハビリテーション科、栄養科
- 事務部門 医事課、総務課
- その他病院長が必要と認めたもの

## 【活動報告】

N S T 回診メンバーで、週 1 回カンファレンス、回診を行い、患者さん一人ひとりに合わせた栄養状態の改善を検討しました。その結果を毎月委員会で報告し、リンクナースにも各病棟での関わりを発表していただきました。

義歯などの口腔内の問題については、白河歯科医師会との連携で、歯科医師による N S T 歯科回診を月 2 回実施して対応しています。

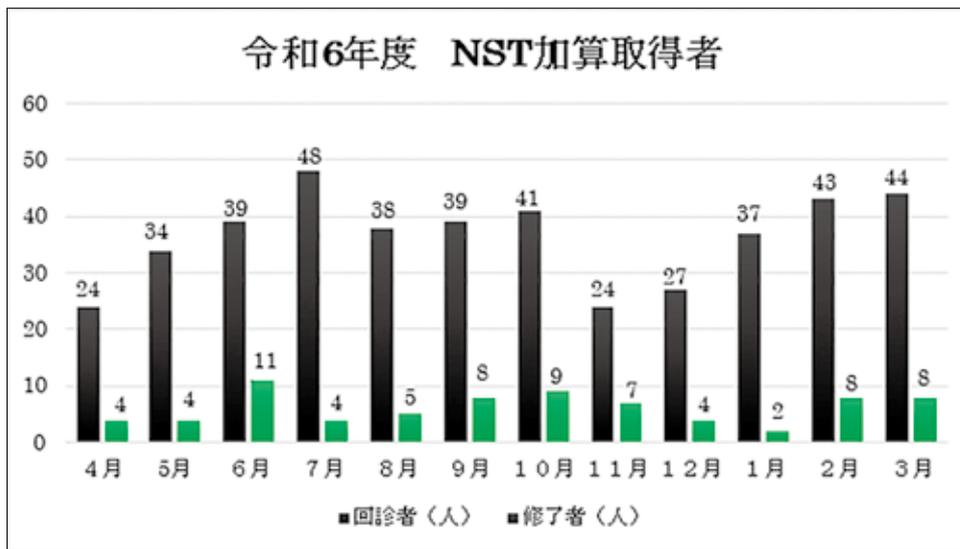
N S T に関する知識向上を目的に、N S T 専門療法士を講師として、全職員を対象とした院内勉強会を年 2 回開催しています。

## 【協議事項】

- 1 食事、経管栄養、静脈栄養等の改善を行い、患者のよりよい Q O L の向上を目標とする
- 2 病棟から積極的に該当患者の介入を図る
- 3 ラウンドは適宜行い、各部門が協力して情報を提供し共有する

## 【活動内容】

- ・毎週 1 回、N S T 回診チームによるカンファレンスと回診
- ・令和 6 年度 N S T 加算取得者数  
月別述べ回診者・終了者（述べ回診者 438 名・終了者 74 名）



- ・褥瘡対策委員会、緩和ケアチーム、認知症ケアチームと連携したNST介入
- ・リハビリテーション科 高橋医師来院時、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査カンファレンス参加
- ・NST専門療法士によるミニ勉強会
- ・毎月2回、歯科医師による歯科回診、第3木曜日 医科歯科連携会議の開催
- ・令和6年度歯科ラウンド介入患者件数 141件 歯科往診依頼件数 23件  
歯科ラウンド以外での歯科往診依頼件数 16件

#### 【外部研修会参加実績】

- ・第8回福島県PEGと経腸栄養在宅栄養フォーラム 2024.4.20 看護師2名参加
- ・第21回口腔ケア学会 2024.4.27-28 看護師1名参加
- ・第72回福島県農村医学会総会 2024.6.15 看護師1名参加
- ・T-REX東北リハビリ栄養懇話会 2024.9.1 WEB参加 看護師3名
- ・第31回福島NSTフォーラム 2024.9/14 看護師3名参加
- ・第10回日本栄養治療学会 東北支部学術集会 2024.9.28 看護師3名参加
- ・リハ栄養フォーラム(東京)2024 2024.10.26 看護師2名参加 WEB1名参加
- ・第19回摂食嚥下リハビリテーション研究会、研修会 2024.11.17 看護師1名参加
- ・食べるの臨床2024 2024.12.1 看護師1名参加
- ・第14回日本リハビリ栄養学会学術集会 2025.1.25 看護師1名参加
- ・第39回日本栄養治療学会学術集会 2024.2.14-15 看護師3名 薬剤師1名 管理栄養士1名参加

# 透析機器安全管理委員会

## 【目的】

透析機器安全管理委員会は、原則として年2回開催し、透析装置及び血液透析液の適切な管理を行うことを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 泌尿器科部長  
委員 : 看護部門 看護師長  
技術部門 臨床工学科技士長、臨床工学科  
事務部門 総務課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

この委員会は透析センターの機器やルーティン業務を計画的、組織的に運用することで、ピュアかつクリーンな状態の透析液を維持し、提供することを目的としています。

年間計画をもとに、日々作成した透析液内の生菌の測定、及びエンドトキシン測定をトキシノメータを用いて行い、精度・履歴管理をしています。同時に透析機器の保守管理をメーカー・業者に依存せず、自ら実施することが大変重要です。毎年、年2回の自院メンテナンスを計画し、合計33台の透析患者監視装置の保守管理を実施しています。

また、耐用年数を超過した機器に対しては、計画的に機器更新を行い、地域中核医療として医療資源の確保に努めています。

責任医師である泌尿器科部長の喜屋武先生を筆頭に看護師、臨床工学技士、事務の4職種にて組織され、委員会を年2回開催しています。

## 【協議事項】

- 1 院内の透析装置及び血液透析液の管理を円滑に行うために、透析液安全管理者、透析液製造担当者、品質管理者、機器・設備管理担当者との連携に関する事項
- 2 院内の透析装置及び血液透析液の管理に関する事項
- 3 その他、透析装置及び血液透析液の管理に必要な事項

# がん化学療法委員会

## 【目的】

がん化学療法委員会は、毎月1回開催され、病院におけるがん化学療法を討議・検討し、その実施・評価が適正かつ安全に実施されることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長、看護師  
技術部門 薬剤科長、薬剤科主任、薬剤科  
検査科、リハビリテーション科  
事務部門 医事課係長、総務課  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

令和6年度は、新規申請が15レジメンあり、全て滞りなく登録されました。  
がんに関わるマニュアルの見直しを随時行っていきたいと思っております。

## 【協議事項】

- 1 がん化学療法の運用に関する事項
- 2 がん化学療法の実施、評価に関する事項
- 3 がん化学療法の業務役割に関する事項
- 4 がん化学療法のエビデンス発生時の対応に関する事項
- 5 がん化学療法のレジメンに関する事項
- 6 その他がん化学療法に関する事項

# がん診療運営委員会

## 【目的】

当院は、平成22年3月、厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、当委員会にて、病院におけるがん診療の向上と均てん化、安全で良質な医療の提供及び、がん診療に携わる地域の病院との連携を円滑に推進することを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 院長、副院長、診療部長、診療副部長
		看護部門 看護部長、看護師長、主任看護師
		しらかわ訪問看護ステーション所長 他
		技術部門 薬剤科長、技師長（主任技術者）
		事務部門 事務長、事務次長、課長 他

## 【活動報告】

地域がん診療連携拠点病院として高度で質の高いがん診療を提供するために、多職種から構成される緩和ケアチームにて患者さんの治療方針について話し合い、近隣市町村の医師方に参加いただき、院内外で研修会及び勉強会を実施しました。また、がん治療に精通したスタッフの養成に取り組み、日々進歩するがん治療に対応できる人材育成を行っています。

## 【協議事項】

- 1 がん診療に係わる教育・研修に関する事項
- 2 緩和ケアに関する事項
- 3 放射線治療並びに診断に関する事項
- 4 化学療法に関する事項
- 5 がん相談支援に関する事項
- 6 地域医療連携クリティカルパスに関する事項
- 7 院内がん登録に関する事項
- 8 地域がん診療連携拠点病院に関する事項
- 9 その他がん診療および運営に関する事項

# 緩和ケアサポートチーム運営委員会

## 【目的】

緩和ケアサポートチーム運営委員会は、病院における緩和ケアに関する事項について討議・検討し、その実施・評価が適切かつ円滑に執り行われることを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	外科部長	
委員	：	医師部門	副院長、診療部長
		看護部門	副看護部長、緩和ケア専従看護師、病棟看護師、 外来看護師、しらかわ訪問看護ステーション看護師 他
		技術部門	薬剤科、放射線科、リハビリテーション科、栄養科
		事務部門	健康福祉課社会福祉担当課長、医事課係長、総務課 臨床心理士

## 【活動報告】

令和6年度は4回委員会を開催し、緩和ケアに関する事項について協議しました。

また、令和6年8月3日福島県緩和医療研究会、令和6年11月2日緩和研修会（P E A C E）の集合研修、令和6年12月5日には県南地区緩和医療研修会を開催しました。

## 【協議事項】

- 1 緩和ケアの提供体制に関する事項
- 2 緩和ケア病棟設立・運営に関する事項
- 3 緩和ケア勉強会、講演会、症例検討会に関する事項
- 4 その他緩和ケアに関する事項

# 入退院サポート委員会

## 【目的】

入退院サポート委員会は年6回開催し、患者・家族が安心して居宅療養に移行できるよう支援していくことを目的とする。

## 【構成】

委員長：副院長

委員：看護部門 看護部長、看護師長、しらかわ訪問看護ステーション所長、  
居宅介護支援事業所長、退院支援看護師、入院支援センター看護師  
技術部門 薬剤科主任、栄養科、リハビリテーション科  
事務部門 課長、医事課長補佐、医療ソーシャルワーカー  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

入退院サポート委員会では2か月に1度の委員会において、退院支援の実績報告と分析、困難事例検討などを開催し、入院してきた患者さんや家族が安心して治療を受け、退院後の生活へとスムーズに移行できるよう協議しました。

## 【協議事項】

- 1 入退院支援の現状及び課題についての協議
- 2 在宅ケア諸サービスの活用援助を提言する
- 3 入退院支援部門（医療福祉相談室・地域医療連携室・入院支援センター）と他部署間の情報交換
- 4 退院サポートに関する研修及び事例検討
- 5 院内入退院支援マニュアルについての協議
- 6 その他入退院サポートに必要な事項に関する協議

・入院時スクリーニング提出における医療ソーシャルワーカー介入率

平成29年度	84.5%
平成30年度	87.5%
令和1年度	87.9%
令和2年度	86.2%
令和3年度	93.9%
令和4年度	90.5%
令和5年度	93.1%
令和6年度	89.3%

・退院支援者数

平成29年度	1,545人
平成30年度	1,435人
令和1年度	1,835人
令和2年度	1,649人
令和3年度	1,946人
令和4年度	1,438人
令和5年度	1,651人
令和6年度	1,841人

# 認知症ケアチーム運営委員会

## 【目的】

認知症ケアチーム運営委員会は、認知症の理解を深め、認知症患者対応力の向上を図り、延いては全体の認知症ケアの質向上を目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 医師部門 1名
- 委員 : 看護部門 1名
- 技術部門 1名
- 事務部門 1名
- その他委員長が必要とみとめた者

## 【活動報告】

認知症ケアチーム運営委員会は、週1回のラウンドとカンファレンスを行い、認知症患者対応についてアセスメントし、実践・指導しています。委員長が必要と認めた場合は臨時に開催することができます。看護部認知症ケアチームとも協同して、ケーススタディや勉強会を行っています。

また、理解を深めるために、院内研修会も実施しております。

## 【協議事項】

- 1 認知症患者のケアに関連する事項
- 2 「認知症ケアマニュアル」に関する事項
- 3 認知症患者のケアのための職員教育・指導に関する事項

# 診療支援システム検討委員会

## 【目的】

診療支援システム検討委員会は、毎月1回開催し、病院において診療支援システム構築に向けた調査検討を行うことを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、診療部長  
看護部門 看護師長、主任看護師  
技術部門 技師長（主任技術者）  
事務部門 事務長、課長、課長補佐、係長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

電子カルテシステムを中心とした診療支援システムを、より便利に効率的に使用できるようメンバーを中心に検討を行っております。

## 【協議事項】

- 1 診療支援システムの運用と管理に関する事
- 2 診療支援システムの構築及び統合に関する事
- 3 診療支援システムの管理内規の作成、修正に関する事
- 4 診療支援システムに関する職員への周知、教育に関する事
- 5 各部門システムに関する事
- 6 その他、診療支援システムに関する事

# 救急医療検討委員会

## 【目的】

救急医療検討委員会は、定期的に開催し、地域における救急医療対策と院内の救急体制を検討し、救急体制を樹立することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、名誉院長、副院長、診療部長 他  
看護部門 看護部長、副看護部長、看護師長 他  
技術部門 主任技術者（薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師）  
事務部門 事務長、事務次長、医事課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

定期的に救急医療検討委員会で決定事項の見直しを行い、各診療科の救急マニュアルの見直しと職員への周知のため救急マニュアル研修会を開催しました。

また、救急患者の受入態勢および救命救急士の実習受入態勢の確立、ドクターヘリ症例報告を行っています。

## 【協議事項】

- 1 国・県が行う救急対策の受入
- 2 広域市町村圏消防署に関連した事項
- 3 白河医師会、保健所等との連携業務
- 4 院内救急医療に関する施設の整備
- 5 その他必要と認める事項

## 【研修会および意見交換会】

毎年、職員および管内消防職員を対象に、医師による救急マニュアル研修会を開催しています。

# 保険査定対策委員会

## 【目的】

保険査定対策委員会は、病院における保険査定の発生防止対策を図り、かつ適正医療を行い病院運営に寄与することを目的とする。

## 【構成】

委員長 : 副院長

委員 : 事務部門 医事課長補佐  
その他病院長が必要と認めた者

## 【協議事項】

- 1 保険査定情報の整理及び関係者への伝達
- 2 査定理由の分析
- 3 再審査申請可否の分析

# クリティカルパス運営委員会

## 【目的】

クリティカルパス運営委員会は年3回開催し、診療の標準化を図り、患者に対して良質の医療を効率的に提供することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 泌尿器科部長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 看護師長、主任看護師 他  
技術部門 薬剤科、放射線科主任、検査科  
リハビリテーション科、栄養科  
事務部門 課長補佐  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

新規採用パスを増やし、既存のパスの見直しを図るという目標は達成できました。パスの適用率も前年度より増加しており、バリエーション発生率は減少しています。新規パス作成・修正時には、コスト（DPC）の面も関連させ、医事課と連携して検討が必要であり、今後もパスが正しく適用されるように検討していきたいです。また、次年度は勉強会・研修会を行っていきたいと考えております。

## 【協議事項】

- 1 疾病別クリティカルパスの作成
- 2 クリティカルパスに関する関連部門との調整協議
- 3 クリティカルパス実施内容の評価
- 4 その他クリティカルパスに関する事項

# 手術室運営委員会

## 【目的】

手術室運営委員会は、手術室で行う手術を円滑に遂行するための諸項目を協議し、手術部と関連する各科・各部署との情報共有や連携を図ることを目的とする。

## 【構成】

委員長： 麻酔科部長

委員： 医師部門 病院長、副院長、診療部長、診療科長

看護部門 看護部長、看護師長、副看護師長、主任看護師

技術部門 薬剤科長、放射線科技師長、検査科技師長、臨床工学科技師長

事務部門 事務長、事務次長、医事課長 他

その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

委員会の開催回数を年4回に増やしました。

## 【協議事項】

- 1 手術室の管理・運用に関する事項
- 2 各科の手術割り当てに関する事項
- 3 手術室の機器購入等に関する事項
- 4 その他委員が必要と認める事項

# I C U 運 営 委 員 会

## 【目 的】

I C U 運 営 委 員 会 は、病 院 に お け る I C U（施 設 基 準 の 届 出 に 関 わ ら ず、病 院 と し て I C U の 名 称 で 運 用）の 安 全 管 理 と、集 中 治 療 室 と し て の 機 能 を 発 揮 で き る 円 滑 な 運 営 を 推 進 す る こ と を 目 的 と す る。

## 【構 成】

委員長	：	副院長
委員	：	診療部門 副院長、診療部長、診療副部長
		看護部門 看護師長
		技術部門 薬剤科、放射線科、検査科、リハビリテーション科、臨床工学科
		事務部門 総務課長、総務課施設資材、総務課総務人事
		オブザーバー 病院長、事務長、看護部長、副看護部長

## 【活動報告】

I C U 運 営 委 員 会 は 年 に 1 回 定 期 的 な 開 催 を 行 い 入 退 室 基 準、科 別 入 室 患 者 数、I C U 稼 働 状 況、医 療 機 器 使 用 患 者 数、陰 圧 陽 圧 個 室 点 検 報 告 を 行 っ て お り ま す。

## 【協議事項】

- 1 I C U の 運 営 に 関 す る 事 項
- 2 I C U の 管 理 に 関 す る 事 項
- 3 I C U の 業 務 役 割 に 関 す る 事 項
- 4 前 各 号 に 掲 げ る も の の 他、委 員 会 が 必 要 と 認 め る 事 項

# 血管撮影運営委員会

## 【目的】

血管撮影運営委員会は、血管撮影室と関連する各科・部署との情報共有や連携を図り、血管撮影室において行われる検査・治療を円滑に行うことを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	病院長
委員	：	医師部門 副院長、診療部長
		看護部門 看護部長、副看護部長 他
		技術部門 薬剤科、放射線科、検査科、臨床工学科
		事務部門 総務課、医事課

## 【協議事項】

- 1 血管撮影室の運用・管理に関する事項
- 2 血管撮影室の機器購入等に関する事項
- 3 前各号に掲げるものの他、必要な事項

# P E T 委 員 会

## 【目 的】

P E T 委員会は、病院内における P E T 検査の安定的な運用を図り、かつ保険診療と検診を円滑に行うことを目的とする。

## 【構 成】

委員長	：	病院長
委員	：	医師部門 副院長、診療部長
		看護部門 看護部長、看護師長、看護師 他
		技術部門 薬剤科主任、薬剤科、放射線科技師長、放射線科主任 放射線科、検査科主任
		事務部門 事務長、総務課長、管理課長、医事課長、医事課長補佐 健康福祉課長、健康福祉課係長、健康福祉課

## 【活動報告】

毎月第3水曜日に開催し、P E T 検査の実施件数、予約状況の報告を行い、利用者確保に向けた推進状況の報告、検討を行っています。

## 【協議事項】

- 1 P E T 検査の取組実績状況に関する事項
- 2 P E T 推進のための検討に関する事項
- 3 P E T スタッフミーティング報告に関する事項
- 4 その他 P E T に関する事項

# リハビリテーション運営委員会

## 【目 的】

リハビリテーション運営委員会は、安全かつ適切なリハビリテーションを実現するために必要な 事項を協議・検討し、本院が果たすべき役割の推進を図ることを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 副院長
- 委 員 : 診療部門 若干名 (外科系、内科系)
- 看護部門 若干名 (副看護部長、病棟看護師、外来看護師)
- 事務部門 若干名 (医事課、医療相談室)
- 技術部門 リハビリテーション科 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)
- 安全管理室 医療安全管理者
- その他、委員長が必要と認めた者

## 【活動報告】

令和6年度の活動報告として、リハビリテーション総合実施計画書の運用に関わる検討を行い、多職種と連携し取り進めることを議論することができました。

リハビリテーション科主体で行っているカンファレンスを内規に追記しました。また、骨メタカンファレンスについては、がん診療連携拠点病院等の基準に関連するため、今後も月1回の開催を継続していきます。

## 【協議事項】

- 1 リハビリテーション実施に関する事項・他部門との連携
- 2 リハビリテーションに関する勉強会、症例検討会に関すること (骨メタカンファレンス、心臓リハビリテーションミーティング、摂食嚥下カンファレンスを含む)
- 3 関連書類に関する事項
- 4 診療報酬請求に関する事項
- 5 その他、リハビリテーション運用に関すること

# ME 機器管理委員会

## 【目的】

ME 機器管理委員会は、病院における医療機器（以下「ME 機器」という。）の一元・中央管理により、医療の質の向上とME 機器の効率的な運用を図り病院運営に寄与することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長：副院長
- 委員：医師部門 診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長、主任看護師、リスクマネージャー  
技術部門 技師長（主任技術者）  
事務部門 課長、課長補佐、係長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

ME 機器管理委員会は、放射線科や検査科等の特定部門を除く院内ME 機器、いわゆる中央管理機器を対象としています。ME 機器管理システムME - ARC®を用いた配置状況の把握により、貸出返却処理をスムーズに実施しております。また、保守履歴や新規購入から廃棄に至るまでの一貫した機器管理を行っております。

今年度は部門独自の業務管理システムを使用してペーパーレス化を実現し、業務の効率化を図りました。

医療界において機械化が加速しており、病院全体としてまたは臨床工学部門として機器の安定稼働や安全確保が急務です。今後の課題としてそれら社会の変化・ニーズに応えるべく、今よりも一歩踏み込みこんだ管理をしなければなりません。当科の取り組みの具体例として、病院のみならず福島県厚生連全体で、輸液システムの標準化を実現しました。今後は輸液ポンプの使用・点検マニュアルについても標準化を目指しています。また、院内においても部門管理機器に対して定数化の推進を図っています。今後もME 機器の標準化等に取り組んでいきたいと考えております。

## 【協議事項】

- 1 ME 機器の運用に関する事項
- 2 ME 機器の購入及び廃棄処分に関する事項
- 3 福島県厚生連輸液システム統一（使用・点検マニュアル統一）に関する事項
- 4 機器及び消耗品等の標準化に関する事項
- 5 部門独自の業務管理システムに関する事項

# 医療ガス安全管理委員会

## 【目 的】

医療ガス管理委員会は、年1回開催し、病院内における医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等をいう。以下同じ。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 診療部長  
委員 : 医師部門 病院長、診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長、医療安全管理者  
技術部門 薬剤科長、臨床工学科技師長  
事務部門 事務長、総務課  
その他病院長が必要と認めた者

## 【協議事項】

- 1 監督責任者及び実施責任者の選任に関する事項
- 2 医療ガス設備の保守点検に関する事項
- 3 医療ガス設備に係る新設及び増設工事、部分改造、修理等に伴う院内への周知徹底並びに使用前の試験及び検査による安全確認に関する事項
- 4 点検業務並びに安全確認のための試験及び検査の記録の作成、保存に関する事項
- 5 医療ガスに関する知識の普及及び啓発に関する事項
- 6 その他医療ガスに関する事項

# 治験倫理委員会

## 【目的】

治験倫理委員会は、医薬品あるいは医療機器・器材の製造（輸入）承認申請の際に提出すべき資料の収集、及び薬物あるいは非薬物療法に関する無作為比較試験など、院内で行われる臨床試験（治験）が、倫理的および科学的に妥当であるかどうかを審査することを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 副院長、診療部長
		看護部門 看護部長
		技術部門 薬剤科長、薬剤師、検査科技師長
		事務部門 事務長、課長
外部委員		白河医師会事務局長、白河薬剤師会会長
		その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

治験倫理委員会は、2か月に1回開催されており、当院で新たに実施される治験及び臨床研究の実施可否と、既に実施されている治験及び臨床研究の継続可否について審議しています。

平成25年度からは、厚生連病院共同治験審査委員会が設立されたため、新たな治験に関する審議は、共同治験審査委員会に審査を依頼していますが、医師が中心となって実施される臨床研究については、従来通り当院の治験倫理委員会で審議されています。

現在、当院で実施している治験に関する審議は、厚生連病院共同治験審査委員会に審査を依頼しております。

## 【協議事項】

- 1 委員会は、治験計画書に重大な変更を余儀なくされたときは、その妥当性を審査し意見を病院長に提出する
- 2 委員会は、治験実施の進捗状況及び被験者の同意の取得状況について適宜報告を受け、又、必要に応じ、自ら調査を行い、意見を述べることができる  
さらに、治験の期間が1年を超える場合は、1年に1回以上当該治験の継続の適否について病院長に意見を述べなければならない
- 3 委員会は、治験終了時に治験終了報告書と共に、治験参加同意書の写しの提出を求め、被験者の治験参加の同意が適切に得られたかを審査した後、その結果を病院長に報告する
- 4 委員会は薬価基準収載品の市販後調査依頼についても審査する

# 接 遇 推 進 委 員 会

## 【目 的】

接遇推進委員会は月1回開催し、病院の理念に基づき接遇の推進に関する事項を協議・検討し、接遇レベルの向上を図ることを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 診療部長  
委員 : 診療部門 診療部長  
看護部門 各部署代表者  
技術部門 各部署代表者  
事務部門 各部署代表者  
管理部門 病院長、事務長、看護部長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

毎月、各病棟で入院アンケート結果を検討し、委員会開催前に各病棟内で意見を共有して話し合いを行い、改善策を検討しました。その結果は委員会で報告し、患者様に不快な思いをさせない接遇の実現に努めました。

また、その内容を全職員に周知するため、委員会広報誌「接遇だより」を発行しました。患者様向けには、ご意見や検討事項を各病棟および外来に掲示しております。

患者満足度調査は、外来および入院患者様を対象に年1回実施しており、令和5年度からはQRコードを利用してスマートフォンからも回答できる仕組みを導入しました。回答結果は委員会で報告し、各病棟および外来に掲示するとともに、令和2年度以降は病院のホームページでも閲覧可能にしております。

令和5年度には接遇マニュアルを改訂し、接遇のポイントを整理して職員が実践しやすい形にまとめました。

来年度も引き続き、入院アンケート結果や患者様からのご意見に迅速に対応するとともに、「接遇だより」の活用や研修会の開催を通じて全職員への啓蒙を図ります。また、部署ごとの接遇目標シートを作成し、目標達成に向けた取り組みを実施することで、さらなる接遇の向上を目指してまいります。

## 【協議事項】

- 1 接遇調査に関する事項
- 2 接遇研修に関する事項
- 3 接遇レベル向上計画に関する事項
- 4 その他接遇推進に関して必要と認める事項

## 【活動内容】

- ・院内ラウンド（身だしなみチェック）
- ・外来および入院患者へのアンケートの配布および集計
- ・外来および入院患者への満足度アンケート調査
- ・アンケート結果の検討
- ・「接遇だより」の発行
- ・病院内、季節の飾りつけ  
（1月：正月飾り、3月：節句飾り、7月：七夕飾り、12月：クリスマス）
- ・接遇マニュアルの見直し
- ・接遇自己チェックの実施（年2回）

## 【院内研修会】

身だしなみマニュアル

令和6年10月21日      参加人数 86人

令和6年10月26日      参加人数 57人

# 臨床研修プログラム委員会

## 【目的】

研修プログラム委員会は毎月1回開催し、病院における臨床研修の効果的な実施を図るため、病院独自の研修プログラムを作成し、運用することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長：副院長
- 委員：医師部門 病院長、副院長、診療部長、チーフレジデント  
看護部門 看護部長  
技術部門 薬剤科、技師長（主任技術者）  
事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

毎月第2水曜日に開催し、研修医の研修状況（経験・手技・レポート）を確認しています。また、研修医・指導医にアンケートを取り、臨床研修の充実を図っています。さらに、臨床研修に関する行事等の協議や研修会の企画を行っています。

## 【協議事項】

- 1 研修プログラムに関する事項
- 2 研修カリキュラムに関する事項
- 3 研修コースの調整に関する事項
- 4 カリキュラム到達度の判定に関する事項

## 【令和6年度実績】

- 1 新採用研修医  
福島県立医科大学5名、杏林大学1名
- 2 マッチング結果  
応募人数：18名  
マッチング数：6名  
内訳）福島県立医科大学5名、東北大学1名
- 3 病院説明会参加実績  
福島県臨床研修病院ネットワークガイダンス 2024. 6. 6 福島市  
東北大学長陵協議会合同病院説明会 2024. 6. 7 仙台市  
レジナビフェア東京 2024. 6. 16 東京  
レジナビフェア仙台 2024. 7. 7 仙台市  
マイナビ オンラインセミナー総合診療特集 2024. 10. 5 オンライン  
福島県地域医療を考える懇談会 2025. 1. 9 福島市  
東北大学長陵協議会合同病院説明会 2025. 1. 24 仙台市

# 臨床研修管理委員会

## 【目的】

臨床研修管理委員会は、当院における初期臨床研修を統括管理し、研修の効果的な実施を図ることを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	病院長、名誉院長、副院長、診療部長
		看護部門 看護部長
		技術部門 薬剤科科長、放射線科技師長、検査科技師長
		リハビリテーション科副技師長、栄養科副技師長
		事務部門 事務長、事務次長、総務課長、臨床研修センター
外部委員		福島県立ふくしま医療センターこころの杜院長、特別養護老人ホーム寿光園施設長、福島県南保健福祉事務所長、福島県赤十字血液センター所長、塙厚生病院長、坂下厚生総合病院長、鹿島厚生病院長、高田厚生病院長、福島県立医科大学附属病院長、大原綜合病院長、福島赤十字病院長、太田総合病院附属太田西ノ内病院副院長、星綜合病院長、白河在宅支援診療所院長、白河医師会会長、白河医師会事務局長、白河市総務部長、JA夢みなみ常務
		その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

5月、9月、3月の年3回、協力病院・協力施設の委員の先生にお集まりいただき、臨床研修に関する事項を協議しています。

## 【協議事項】

- 1 研修プログラムの作成に関する事項
- 2 研修プログラム相互間調整に関する事項
- 3 研修医の管理に関する事項
- 4 研修医の採用、中断、修了の判定に関する事項
- 5 研修医ごとの研修進捗状況の把握、評価に関する事項
- 6 プログラム責任者や指導者への指導、助言に関する事項

### 【研修協力病院】

- 1 福島県立医科大学病院
- 2 日本赤十字社福島赤十字病院
- 3 公益財団法人 星総合病院
- 4 一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院
- 5 福島県立ふくしま医療センターこころの杜
- 6 一般財団法人 大原総合病院
- 7 塙厚生病院

### 【研修協力施設】

- 1 福島県県南福祉保健事務所
- 2 福島県立南会津病院
- 3 坂下厚生総合病院
- 4 社会福祉法人 恵愛福祉会特別養護老人ホーム寿光園
- 5 福島県赤十字血液センター
- 6 福島県立宮下病院
- 7 高田厚生病院
- 8 只見町国民健康保健朝日診療所
- 9 鹿島厚生病院
- 10 双葉厚生病院
- 11 農村健診センター



# 倫理委員会

## 【目的】

倫理委員会は、当院で行われる医学研究及び医療行為における倫理について、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿って審議し、患者の権利の尊重、擁護を図ることを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長  
委員 : 医師部門 診療部長  
看護部門 看護部長  
技術部門 薬剤科長、技師長  
事務部門 事務長、総務課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

2か月に1度、委員会を開催し、主に臨床研究、疫学研究、看護研究など、医学研究の審議を行っています。また、至急の審議が必要な場合は、臨時で委員会を開催します。臨床研究に関する情報は、院内掲示板および白河厚生総合病院のホームページで公開しております。

さらに、臨床現場で倫理的な問題が発生した際には、臨床倫理コンサルテーションを開催し、適切な対応を行っています。

## 【協議事項】

- 1 病院長からの諮問事項についての答申
- 2 医の倫理の在り方の基本的事項の調査および検討
- 3 医療現場における生命倫理の基準や規程の策定
- 4 医学の研究または医療行為における倫理的妥当性の検討
- 5 社会的な倫理課題の研究及び検討
- 6 臨床研究倫理に関する方針の策定及び改訂に関すること
- 7 医の倫理における職員教育の企画提案
- 8 新たな診療、治療方針、技術を導入する際の対応

# 広 報 委 員 会

## 【目 的】

広報委員会は、病院の医療情報を利用者に分かりやすく提供することで、地域住民と病院相互の信頼関係を構築することを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 診療部長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 看護副部長  
技術部門 放射線科、栄養科、薬剤科、検査科、リハビリテーション科  
臨床工学科、看護学院看護師
- 事務部門 事務長、事務次長、課長、課長補佐 他  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

広報委員会は、年4回委員会を定期開催しています。病院の広報に役立つ内容を収集し、さらにその内容を充実させるために、広報委員は広報誌「風によせて」の作成、ホームページ作成、病院年報の3部門に分け、委員の皆さんの意見を反映させられるように活動しています。

## 【協議事項】

- 1 広報刊行物の編集発行に関する事項
- 2 年報の編集発行に関する事項
- 3 ホームページの作成、管理及び運用に関する事項
- 4 その他広報活動に関する事項

# 医療の質向上委員会

## 【目的】

医療の質向上委員会は、白河厚生総合病院における医療水準の向上を図ることを目的とする。

## 【構成】

委員長： 病院長

委員： 副院長、看護部長、副看護部長、各部署長、事務長、各科長

その他必要と認められる者

## 【活動報告】

令和6年度は、6回委員会を開催し、主に病院機能評価に向けた期中の確認項目について検討を行いました。各部署からの意見や提案を基に、必要な改善策を策定いたしました。

病院理念について、職員全体から意見を収集し検討を行いました。その結果、従来通りの病院基本理念・基本方針を継続して使用することが承認されました。

医療の質改善活動の一環として、Q I プロジェクトを推進しました。データ収集と分析を行い、診療の質向上に向けた具体的な改善策を講じました。

また、患者からのアンケート結果を基に、医療サービスの改善策を検討しました。

## 【協議事項】

- 1 診療の質向上に関する事
- 2 臨床指標の分析及び評価に関する事（Q I プロジェクトを含む（日本病院会））
- 3 その他外部評価に基づく改善活動に関する事

# 医療放射線安全管理委員会

## 【目的】

医療法施行規則の一部を改正する省令（平成31年厚生労働省令第21号）に基づき、白河厚生総合病院における診療用放射線に係る安全管理体制に関する事項について協議し、診療用放射線の安全で有効な利用を確保することを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 病院長、副院長、診療部長
		看護部門 看護部長、看護師長、主任看護師
		技術部門 放射線科技師長、放射線科副技師長、放射線科主任
		事務部門 総務課

## 【活動報告】

年1回の定期開催を行い、「令和6年医療用放射線機器導入・更新報告」「令和5年度医療放射線検査実績」「令和5年度被ばく線量管理・記録状況」について協議を行いました。

放射線検査に携わる職種を対象に「医療放射線安全管理研修会」をオンラインで開催し、確認テストを行いました。受講対象者535名中受講者413名、受講率77%でした。

## 【協議事項】

- 1 診療用放射線の安全利用のための指針策定に関する事項
- 2 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修に関する事項
- 3 放射線治療を受けた患者等の被ばく線量管理及び記録その他の診療用放射線の安全利用を目的とした改善の為の方策に関する事項
- 4 放射線の過剰被ばくその他の放射線診療に関する事例発生時の対応に関する事項
- 5 その他の診療用放射線に関する事項

# 放射線安全管理委員会

## 【目的】

白河厚生総合病院放射線障害予防規程（以下「予防規程」という。）第8条に基づき、白河厚生総合病院（PET画像診断センター・リニアック室）における放射線の安全管理を推進するため、放射線安全管理委員会を置き、予防規程および白河厚生総合病院放射線障害予防規程運用細則（以下「運用細則」という。）の適正で効率的運用を図るため、予防規程第5条に定める放射線安全管理委員会内規を定めることを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 病院長、放射線科医師
		技術部門 放射線科技師長、放射線科技師
		事務部門 総務課課長補佐

## 【活動報告】

年1回の委員会開催にて、放射線業務従事者の放射線管理状況報告に基づく協議の実施をし、個人被ばく線量、リニアック照射線量、サイクロトン照射時間、<sup>18</sup>F製造記録の報告を行っております。

## 【協議事項】

- 1 個人被ばく線量に関する事項
- 2 リニアック照射線量に関する事項
- 3 サイクロトン照射時間に関する事項
- 4 <sup>18</sup>F製造記録に関する事項
- 5 定期確認及び定期検査に関する事項

# 内科専門研修委員会

## 【目的】

内科専門研修委員会は、白河厚生総合病院における内科専門研修の効果的な実施を図るため、病院独自の内科専門研修プログラムを作成し運用することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長、診療副部長  
看護部門 看護部長  
事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター事務局  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年10回委員会を開催し、専攻医の状況を委員会で把握し遅滞なくプログラムを達成できるように努めております。

## 【協議事項】

- 1 研修プログラムの作成
- 2 研修カリキュラムの作成
- 3 研修コースの調整
- 4 到達度の判定
- 5 専攻医、指導医の評価

# 内科専門研修プログラム管理委員会

## 【目的】

内科専門研修プログラム管理委員会は、内科専門研修施設群をとりまとめ、専攻研修を統括管理し、内科専攻医の研修が効果的に実施できる体制を構築することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長、診療副部長、専攻医代表者  
看護部門 看護部長  
事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター事務局  
外部部門 連携施設担当事務局  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年3回の管理委員会を開催し、専攻医の状況を報告して遅滞なくプログラムを達成できるように努めております。

## 【協議事項】

- 1 内科専攻研修委員会によって提出された研修プログラムの審査ならびに管理
- 2 研修プログラム相互間調整
- 3 専攻医の採用、中断、修了の判定
- 4 研修修了後及び研修進捗状況の把握、評価
- 5 研修の全体評価・専攻医評価・指導医評価
- 6 プログラム統括責任者や指導者への指導、助言

# 医薬品対策委員会

## 【目的】

医薬品対策委員会は年6回定期開催し、医薬品の購入及び管理の合理化をはかり、もって会の経営に寄与することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 病院長
- 委員 : 医師部門 副院長、診療部長  
看護部門 看護部長、副看護部長  
技術部門 薬剤科長、薬剤科長補佐、薬剤科主任  
事務部門 事務長、事務次長、課長、係長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

- 医薬品対策委員会の開催（年／6回）  
医薬品採用基準のルールの順守  
申請医薬品についての情報収集  
後発医薬品、後続医薬品への切替え推進  
不回転医薬品の検索  
出荷調整及び販売停止医薬品の供給状況についての情報提供

## 【協議事項】

- 新規医薬品の申請理由と有効性・安全性、削除医薬品の審査  
同種・同効薬、同一組成及び類似医薬品との比較検討  
後発医薬品、後続医薬品への切替え検討  
薬価と購入価の比較検討  
不回転医薬品についての優先使用と採用削除の検討  
出荷調整及び販売停止医薬品の代替薬の検討  
医薬品の使用及び管理の適正化についての検討

# 個人情報保護推進委員会

## 【目的】

個人情報保護推進委員会は、本院における「個人情報取扱規則」や「個人情報保護方針」の遂行状況及び見直しを図り、個人情報の保護の推進を図ることを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	病院長
委員	：	農村健診センター 農村健診センター長
		医師部門 副院長、診療部長
		看護学院 附属高等看護学院長
		看護部門 看護部長、副看護部長、看護師長
		技術部門 薬剤科、放射線科、検査科、リハビリテーション科
		栄養科、臨床工学科
		事務部門 事務長、事務次長、課長、課長補佐
		その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

令和6年度は「医療現場における個人情報保護」と題して、個人情報保護の研修会を開催し、370名が参加しました。

## 【協議事項】

- 1 「個人情報取扱規則」や「個人情報保護方針」の遂行状況の確認
- 2 「個人情報取扱規則」や「個人情報保護方針」の見直し
- 3 「個人情報保護に関する教育研修」の実施
- 4 その他個人情報保護に関する事項

# 災害医療対策委員会

## 【目的】

県南地域及び関東北部における地震、火災、台風、水害等の自然災害時の負傷者の受け入れ及び災害時DMA T派遣に対応するため、医療提供及び組織的対処方法等に関して必要な措置を協議する。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、副院長、診療部長、診療副部長  
看護部門 看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長  
技術部門 主任技術者（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）  
薬剤師、言語聴覚士、管理栄養士
- 事務部門 事務長、事務次長、課長、課長補佐、係長、施設電気管理者 他  
その他DMA T隊員他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

福島県国民保護共同訓練、東北ブロックDMA T参集訓練、福島空港消火救護訓練にDMA T隊員が参加し、災害時の対応力強化を図るとともに、院内では災害発生時を想定した防災訓練およびトリアージ訓練を実施し、職員の対応力向上を図りました。

## 【協議事項】

- 1 災害時医療マニュアルに関する事項
- 2 災害時医療訓練に関する事項
- 3 DMA T（災害派遣医療チーム）に関する事項
- 4 その他災害時医療に関する事項

# DPCコーディング委員会

## 【目的】

DPCコーディング委員会は年4回開催し、病院における適正なDPCコーディングを行うことを目的とする。

## 【構成】

- 委員長 : 副院長
- 委員 : 医師部門 病院長、診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長、主任看護師  
技術部門 薬剤科長、放射線科主任、検査科主任  
事務部門 事務長、医事課長、医事課長補佐、医事課係長 他  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

定例に委員会を開催し、DPC実績の分析や、コーディングテキストを用いたコーディングルールの確認、症例検討を行い、適正なコーディングが行えるよう協議しました。

## 【協議事項】

- 1 コーディングに関する事項
- 2 症例報告
- 3 DPC実績に関する事項

# 病院衛生委員会

## 【目的】

病院衛生委員会は、労働安全衛生法第19条の規定により、職場における安全と衛生の向上を図り、職員の正常な健康管理を通じ、業務効率の増進に反映することを目的とする。

## 【構成】

委員長	：	副院長
委員	：	医師部門 産婦人科部長
		看護部門 保健師
		技術部門 薬剤科
		事務部門 総務課長、総務課
		労働組合 白河分会長、白河副分会長、書記長、副書記

## 【活動報告】

職員の時間外業務の報告や業務、通勤時の交通事故や労働災害の件数、有給休暇取得率を報告し、職員の健全な労働環境が守られているかを確認しています。また、健康診断および精密検査の受診数も把握し、職員の健康状態の向上に努めております。

## 【協議事項】

- 1 危険防止に関する事
- 2 労働災害の原因及び対策に関する事
- 3 疾病予防対策に関する事
- 4 リスクアセスメント等の実施に関する事
- 5 長時間労働者への面接指導の実施に関する事
- 6 メンタルヘルス対策に関する事
- 7 長時間にわたる労働者の健康被害の防止に関する事
- 8 安全衛生思想の普及及び教育に関する事
- 9 その他安全衛生に関する事

# 診療材料等検討委員会

## 【目的】

診療材料検討委員会は年6回開催し、診療材料の購入および管理の合理化を図り、会の運営に寄与することを目的とする。

## 【構成】

- 委員長：副院長
- 委員：医師部門 病院長、副院長、診療部長  
看護部門 副看護部長、看護師長、副看護師長、主任看護師  
技術部門 技師長（主任技術者）  
事務部門 事務長、総務課長、管理課長、総務課係長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

2か月に一度開催しています。委員会では診療材料の見直し、同等安価品への切り替え提案などを行います。また、物品使用状況をデータ化し情報を提供し、在庫管理の整理・定数の見直し・使用期限の確認などに役立てています。

今後も継続した活動を行い、各部署や他委員会との連携を取り、使用材料の検討などを進めていきます。

## 【協議事項】

- 1 新規採用診療材料の審査・決定
- 2 同一組成及び類似診療材料の検討
- 3 診療材料購入価格の検討
- 4 診療材料の使用及び管理の適正
- 5 診療材料その他院内物流に係る業務管理

# 白河総合診療アカデミー総合診療専門研修委員会

## 【目的】

白河総合診療アカデミー総合診療専門研修委員会は、白河厚生総合病院における総合診療専門研修の効果的な実施を図るため、病院独自の総合診療専門プログラムを作成し運用することを目的とする。

## 【構成】

委員長：総合診療科部長

委員：医師部門 白河総合診療アカデミーセンター長、病院長、副院長  
診療部長、診療副部長、診療科長

看護部門 看護部長

事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター事務局

白河総合診療アカデミー事務局

その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年10回委員会を開催し、専攻医の状況を把握し遅滞なくプログラムを達成できるように努めております。

## 【協議事項】

- 1 研修プログラムの作成
- 2 研修カリキュラムの作成
- 3 研修コースの調整
- 4 到達度の判定

# 白河総合診療アカデミー総合診療専門研修プログラム管理委員会

## 【目 的】

白河総合診療アカデミー総合診療専門研修プログラム管理委員会は、総合診療専門研修施設群をとりまとめ、専攻研修を統括管理し、総合診療科専攻医の研修が効果的に実施できる体制を構築することを目的とする。

## 【構 成】

- 委員長 : 総合診療科部長
- 委 員 : 医師部門 病院長、白河総合診療アカデミーセンター長、副院長、診療部長診療副部長、診療科長
- 看護部門 看護部長
- 事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター事務局  
 白河総合診療アカデミー事務局
- その他、連携施設担当委員など病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年3回の管理委員会を開催しており、専攻医の状況を報告して遅滞なくプログラムを達成できるように努めております。

## 【協議事項】

- 1 白河総合診療アカデミー総合診療専門研修プログラム管理委員会によって提出された研修プログラムの審査ならびに管理
- 2 研修プログラム相互間調整
- 3 専攻医の採用、中断、修了の判定
- 4 研修修了後及び研修進捗状況の把握、評価
- 5 研修の全体評価・専攻医評価・指導医評価
- 6 プログラム統括責任者や指導者への指導、助言

# 専門研修委員会

## 【目的】

専門研修委員会は、白河厚生総合病院が連携施設となっている専門研修プログラムにおいて専攻医が十分な研修を受けられるように、必要に応じて教育・指導の支援を行うことを目的とする。

## 【構成】

委員長：副院長

委員：医師部門 病院長、名誉院長、副院長、診療部長、診療副部長

看護部門 看護部長

事務部門 事務長、総務課長、臨床研修センター事務局

その他、病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

年10回委員会を開催し、専攻医の状況を把握し遅滞なくプログラムを達成できるように努めております。

## 【協議事項】

- 1 到達度の判定
- 2 専攻医、指導医の評価

# 職場環境向上委員会

## 【目的】

職場環境向上委員会は、職員一人ひとりが働きやすいと感じる職場風土を醸成するため、職場環境のさらなる向上を図ることを目的とする。

## 【構成】

委員長：副院長

委員：病院長、副院長、看護部長、看護部担当部長、副看護部長

副学院長、薬剤科長、技師長

事務長、課長

その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

毎月1回の定例会議に加え、コアメンバーによる月次会議を開催し、継続的な課題検討を実施してまいりました。本年度は、看護部において日勤者と夜勤者の役割を可視化し、日勤者の時間外勤務の削減に取り組みました。また、タスクシフト・タスクシェアの推進により、多職種間での業務分担の見直しを行い、業務の効率化と負担軽減を図りました。

今後も、これらの取り組みをさらに発展させ、職員一人ひとりがやりがいを持って働ける職場環境の実現を目指してまいります。

## 【協議事項】

- 1 離職防止対策に関する事項
- 2 医療従事者における働き方改革に関する事項
- 3 時間外労働の短縮対策に関する事項

# 医師の働き方改革検討委員会

## 【目的】

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保（医師の労働環境改善と健康確保）を目的とする。

## 【構成】

- 委員長：副院長  
委員：病院長、副院長、看護部長、副看護部長、副学院長  
薬剤科長、技師長（副技師長または主任技術者）  
事務長、課長  
その他病院長が必要と認めた者

## 【活動報告】

隔月1回の委員会で、医師の働き方改革における医師の健康確保と長時間労働の改善に関する議論を行っています。

## 【協議事項】

- 1 病院勤務医の勤務状況の把握とその改善に関する事項
- 2 勤務時間及び当直を含めた夜間勤務状況に関する事項
- 3 多職種からなる役割分担推進に関する事項
- 4 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画に関する事項
- 5 その他働き方改革に関する事項

## Ⅷ 広報誌「風によせて」



Special  
特集  
feature

## 放射線治療装置が新しくなりました!

放射線科 吉田 龍太

### 2024年4月より稼働する放射線治療装置

2024年4月から新しい放射線治療装置(リニアック)による放射線治療が開始されます。導入された放射線治療装置の「TrueBeam」(トゥルービーム)は高精度な治療に特化した治療を行うことができます。特徴としては従来の装置に比べて、がん病巣部へより多くの放射線を正確かつ安全に当てることが可能です。また、健康な組織には放射線があまり当たらないため、副作用は少なくなります。

### 東北初導入!位置照合装置で正確かつ安全な治療

東北地方で初めて導入された位置照合装置「Exac Trac Dynamic」(エグザクトラックダイナミック)は短時間でミリメートル単位の位置照合を自動で行うことが可能です。「赤外線」・「熱」・「X線」の3つの方法で観察し、治療中に患者さんの動きを感じた場合は治療が一時的に中断されます。動きのずれを修正できるため、高い治療精度を担保します。この装置の導入で、より安全で正確な放射線治療が短時間でできるようにになりました。



### 患者さんの不安を取り除く環境づくり

放射線治療と聞くと不安に思われる方も多いと思います。当院では患者さんの不安を軽減するために治療する環境にも配慮しています。治療室の天井には真空のパネルを導入しており、LED照明と芸術的な空の天窓が患者さんに癒しを与えてくれます。このように穏やかな気持ちで治療を受けていただけるように環境づくりに力を入れています。

### 県南地区を支える当院の放射線治療

当院は2010年に厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、2016年に(公財)日本医療機能評価機構が実施している「病院機能評価」の認定を取得しました。どちらの指定要件も放射線治療の質に関する要項が含まれており、放射線治療専門医や放射線治療専門放射線技師を筆頭に、安全で質の高いチーム医療の提供に日々努めております。

### 安心して放射線治療を受けていただくために

放射線治療では高い専門性をもったスタッフが担当しております。患者さんの疑問や不安に真摯に向き合い、安心感をもって治療が出来るように努めて参ります。スタッフ一同、患者さんとご家族が安心して治療を受けられるようサポートしていきたいと考えております。

05

## 院内ニュース

## IN-HOSPITAL NEWS

2024.3-4

NEWS  
01

### 第61回 卒業証書授与式

専任教員 芳賀 洋平

令和6年3月4日(月)白河厚生総合病院付属高等看護学院にて第61回卒業証書授与式が開催されました。卒業生34名は晴れ着姿で式典に臨み、前原和平学院長から一人ひとりに卒業証書が授与され、「様々な困難を乗り越えることのできる看護師であるとともに、いかなる環境においても冷静な判断を下すことができる社会人に成長されることを願います。」と式辞を述べました。



在校生代表の草野美彩さんが送辞を送り、卒業生代表の金澤真さんが答辞を述べました。また、学院長賞1名、福島県医師会会長賞1名、優秀賞2名、皆勤賞及び精進賞10名が表彰されました。3年間の学校生活に対する万感の思いを胸に4月からそれぞれの道を歩み始めます。これからも温かいご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

NEWS  
02

### 初期研修修了認定式

臨床研修センター 土屋 陽平

研修医は2年間の研修における到達目標の達成を申告し、臨床研修委員会がその実績を調査し、到達目標の達成度を確認し修了を認定します。

2024年3月22日(金)、無事2年次6名全員の研修修了が認定され、大木院長から研修修了証を受け取りました。4月からは当院を離れ、それぞれの目指した進路へと向かう運びとなりますが、初期研修で会得した経験を糧に更なる躍進が果たせる事を切に願っております。2年間、本におかれ様でした。



NEWS  
03

### 専門研修修了証書授与式

臨床研修センター 土屋 陽平

令和6年3月14日(木)白河厚生総合病院内科専門研修プログラム研修中であつた中友王先生、町田勇子先生が3年間の全課程を修了し、大木院長より修了証書を受け取りました。新年度より新天地でのご活躍を期待いたします。おめでとうございます!



NEWS  
04

### 初期臨床研修医入会式

田部 井昌宏

令和6年4月1日(月)今年度も計6名の初期臨床研修医が本院の研修プログラムに入会いたしました。医師としての第一歩を踏み出した先生方の活躍を成長を、これからも見守ってまいります。



06

## 訪問診療でできることできないこと

総合診療科 鈴木 龍児

訪問診療では、患者の自宅や施設で行う医療サービスを提供しています。採血、(条件付きで)点滴、皮下点滴、迅速血糖測定(デキスター)、超音波検査、そしてインフルエンザワクチン接種など、様々な医療行為を行うことができます(写真)。これらの処置や検査は、患者の自宅や施設で快適に受けられる利点があります。

しかし、訪問診療では一部の医療行為を行うことが難しい場合もあります。例えば、放射線画像検査(レントゲンなど)や複数の点滴からの薬剤投与など、特殊な設備や機器が必要な場合は、通常の医療機関での受診が必要です。緊急性の高い状況や急な対応が必要な場合も、訪問診療では限界があります。

訪問診療は、柔軟な医療サービスであり、患者のニーズに応じて対応することができます。しかし、全ての医療行為を提供できるわけではありません。そのため、治療目標や状況に応じて、適切な医療施設を利用することも重要です。

最終的に、訪問診療は患者中心のアプローチを重視し、患者の生活を尊重した医療を提供します。できることもあればできないこともありますが、患者との密なコミュニケーションを通じて、最適な医療プランを策定し、治療目標に向かって共に歩んでいくことを目指します。訪問診療を希望される方は、検診センターまでお問い合わせください。



訪問診療先で行った検査:  
糖尿病のある患者さんを定期訪問した際、採血、迅速血糖測定、超音波検査を行った。

07

## Topics

## 白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から新白河駅間の往復が無料の巡回バスがご利用頂けます。

### 白河厚生総合病院 バスコース



### 白河厚生総合病院無料巡回バス 時刻表

停車場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
新白河駅(東口)	7:35	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—
福島銀行白河支店(新白河)	7:40	—	9:35	—	11:05	12:05	—	14:50	—
白河駅前(昭和町)	7:43	—	9:40	—	11:10	12:10	—	14:55	—
白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	—
ヨークベニマル横町店向かい	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	—
小峰大橋 田町前	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	—
白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	—
白河厚生総合病院	—	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
小峰大橋 田町前	—	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
ヨークベニマル横町店前	—	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
白河駅	—	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
白河駅前(昭和町)	—	9:20	—	10:50	11:50	—	14:35	—	16:05
福島銀行白河支店(新白河)向かい	—	9:25	—	10:55	11:55	—	14:40	—	16:10
新白河駅(東口)	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—	16:15

【おしらせ】 交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

風によせて | 2024.07.00

〒住所/〒961-0005 福島県白河市豊地上3次部 2-1  
HP / <https://www.shirakawa-kosei.jp>

福島県農業協同組合連合会  
白河厚生総合病院

TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218  
E-mail info@shirakawa-kosei.jp

VEGETABLE MILK

この取組は農産物の産地と  
消費者が連携しています。

地域と医療を結ぶ広報誌

# 風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL. 71  
2024.7  
KAZENI  
TOSETE



夏観に咲く

CONTENTS

- 病院医挨拶.....2
- 医療連携.....3
- 農村医学会.....3
- 特集.....4
- 糖尿病教室.....5
- 学生募集.....6
- 入学式 白河厚生総合病院付属高等学校.....7
- 初期研修医の採血 OSCE.....7
- 新人研修.....7
- 心理カウンセリングについて.....8

特集 睡眠時無呼吸症候群とCPAP治療について

JA福島厚生連 白河厚生総合病院

Shirakawa Kosei General Hospital

ごあいさつ salutation

オリンピックイヤー



今年は何年か遅かったですが、あまりまとまった雨が降らず湿度の高い夏が続いています。熱中症で搬送される方も多く市内内外問わず注意が必要です。今年7月24日から7月25日のオリンピックが開催されます。前回の東京オリンピックは2020年開催予定がコロナの影響で1年延期し2021年に開催されましたが、コロナ蔓延下の開催だったため様々な制約がありました。今年は新型コロナが5期になり通常開催となるため楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか？

ところで皆さん7月3日に20年ぶりに発行された新紙幣はもうお手元にありますか？それぞれの新札に描かれている人物もリニューアルしましたが、新1000円札に描かれている「北里柴三郎」はご存じの方も多いと思います。北里は細菌免疫学研究所の第一人者であり、「細菌学者の父」といわれる優秀な医学者です。ドイツ留学中に結核菌の培養に成功しその毒素による免疫抗体を発見し、血清療法を確立したことで一躍世界的な研究者として名声を博しました。帰国後も伝染病研究所を創設し伝染病予防と細菌学の研究に取り組みました。当時香港で蔓延したペストの原因菌であるペスト菌を発見したのも彼の功績です。その後北里研究所の創立、慶應義塾大学医学部の創設などに加え、多くの優秀な門下生を輩出し、教育活動の分野でも大きな貢献をしました。彼の門下生の中には結核菌出身者が数多くいますが、なかでもアメリカに渡り熱熱の研究で一躍世界的な研究者となったのが野口英世です。弟子である野口英世が先に紙幣の顔になりましたが、今回北里が新紙幣の顔になることで、この偉業の偉大な業績があらためて国民に広がっていくのだと思います。

もう一人はいわき出身の高木友枝です。彼女は北里の一番弟子といわれる医学者ですが、日本統治時代の台湾で台湾総督府医院長となり台湾総督府医学校長を務めました。その後台湾地方自治会会長と初代社長も務めています。後藤新平による台湾近代化政策のもとで知事教育と医療行政の礎を築いたことから「台湾医学衛生の父」として知られています。

福島県にも多くの偉人がいたことがとても誇りに思いますが、ふりかえれば人類の歴史は感染症とともにあると言っても過言ではありません。時代時代で新しい戦いを乗り越えてきており、今回の新型コロナ感染症もその一つしかありません。今後より平時の備えが不可欠となし今頃のことでも多くの学びがありました。また起きていないことをいかに想定しシミュレーションしておくかが危機管理の第一歩だと考えています。

当院はこれからも地域の中核病院として住民の皆様が安心して暮らせるよう、よりよい医療の提供を目標としてまいります。

白河厚生総合病院について

基本理念 地域を守り地域の皆様へ愛される病院を目指します

基本方針 私たちは、一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します  
一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます  
一、患者さんを全人的に理解し、個々を思いやりをもって接します  
一、充実に説明をし、患者さんの意志を尊重し、新しい医療を実践します  
一、使命を自覚し、たかまき病院を根拠とする医療の質の向上と人材の育成に努めます

院長 農村健診センター所長 大木 進司

今月の表紙 Cover Story

【夏観に咲く】ヒマワリには毒草が多く含まれていますが、いつも鮮やかな日々にはありません。訪れたこの日は、風薫りに霞が立ち込めていました。霧の中のヒマワリもしっとりとした風情があって、やすらぎを感じました。

医療連携 登録医療機関の紹介 JA福島厚生連 高厚生病院

当院は昭和23年に開院されて以来、県南および隣接する茨城県北部地域を医療圏とする地域の中核病院として医療に従事してまいりました。今後も地域住民の皆様様の健康を守り、この自然豊かな地域に暮らし人々と共に歩み、地域社会に貢献してまいります。

近隣の医療機関・施設と密に連携し、その要請に応え、地域内の人口が減少していく中、多職種が意欲的に介護・福祉に参加・活躍できるよう、住民と一体となったコミュニティ形成の一役も担いたいと考えております。思いやりと優しさに満ちた信頼される医療を目指してまいります。

高厚生病院 副院長 医療福祉連携部長 金澤 匡司

診療情報

時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○

●診療科目  
内科・小児科・精神科・心療内科・外科  
肛門外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・眼科・泌尿器科

●住所 / 〒963-5493 東白川郡高田町大字大町1-5  
●TEL / 0247-43-1145 FAX / 0247-43-3394  
●病院院長/佐川 恵一（さがわ けいいち）

Special Feature

## 睡眠時無呼吸症候群とCPAP治療について

臨床工学科 柳田 雄貴

皆さんは「いびきがうるさい」と言われたことはないですか？いびき、起床時の頭痛、日中の眠気、寝た感じがしない、これらは睡眠時無呼吸症候群の症状かもしれません。睡眠時無呼吸症候群は心筋梗塞や脳卒中を併発する可能性があるため、治療の必要な病気です。今回はそのような睡眠時無呼吸症候群と治療法の柱であるCPAP治療について紹介します。

睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群とは寝ている間に何らかの原因で空気の通り道である気道が狭くなり空気が通りにくくなる、もしくは一時的にふさがってしまう病気です。医学的には睡眠中に「1晩で30回以上」、もしくは「1時間あたり5回以上」の無呼吸（10秒）が続く状態が睡眠時無呼吸症候群と診断されます。原因は肥満、年齢、性別、顔の骨格など様々です。症状が軽い方は食事や運動で改善する場合もありますが、重い方はCPAP治療の対象となります。

CPAP（経鼻的持続陽圧呼吸療法）治療

CPAP治療とは、睡眠時に在宅用の人工呼吸器を装着する治療法です。マスクを介し気道内に圧をかけ、気道の閉塞を防ぐことにより、無呼吸を抑制することができます。無呼吸・低呼吸・いびきの消失、低酸素状態の改善、睡眠の質の向上や日中傾眠の解消が期待されます。

CPAP治療での注意点

1. 1日4時間以上の装着を目標に！  
1週間のうち5日間、1日4時間以上の使用が心筋梗塞や脳卒中、生活習慣病等に予防効果があると言われています。慣れないうちは途中で起きてしまうこともあるかもしれませんが、少しずつ練習をしましょう。
2. マスクの選択と適切なフィッティングが重要です！  
呼吸器を装着している時、マスク周りの空気が漏れてないか確認してください。またマスクが合わないと感じた際は病院へご相談ください。
3. 定期的な清掃は忘れずに！  
毎日使用した後にマスクを濡らした布で拭いてください。また1~2週間に1度はマスクやエアチューブを中性洗剤で洗ってください。

私たち臨床工学科ではCPAP治療を開始する際、呼吸器の使い方や注意点等を説明させていただきます。わからない点があれば遠慮なくご質問ください。また、睡眠時無呼吸症候群は全国に潜在患者が約900万人いるといわれています。しかし、実際に診断を受け、治療している方は50万人ほどです。今回紹介した自覚症状がある方は病院の受診を検討してください。

第72回福島県農村医学会総会開催 総務課 笠原 詩歩

6月15日に白河市のJA夢みなみしらかわせしモニープラザで白河厚生総合病院の大木院長が学会長として、5年ぶりとなる第72回福島県農村医学会総会と学術発表会を開催しました。

JA福島厚生連の病院、介護老人保健施設の医師、看護師ら約390人が出席。同学会の重富秀一理事長、大木進司学会長（白河厚生総合病院院長）、高久忠一JA福島厚生連代表理事理事長からあいさつがありました。

また、特別講演では、福島県立医科大学消化器外科学講座の河野浩二主任教授から「外科治療の最前線」と題した講演をいただきました。ロボット手術の今後の見解についての説明もあり、講演後は各病院の先生方から様々な質問がなされました。

午後には34題の学術発表が行われ日頃の研究成果を発表し討議を重ねました。



第72回 福島県農村医学会総会

171

## 令和6年度 糖尿病教室予定表

日時：毎月第4火曜日 8:45～  
 場所：2階カンファレンス室

どなたでも参加OK 参加費無料

日時	内容	講師
2024年 4月23日	糖尿病はどんな病気	草野医師
5月28日	今日から実践!塩分2gを減らす方法	管理栄養士
6月25日	誰でも簡単にできる運動	理学療法士
7月23日	お薬の話 (1)	薬剤師
8月27日	血糖関連項目について	検査技師
9月24日	肥満について	平井医師
10月22日	慢性腎臓病について 生活の注意点について	岩崎医師
11月26日	糖尿病と言われたら心掛けたい 食事の仕方	管理栄養士
12月24日	日常生活から工夫しよう	理学療法士
2025年 1月28日	お薬の話 (2)	薬剤師
2月25日	糖尿病で起こる怖い合併症	森谷医師
3月25日	糖尿病と言われたら気をつけたい 生活習慣	看護師

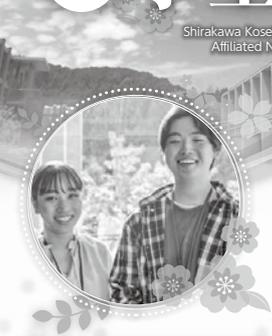
15

白河厚生総合病院付属高等看護学院

# 学生募集

Shirakawa Kosei General Hospital  
Affiliated Nursing School

令和7年度  
入学生



**募集定員**  
30名 (推薦入学を含む)

**修業年限** 3年課程 (全日制)

**入学試験** 令和6年10月7日(月)～11月7日(木)  
11月7日(木)締め切り

**試験日** 令和6年11月18日(日)

**受験科目** 現代の国語、英語コミュニケーション1、数学I、面接

**合格発表** 令和6年11月29日(金)

**1. 次のいずれかに該当する方**  
 (1) 高等学校を卒業した方、または令和7年3月に高等学校を卒業見込みの方  
 (2) 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方

**2. 地域の保健・医療・福祉に貢献できる方**

※看護師国家試験の受験資格が得られる。また、保健師・助産師学校への進学、大学への編入試験の受験資格が得られる。  
 ※専門士(医療専門課程)の称号が付与される。

**募集要項をご希望の方**

当学院ホームページより必要書類をダウンロードするか、下記の方法でご請求ください。

(郵送で請求する場合)  
 募集要項(申込書)一式、140円切手2枚、ご自分の住所・氏名を明記の封筒にし、封筒の裏に募集要項請求と記載書きし、当学院まで郵送してください。

(来校で請求する場合)  
 月曜日～金曜日 9:30～17:00  
 にお越しください。(休館日を除く)  
 お越しの際は、事前に予約をお願いします。

福島県学生農業協同組合連合会  
**白河厚生総合病院付属高等看護学院**  
 〒961-0005 福島県白河市豊地上第2次第2番地1  
 TEL: 0248-23-4081 / FAX: 0248-23-4136  
 https://www.shirakawa-kango.jp  
 Mail: skn@shirakawa-kango.jp

白河厚生 看護 医療



16

### 院内ニュース IN-HOSPITAL NEWS 2024.4

**NEWS 01** 第64回 入学式

～白河厚生総合病院付属高等看護学院～  
 令和6年4月8日

専任教員  
芳賀 洋平



令和6年4月8日第64回入学式を挙行し、21名の学生が入学を許可されました。

前原和平学院長が「人間を等しく慈しむ心を基本として、どのような時にも変わることはない優しさと思いやりを携えるために知識、技術の習得に加え、包容力のある豊かな人間性を育んでください」と式辞を述べました。また、JA福島厚生連 高久忠代表理事理事、白河厚生総合病院 大木進可病院長、鈴木文子看護部長からご挨拶をいただきました。在校生を代表して、3年の金山博司さんが「先輩・後輩の思慕を越えて、同じ夢を持つ者同士交流を深め、私たちと共に助け合いながら充実した学院生活にしましょう」と歓迎の言葉を述べました。新入生を代表して、森一介さんが「同来、患者さんの意思や人間性を尊重し、患者さんやそのご家族が望む最適な医療と一緒に考え、提供できるような看護師を目指していきたい」と誓いの言葉を述べました。春を感じさせる暖かい日差しの中、新入生は希望を胸に看護の道を一歩踏み出しました。

**NEWS 02** 初期研修医の採血OSCE

看護部 インジェクショントレーナー 根本 由利子



令和6年4月27日に出に初期臨床研修医6名の採血OSCE(客観的臨床研修試験)を実施しました。当院の看護基準に則った採血技術が、感染予防対策に留意しながら、安全・安楽に実施できているか評価しました。研修医同士で何度も練習を重ねた成果がみられ、6名全員が無事合格することができました。この経験を通じて、採血技術の向上と臨床業務への準備が進められたと思います。フィードバックを受けながら反省点を改善し、将来の実践に役立ててほしいと思います。

**NEWS 03** 新人さん、ようこそ。

4階東病棟 薄井 小百合



今年も新入職員を迎える時期となりました。看護部では患者さんに一番近い存在として、患者に寄り添い専門的な技術や知識を提供するために、今年も計画的に新人教育研修を実施し、日々研鑽に励んでおります。

入職して1ヶ月経過、職場にも徐々に慣れて、仕事の量が少しずつ増えていく中、今年もメンタルヘルスケアに特化した臨床心理士による講義を実施し、その後、リフレッシュを兼ねた病院オリエンテーションを実施しました。院内オリエンテーションは一昨年より開始し、今年で3回目の開催となります。「各部署の配置の理解」「緊急対応ガイドブックの活用」の理解をねらいついてオリエンテーションですが、訪問先の各部署でも、例年よりもバージョンアップした部署紹介や出陣が行われるなど、オリエンテーションの企画も院内全体に浸透されてきたことを実感しました。

自分たちの働く病棟で、患者を支援する医療チームと、その医療チームを支援する職員がいることも改めて認識する機会にすることができました。

これから活躍していく新人を、院内全体で見守り、全力でサポートしていきたいと思っております。

17

## 「心理カウンセリング」のご案内

**【例】**

- 漠然としている不安感や無気力、落ち込みなどの気分を改善したい
- 自分自身のことをもっとよく理解したいなど、性格的なことを何とかしたい
- 友人や職場などの人間関係やコミュニケーションの問題を相談したい
- 家族関係について考えたい
- 子育ての悩みを話したい (例：発達障がい児など)
- 学校の適応や不登校などで悩んでいる
- 精神科・心療内科にかかる前に話をしてみたい

\* 秘密厳守なのでプライバシーが守られます。  
 ※ 心理カウンセラー (臨床心理士) がお話を伺います。お薬の処方はありません。

**開室時間**

平日 9:00～12:30 14:00～17:00  
 土曜日 (第2・4・5) 9:00～12:30

**休診日** 日曜、祝日、第1・3土曜日、お盆(8/16)、年末年始(12/30～1/3)

**料金** 初回 80分 8,000円(税込)  
 2回目以降 50分 5,000円(税込)  
 (予約前日と当日のキャンセル時には、キャンセル料が発生します)  
 \* 医療機関ではありませんが、健康保険適用外であり自費になります。

**申込み方法**

1. 当院 通院中の方：主治医へご相談ください。  
 2. 当院通院中でない方：電話及びメールにて心理カウンセラーへご連絡ください。

① 予約電話番号 0248-22-2211 (代表) 受付時間 9:00～12:30  
 オペレーターに「心理カウンセリング るここ」とお申し付けください。  
 ※ 心理カウンセラーが電話を取れない場合、申し訳ございませんが、おかけ直しください。

② メールでのご連絡先  
 skgh.counselor1@shirakawa-kosei.jp




風によせて | 2024.7 | VOL.71

福島県学生農業協同組合連合会  
**白河厚生総合病院**

住所 / 〒961-0005 福島県白河市豊地上第2次第2-1  
 〒961-0005 福島県白河市豊地上第2次第2-1  
 TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218  
 E-mail: info@shirakawa-kosei.jp

この広報誌は環境に配慮した、植物性インクで印刷しています。

地域と医療を結ぶ広報誌

# 風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL. 72  
2024.10  
KAZENI  
TOSETE



明神滝 (天栄村)

CONTENTS

- 病院長挨拶.....2
- 医療連携.....3
- こんにちは！新任です.....3
- 特集.....4
- 在宅診療について.....5
- 第19回緩和医療研究会.....6
- 看護学院オープンキャンパス.....6
- 永年福祉施設.....7
- 病院運営委員会.....7
- 教員マニキュア研修会.....7
- 無料巡回バスのご案内.....8

特集 漢方薬を知ろう

JA福島厚生連 白河厚生総合病院

Shirakawa Kosei General Hospital

ごあいさつ salutation



健康経営宣言

今年の秋は10月に入っても心では暑い日が続き、衣替えのタイミングがわからないという声が多く聞かれました。長期休暇では病棟が少ないという状況の中で、寒暖差から体調を崩しやすくなるためしっかりと健康経営が必要だと。

ところで皆さんは「健康経営」という言葉をどこで耳にしたか、耳慣れない方もおられると思いますが、経済産業省や厚生労働省が推進している労働者の健康を守ることが、生産性の向上や企業成長につながるという考えです。具体的には働き方改革、健康診断実施率向上、有給休暇取得、ストレスチェック、ハラスメント対策など多岐にわたります。健康経営の推進に関する全社方針を社内向けに「明文化」している場合は2014年の53.3%に対し2023年には92.5%まで増加し、その意識は高まっています。

一方で医療の世界ではその意識や取り組みへの遅れが指摘されています。病院における健康経営には、多くのメリットがある一方で、実際にはいくつかの難しき課題が存在します。これらの課題は、医療業界特有の要素や院内の構造的問題に関連しています。一つは過重労働と人員不足です。医療現場では慢性的な人員不足が続いており、職員が過重労働に陥りやすい状況があります。特に看護師や医師の長時間勤務は一般的で、健康経営を推進しても、即座に労働環境が改善されるわけではありません。さらに、現場で働く医療従事者のシフト管理や労働時間の短縮は容易ではなく、健康経営のための時間を確保するのが困難です。もう一つは医療現場の文化的背景です。医療現場では、長時間労働や厳しい勤務環境が長い間「当たり前」とされてきた歴史があり、健康経営に向けた変革を進めるには、文化的な抵抗があることがしばしばです。特に、長年にわたる慣習を変えることは、職員からの理解を得るのが難しく、健康経営を進める上での大きな障壁となります。

しかし医療界はストレスや過重労働のリスクが高い職種です。健康経営を宣言することで、職員の心身の健康を積極的に取り、ストレス軽減や適切な労働時間の確保、メンタルヘルスのサポートなどが期待されます。そして職員の健康が保たれることで、集中力や判断力が向上し、患者さんに対する医療の質や安全性が向上します。健康経営は病院全体のパフォーマンスにも影響を与え、より良い医療サービス提供を可能にします。健康経営を掲げることで、職場環境が整備され、人材の確保や定着が期待できます。特に医療現場では、働きやすさと健康管理の取組みが離職率の低下に寄与すると考えられます。

当院は全ての職員が心身ともに健康で、やりがいを持ち、いきいきと働く職場環境を実現することを宣言します。そして職員一人ひとりの健康が、医療の質向上に直結することを認識し、地域の皆様へ最良の医療を提供してまいります。

病院長 農村健診センター所長 大木 進司

今月の表紙 Cover Story

【明神滝 (天栄村)】  
夏も終わり、秋の色が深まりました。ひんやりとした空気、自然の水の流れが癒されます。

白河厚生総合病院について

地域を守り地域の皆様に愛される病院を目指します

基本理念

基本方針

私たちは、一、医療、保健、福祉事業を通じて地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します  
一、患者の健康の向上に努めます  
一、患者さんを中心に理解し、働きやすい環境を構築します  
一、充分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します  
一、使命を自覚し、たかまき精神を根付かせ、医療の質の向上と人材の育成に努めます

医療連携 登録医療機関の紹介 医療法人社団 恵周会 白河病院

当院は人々に奉仕を尽くすとの基本理念のもと患者への笑顔とやさしさをモットーに、患者を自分の家族・身内として捉え患者一人一人のニーズを考え、患者サービスの向上に努めております。また患者サービスの根拠には、経営は人格の上に成り立つとの理念に従い、スタッフ一人一人が患者サービスの責任者であるという高い志を持ち、常に人格を養う努力をするように教育しております。

地域医療連携室、入院支援室を設置し、患者及び家族へ入院から退院までの支援を行っており、また2024年6月より訪問看護も開設し、今後地域包括支援を含めた幅広い支援体制の構築を目指しております。今後とも地域に根付いた医療機関として地域医療に貢献してまいります。

医療法人社団 恵周会 白河病院 病院長 久丸 昌幸

診療情報

診療日	診療時間
月曜日～金曜日	8:30～11:30
第1・3・5 土曜日	8:30～11:00

※開診予約制となっております。急病、夜間、休日、緊急4時以降、年末年始(12/31～1/3)は診察していません。一部変更になる場合がございます。ご不明な点は、お電話にてご確認ください。病院の情報はホームページをご覧ください。http://www.shirakawa-hp.jp/

【診療科目】  
内科・透視科・整形外科・消化器科・一般外科・循環器内科・脳神経外科

●住所/白河市六坂山10-1  
●TEL / 0248-23-2700 FAX / 0248-23-4609  
●病院長/久丸 昌幸 (わく まさゆき)

「明日のために、地域のみんな、私たちができること。」  
「小さな命の救済活動に、私たちが貢献します。」

こんにちは！**新任**です

白河厚生総合病院では、新しくとても優秀な先生が、新任されました。

総合診療科 出陣地 福島県 (わの、ゆづり)

菅野 裕樹

● 令和2年東北大学医学部卒業  
資格・専門 ● 後援科医

東京での1年間の研修を終え、10月からまた白河厚生総合病院でお仕事になります。たくさんのご指導をいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

産科 出陣地 福島県 (いっく、もも乃)

伊藤 百花

資格・期間 ● 旅行  
● 令和3年福島県立医科大学医学部卒業  
資格・専門 ● 産婦人科一般

白河の医療に貢献できよう、誠意を尽くして頑張ります。よろしくおねがいいたします。

麻酔科 出陣地 福島県 (おおいし、あゆみ)

大石 彩友美

資格・期間 ● 働くこと、旅行  
● 令和4年福島県立医科大学医学部卒業  
資格・専門 ● 麻酔科一般

第一歩頑張りますのでよろしくおねがいいたします。

早く白河での職務に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくおねがいいたします。

Special Feature

## 漢方薬を知ろう

薬剤科 高畑 翼

漢方薬とは

漢方薬とは、いくつかの生薬を組み合わせて作られる医薬品です。漢方薬の原料である生薬は、植物、動物、鉱物等に、簡単な加工(乾燥等)を加えたものです。

日本で保険適用となる漢方薬は148種あり、これらを構成する生薬成分はさらに多くの種類があると云えます。漢方薬による副作用を考えると、漢方薬を構成する生薬成分1つにつきにも注意を要します。漢方薬の副作用を未然に防ぐためには、副作用をよく理解しておくことが大切です。

漢方薬の副作用とは?

漢方薬による重大な副作用として「間質性肺炎」「偽アルドステロン症」「肝機能障害・黄疸」「膵臓静脈硬化症」の4つが挙げられます。これらは漢方薬の副作用の半数以上を占めます。

一方、副作用の頻度としては低ですが、軽視できない生薬由来の副作用として、麻黄由来の自律神経系症状や、附子由来の心血管系症状などがあります。なかなか見かけることがないため、認知されていない方もいらっしゃるかもしれませんが、本特集では、これら2点の生薬由来の副作用を紹介いたします。

①麻黄由来の自律神経系症状

自覚症状:不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮など

麻黄を含むツムラ医療用漢方製剤

葛根湯(3.0g) / 葛根湯加味(3.0g) / 小青龙湯(3.0g) / 麻黄湯(5.0g) / 越前加減湯(6.0g)  
煎子仁湯(4.0g) / 麻舌甘石湯(4.0g) / 防風通聖散(1.2g) / 五積散(1.0g) / 麻舌甘石湯(4.0g)  
神秘湯(5.0g) / 五虎湯(4.0g) / 麻黄附子細辛湯(4.0g)

※カクコ内は麻黄の含有量(含有量が高いほど発症リスクは高い)

②附子由来の心血管系症状

自覚症状:動悸、息切れ、倦怠感、めまい、失神など

附子を含むツムラ医療用漢方製剤

八味地黃丸(0.5g) / 桂枝加附子湯(0.5g) / 真武湯(0.5g) / 大防風湯(1.0g) / 牛車腎気丸(1.0g)  
麻黄附子細辛湯(1.0g)

※カクコ内は麻黄の含有量(含有量が高いほど発症リスクは高い)

漢方薬を正しく服用するために

漢方薬は、どちらかというと馴染みがない薬剤かもしれませんが、複数の漢方薬を併用することは珍しくありません。これを機会に、漢方薬について少しでも知っていただけたら幸いです。薬剤科では、患者さんに安心して治療に臨んでいただけるよう、副作用防止に努めております。もし気になる症状があれば、当院薬剤科またはお近くの医療機関までご相談いただければと思います。

## 地域医に寄り添う在宅医療

白河厚生総合病院 総合診療科 小坂 明博

在宅療養支援診療所は令和4年4月1日に開設し、福島県南地域における在宅医療の重要な担い手とし、地域住民の在宅療養を支えるため、日々の訪問診療を通じて患者やその家族に寄り添う医療を日々めざしております。

訪問診療は福島県白河市や周辺地域を対象に行われ、総合診療科の現在医師4名が対応しています。患者の実人数は83人に達し、悪性腫瘍終末期や重度認知症、神経難病、糖尿病など多岐にわたる疾患に対応しています。訪問頻度は患者の希望に応じて調整され、患者や家族とのコミュニケーションを大切にしながら診療を進めていきます。

対象地域は、白河市、矢吹町、泉崎村、中島村、西郷村、栃木県那須郡の一部となります。月、火、木曜日午前。火、水、木、金曜日午後の交代診療を実施しており、夜間、休日は担当医が電話対応し、緊急往診が必要な時は当番医が対応しております。

訪問診療で対応しなくなった患者はスムーズに入院治療に移行でき、退院後も継続的な在宅療養が可能です。また、診療材料の調達もスムーズに行われ、24時間365日の連絡体制が整っています。

当院の訪問診療は地域住民の医療ニーズに応え患者さんや家族が安心して自宅で最期を迎えられる環境づくりに貢献していきたい、希望に寄り添う診療が出来る様、サポートしていきます。皆様も訪問診療を考えている方は、ケアマネージャーやかかりつけ医師にご相談ください。

## 第19回福島県緩和医療研究会 開催

緩和ケアサポートチーム一同

2024年8月3日出白河厚生総合病院 消化器外科部長の竹村真一先生が大会長として、第19回福島県緩和医療研究会が開催されました。県内の緩和医療に携わる医療従事者約50名が参加しました。研究会は三部構成で開催され、第一部の一般演題では、県内各施設の医師、看護師、薬剤師より7演題が発表されました。当院からは、看護部 小針文子より「認知症高齢終末期乳がん患者の「家に帰りたい」思いを多職種でつなぐ在宅療養支援」、薬剤科 鈴木茂太より「レスキュー麻薬自己管理の活動報告」について発表がありました。発表後は、各発表者、参加者と質疑応答を通じて意見交換の場となりました。

また、特別講演では社会福祉法人民生社 江戸川病院 腫瘍内科副部長兼化学療法センター長の後藤宏樹先生より「ケモとカンフの交差点で思うこと1.1」と題した講演をいただきました。公認心理師の資格を持ち、がん治療医として日々診療にあたりながら緩和ケアに携わる現状を知る貴重な機会となりました。

緩和ケアは、患者さん一人ひとりのからだや心などの様々な苦痛を和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくためのケアです。私たち緩和ケアチームは、今後さらに緩和ケアの質を高めるべく研鑽を積み重ね、患者さんご家族が安心して過ごせるよう、多職種連携を大切にしながら質の高い緩和ケアの提供に日々努めてまいります。

## オープンキャンパス・学院祭を開催しました。

看護学院 芳賀 洋平

令和6年7月21日にオープンキャンパス・学院祭を開催しました。進学希望者や保護者を含む約70名の方にお越しいただきました。

第一部の学校説明会では、学校紹介・令和7年度入試概要や学院生活について、教員及び各学年の代表者が説明しました。また、サークル紹介では和やかな雰囲気の中で学生各々が考えた方法で発表することができました。

第二部の学院祭は、今年度より一般公開となり、地域の方々を含む多くの方々にご来場いただきました。各教室で学習成果物の紹介や看護ライブなどを行いました。看護実習室では、3年生が中心となり聴診法や注射法などの看護技術を実演と一緒に行いました。

進路相談では、学習方法や学院生活などについて、先輩の話を熱心に聞いていました。

オープンキャンパス・学院祭は在校生にとっても大変有意義な時間となり、本学院の魅力を十分にPRすることができました。

## 院内ニュース IN-HOSPITAL NEWS 2024.6.8

### NEWS 01 永年勤続表彰式

総務課 鈴木 夏海

令和6年8月、JA福島ビルでは永年勤続30年功労職員表彰式が、白河厚生総合病院では永年勤続20年功労職員表彰式をそれぞれ執り行われました。表彰者は、「これからも地域の皆様のためにより一層尽くしていきたい」と話されました。




永年勤続30年      永年勤続20年

### NEWS 02 病院運営委員会

総務課 鈴木 伸英

令和6年8月1日付、白河厚生総合病院の会議室にて病院運営委員会が開催されました。この委員会には、JA 夢みなみ、JA 東西しらね、当病院の代表者、白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村、那須郡の首長などが出席し、病院運営に関する重要な事項を審議しました。また、地域の要望を病院に反映させ、地域医療の確保と農村地域の健康増進を図ることも目的としています。

委員会では、令和5年度の決算概況などの事業報告が行われ、令和6年度事業計画についても説明されました。これらの議題は、出席者全員の賛同を得て承認されました。

### NEWS 03 救急マニュアル研修会

総務課 山田 卓

6月から2か月間にわたり、救急医療マニュアル研修会を実施しました。この研修会は、救急時の患者対応に関する知識と技術を学ぶ場で、毎年、研修医や看護師だけでなく、全ての職員や救急隊員を対象に開催されています。

研修では、様々な救急患者への対応方法が紹介され、特にBLS（一次救命処置）についても詳しく学びました。AEDの使用法や心臓マッサージの実技を含め、実際の場面を想定したトレーニングが行われました。この研修を通じて、全職員の救命対応スキルと知識の向上を図り、より多くのスタッフが緊急時に対応できるようにすることを目指しています。



## Topics 白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から白河駅間の往復が無料の巡回バスをご利用頂けます。

### 白河厚生総合病院 バスコース



※病院の休診日（日曜日、祝祭日、第1・3土曜日、お盆・年末年始）は運休します。  
 ※土曜診療日の運行は7時までとなります。  
 ※停留所の標識はありません。

停車場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
新白河駅(東口)	7:35	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—
福島銀行白河支店(新白河)	7:40	—	9:35	—	11:05	12:05	—	14:50	—
白河駅	7:43	—	9:40	—	11:10	12:10	—	14:55	—
白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	—
ヨークベニマル横町駅前	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	—
小峰大橋 田町駅	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	—
白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	—
白河厚生総合病院	—	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
小峰大橋 田町駅	—	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
ヨークベニマル横町駅前	—	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
白河駅	—	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
白河駅(昭和町)	—	9:20	—	10:50	11:50	—	14:35	—	16:05
福島銀行白河支店(新白河)向かい	—	9:25	—	10:55	11:55	—	14:40	—	16:10
新白河駅(東口)	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—	16:15

【おしらせ】 交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

風によせて | VOL.72

協賛 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院

〒住所 / 〒961-0005 福島県白河市豊地上学次郎 2-1  
 TEL / (0248) 22-2211 FAX / (0248) 22-2218  
 E-mail / info@shirakawa-kosei.jp

地域と医療を結ぶ広報誌

# 風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL. 73  
2025.1  
KAZENI  
TOSETE



主筆の冬

COMMENTS

- ◎病院長挨拶.....2
- ◎医療連携.....3
- ◎PET-CT 啓蒙活動.....3
- ◎特賞.....4
- ◎福島県国民保護共同活動訓練.....5
- ◎こんにちは！新任です.....5
- ◎健康減塩メニュー.....6
- ◎医療安全推進週間.....6
- ◎看護学院第64回懇話会.....7
- ◎看護部文化祭.....7
- ◎院内研修会「医療安全・個人情報保護研修会」.....7
- ◎院内研修会「院内感染対策研修会」.....7
- ◎無料巡回バスのご案内.....8

特集 朝食をしっかりと食べよう！

JA福島厚生連 白河厚生総合病院

Shirakawa Kosei General Hospital

## ごあいさつ salutation



院長 農村健診センター所長 大木 進司

### 新年のご挨拶

皆さま、今年7年ぶりのスタートにあたり一言ご挨拶申し上げます。  
今年「巳（きのとみ）」という60年に一度の酉年です。乙と書く「巳」とは陽気があってもしなやかに伸びる草木を象徴するそうです。「巳」は再生と変化を意味するといわれています。そして「巳」はギリシア神話に登場する名医のアスクレピオスが持つ杖に巻き付いていて、WHOのロゴにも使用されているように「巳年」は医療とのかりの深い年であるといえます。

そんなメモリアルな新年を迎えたわけですが、当院では福島県立医科大学救急医療学講座からの支援を受け「救急治療科」が1月より新たにスタートしました。救急医療は1次、2次、3次と重症度・緊急性に応じて段階的に対応する体制が確立されています。1次救急は入院や手術の必要がなく、自力で帰宅できる比較的軽微な患者に対応します。2次救急は入院や手術が必要な患者を24時間体制で対応します。そして3次救急は1次救急や2次救急では対応が難しい生命に関わる重症患者に対応する救急医療です。当院は2次救急医療機関であり、県南医療圏では当院を含む4つの病院で病院間連携を敷いています。高年層、急性冠症候群（心筋梗塞や不安定狭心症）など一部の3次救急疾患は当院で対応します。それ以外、連携する県内の救急医療センターに搬送し治療を行っています。これまで当院は休診日（日曜日、祝日、第1-3土曜日）を除く日中の時間帯は、総合診療科が主に救急対応し各専門診療科と連携しながら患者さんの治療にあたってきました。今後は、さらなる充実を目指し、主に内科系疾患は総合診療科が、外科系疾患は救急診療科が担当となり、専門科科と連携を取りながらこれまで同様、地域住民の皆さんが安心して暮らせるような救急医療を提供していきたいと考えています。

2025年の医療はたくさん課題を抱えてのスタートとなりました。2025年は、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上の後高齢者になる年で、この年齢層の増加は、医療ニーズの拡大を引き起こし、慢性疾患や複数疾患を抱える患者への対応や在宅医療、地域包括ケアシステムの強化が求められます。同時に急激な少子化によって働く世代の労働力は減少し医療資源の地域偏在は加速していきます。今後は外科医療、産科医療、救急医療など不足分野への対応が求められます。また医療報酬政策によって病院運営は厳しさを増し、患者負担増のリスクが重点となります。効率化や少ない人的資源の活用のため、デジタルヘルスケアやAIの導入は必須となり、遠隔診療やロボット技術の導入によって医療資源の不足に貢献しながら、持続可能な医療体制の構築が期待されます。

当院は昭和19年に39床の白河厚生病院として開院し75年と60周年を迎えました。

県南地域における当院の役割は、県中や県北に移動せずとも、高度医療から在宅医療までできるだけ地域で完結させることであるとと考えています。これら「地域を守り地域の皆様に愛される病院を目指します」という基本理念に基づき、地域住民の皆さんが安心して生活できるよう、よりよい医療の提供を目指してまいります。

白河厚生総合病院について  
地域を守り地域の皆様に愛される病院を目指します

基本理念

基本方針

私たちは、一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します  
一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます  
一、患者さんを全人的に理解し、個々を思いやりをもって接します  
一、充分に説明をし、患者さんの意志を尊重した医療を実践します  
一、使命を自覚し、たかまき精神を掲げて医療の質の向上と人材の育成に努めます

今月の表紙 Cover Story  
【主筆の冬】

## 医療連携 登録医療機関の紹介 すずき内科クリニック

こんにちは。すずき内科クリニック院長の鈴木祐史です。当院は平成10年に白河市大に開業し、30年近く地域のかかりつけ医院として、地域のニーズに応じた診療を行ってきました。現院長である私の専門は総合診療で、10年間、最先端の大学病院と併地医療の現場で研鑽を積んでまいりました。総合診療を専門としている身として、当院では「断らない医療」を掲げております。もちろん当院での対応が難しい方に関しては、厚生病院さんをはじめとした各種医療機関と連携を取らせて頂きます。また当院の得意としているところとして喘息・アレルギーと漢方診療があります。アレルギー症状や長引く咳でお困りの方、また漢方診療に興味がある方はご相談下さい。

### 診療情報

時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	-	○	○	○	-
午後	○	○	-	○	○	-	-

【受付時間】  
午前 8:30-11:30  
午後 15:00-17:30 (休館・大館)  
午後 15:00-16:30 (休館・余館)  
○休診予約あり

【休診日】  
水曜、土曜午後、日曜、祝日

【診療科目】  
内科・呼吸器内科・アレルギー科  
消化器内科・小児科

◎住所/〒961-0051 福島県白河市大森/内 84-4  
◎TEL / 0248-24-4114  
◎院長/鈴木 祐史



## 白河厚生総合病院、JAまつりに参加

### ～健康相談とPET-CTがん検診の啓蒙活動～

健康福祉課 下校富美江

白河厚生総合病院は、2024年10月26日に須賀川市きゅうりん館で開催されたJA夢みなみ主催の「JAまつり」に参加しました。当日は、地域住民の健康増進を目的に、骨密度測定とPET-CTがん検診に関する啓蒙活動を実施し、多くの来場者で賑わいました。

さらに、11月2日にはJA夢みなみ本店で開催された「JAまつり」にも参加し、PET検診受付コーナーを設置しました。会場では、放射線技師がPET検査の具体例や検査の流れについて丁寧に説明し、「興味はあったが良いきっかけになった」との声をいただき、当日その場での申し込みもありました。あいにくの雨天となりましたが、500個のポケットティッシュを来場者に配布し、PET検診の認知度向上に繋がる良い機会となりました。

## Special 朝食をしっかりと食べよう！

feature

栄養科 柴 百恵

みなさん、朝食はしっかりとれていますか？1日の活動をするためには、エネルギー補給が欠かせません。今回は朝食をとることで体にどのような変化が起きるのかをご紹介します。

### 1 午前中のエネルギー源

脳が使うことができるエネルギー源はご飯やパンに多く含まれるブドウ糖だけ。しかし、人が1度の食事で体内に蓄えられるブドウ糖の量は約12時間分です。朝食を抜くと、前日の夕食から次の食事で12時間以上空いてしまうため、脳に必要なエネルギーがまわらなくなってしまいます。

### 2 体温の上昇

起床時は体温が低く、不活発な状態。朝食をしっかりとることでエネルギーが補給され、胃腸の活発化・血糖値の上昇により体温が上昇します。体温が1度上昇することで免疫力は5～6倍もUPするとされており、風邪や病気の予防にもつながります。

### 3 体内時計の調整

人の体には体内のホルモン分泌や自律神経を調節する機能があり、これを体内時計と呼びます。この体内時計は主に「光」と「食事」により調節されます。体内時計がずれると「夜眠れない」「朝の目覚めが悪い」といった問題が起きてしまいます。起床後はカーテンを開けて日の光を浴び、朝食をしっかりとって気持ちよく1日を過ごしましょう！

### 4 便秘の解消

食物が胃に到達すると、その刺激で大腸の蠕動運動が起こり、便が直腸へ送り込まれます。食事量が少なかったり、食後すぐの激しい運動は排便の機会を逃してしまいます。便秘気味の方はしっかりと朝食をとることで便秘改善につながるかもしれません。





## はじめて！研修医です

白河厚生総合病院では、5名の研修医を育成しました。各自白河での毎日に慣れるよう、第一研修医になりますので、よろしくお祈りいたします。

### 総合診療科

**馬淵 結** (まぶち ゆい)  
【出身校】筑波大学  
研修・病院 ● 日本ユニバーシティー・ゲーム  
研修・科目 ● 総合診療 実用臨床学 放射線科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

### 研修医

**長沼 子瑛** (ながぬま しほ)  
【出身校】筑波大学  
研修・病院 ● 聖隷  
研修・科目 ● 内科 小児科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

### 研修医

**田村 直樹** (たむら なおき)  
【出身校】筑波大学  
研修・病院 ● 聖隷  
研修・科目 ● 内科 小児科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

### 研修医

**鈴木 遥士** (すずき はるし)  
【出身校】福島県立医科大学  
研修・病院 ● 聖隷  
研修・科目 ● 内科 小児科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

### 研修医

**小野 良太** (おの りょうた)  
【出身校】茨城県  
研修・病院 ● 聖隷  
研修・科目 ● 内科 小児科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

### 研修医

**佐藤 健太** (さとう けんた)  
【出身校】福島県立医科大学  
研修・病院 ● 聖隷  
研修・科目 ● 内科 小児科 産科  
研修・内容 ● 研修医としての役割や、研修生としての意識についてお話しします。

---

## IN-HOSPITAL NEWS 2025.3-4

### NEWS 01

#### 第62回 卒業証書授与式

再任教員 芳賀 洋平

令和7年3月4日、第62回卒業証書授与式が開催されました。卒業生25名は華やかな着姿で式場に、前原平学院長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。学院長は「日々技術の向上に研鑽を積んで看護師としての機能を獲得していただきたい」と式辞を述べられました。在校生代表の山下和哉さんが式辞を送り、卒業生代表の尾原勇人さんが答辞を述べました。また、学院長賞1名、福島県医師会会長賞1名、優秀賞2名、勤労賞及び精進賞5名が表彰されました。3年間の学校生活に対する万感の思いを胸に4月からそれぞれの道を歩み始めます。これから温かいご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



### NEWS 02

#### 専門研修修了証書授与式

臨床研修センター 山田 達

令和7年3月14日、白河厚生総合病院内科専門研修プログラムを修了した野野村健太、白河総合診療科プログラムを修了した相原亮太先生に、大大学院より修了証書が授与されました。これまでの研鑽の成果を胸に、新たな環境でも活躍できることを心よりお祈り申し上げます。おめでとうございます！



### NEWS 03

#### 初期臨床研修医入会式

臨床研修センター 宇内 彰旭

令和7年4月1日、本年度は5名の初期臨床研修医が本院の研修プログラムに加入しました。新たなスタートを切った先生方が医師として大きく成長できるよう、病院全体で支えていきたいと思っております。



## Special 特集 feature

# 採血室がリニューアルしました！！

検査科

今まで大変ご迷惑をおかけしておりました、採血受付・採血の待ち時間の短縮を目的とし、2/25より採血室をリニューアルしました。

### 変更点① 採血室の採血・採尿受付に自動受付機を2台導入しました



【受付方法】  
写真の黄色枠のガラス面に受付票のバーコードをかざして下さい。  
車椅子の方は最初に画面の車椅子ボタンをタッチして下さい。

【受付からの流れ】

- 採血のみ
- 採血と採尿
- 採尿のみ
- その他

整理券が出ます  
紙コップがでます  
紙コップがでます  
番号札がない方

採血室の外でお待ち下さい  
整理券が出ます  
採血室のトイレで採尿  
採血室内受付へお立ちください

採血室の外でお待ち下さい  
採血室のトイレで採尿  
採血室の外でお待ち下さい

【受付方法】  
写真の黄色枠のガラス面に受付票のバーコードをかざして下さい。  
車椅子の方は最初に画面の車椅子ボタンをタッチして下さい。

【受付からの流れ】

- 採血のみ
- 採血と採尿
- 採尿のみ
- その他

整理券が出ます  
紙コップがでます  
紙コップがでます  
番号札がない方

採血室の外でお待ち下さい  
整理券が出ます  
採血室のトイレで採尿  
採血室内受付へお立ちください

採血室の外でお待ち下さい  
採血室のトイレで採尿  
採血室の外でお待ち下さい

### 変更点② 採血室内モニターを増設しました

採血室入り口と飲食ブース前に設置した採血室内モニターに番号が表示された方は、採血室へお入り下さい。



採血室入り口



飲食ブース前

### 変更点③ 採血台が新しくなりました(4台⇒6台に増設)

看護師・臨床検査技師が最大6名にて採血を行い、待ち時間短縮に努めます。  
(車椅子の方も、どの場所でも採血できるようになりました)

不明な点は、近くのスタッフにお声がけ下さい

## 産後のママに労いの気持ちを込めて

4階西病棟 スタッフ一同

令和7年1月より産後のお祝い膳がリニューアルとなりました。当院8階のレストラン「そら」が特別に用意した種類のメニューの中から好きなものを選んでいただき、ケーキ・ドリンクをセットで提供しています。

お部屋でゆっくり召し上がる方、ご家族と一緒にレストランで召し上がる方、もしくは退院後に改めて利用することも可能です。利用した方からは、大変好評で、お喜びの声を頂いています。これから出産される妊婦さんからも「おいしいご飯を食べられると思うとがんばれます!!」等のお声をいただいております。今回のお祝い膳リニューアルがこれから出産される方への魅力の一つになれば嬉しく思います。また、出産や産後の育児で疲れたお母さん方においしいお食事を召し上がって、少しでもリフレッシュしてまた頑張ろうと思っただけなら幸いです。これからも総合病院ならではの、安心安全で妊婦さんに寄り添った温かいお産を続けていきたいと思っております。




---

## 救急治療科

総務課 鈴木 夏海

令和7年1月に新設されました、救急治療科です。県南地方の医療機関で初めての救急専門の診療科になります。主に外科系疾患患者の初期治療や、消防と連携したドクターカーの運用を行っています。

より早く患者さんの容体を的確に判断し処置を行い、3次救急医療機関へ搬送することができます。迅速で高度な医療を提供し、地域のお役にたてるよう努めてまいります。



## Topics

# 白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から新白河駅間の往復で無料の巡回バスがご利用頂けます。

### 白河厚生総合病院 バスコース



※病院の休診日(日曜日、祝祭日、第1・3土曜日、お盆・年末年始)は運休します。  
※土曜診療日の運行は7便までとなります。  
※停留所の標識はありません。

停留場所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
新白河駅(東口)	7:35	-	9:30	-	11:00	12:00	-	14:45	-
福島銀行白河支店(新白河)	7:40	-	9:35	-	11:05	12:05	-	14:50	-
行	7:45	-	9:40	-	11:10	12:10	-	14:55	-
白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	-
ヨークベニマル横町店向かい	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	-
小峰大橋 田町側	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	-
白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	-
白河厚生総合病院	-	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
小峰大橋 田町側	-	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
ヨークベニマル横町店前	-	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
白河駅	-	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
行	-	9:20	-	10:50	11:50	-	14:35	-	16:05
福島銀行白河支店(新白河)向かい	-	9:25	-	10:55	11:55	-	14:40	-	16:10
新白河駅(東口)	-	9:30	-	11:00	12:00	-	14:45	-	16:15

【お知らせ】交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

## 風によせて | 2025.4 VOL.74

■住所 〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎 2-1  
■HP / https://www.shirakawa-kosei.jp

編集発行 福島県厚生農業協同組合連合会  
**白河厚生総合病院**

TEL (0248) 22-2211 FAX (0248) 22-2218  
E-mail info@shirakawa-kosei.jp

地域と医療を結ぶ広報誌

# 風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL. 75  
2025.7  
KAZENI YOSETE



清流の滝 下郷町

CONTENTS

- 病院長挨拶……………2
- 医療連携……………3
- 白河総合診療アカデミー10周年……………4
- 特集……………5
- 読者の声……………6
- 入学式 白河厚生総合病院付属高等学校看護学部……………7
- 初期研修医の採血OSCE……………7
- 新人研修……………7
- 令和7年度知事表彰……………7
- 無料巡回バスのご案内……………8

特集 心臓リハビリテーション

JA福島厚生連 白河厚生総合病院

Shirakawa Kosei General Hospital

ごあいさつ salutation



院長 農村健康センター所長 大木 進司

病院長 農村健康センター所長 大木 進司

今月の表紙 Cover Story

【清流の滝 下郷町】  
町内町外から徒歩15分、国道118号線沿いに位置する清流の滝は、夏になると涼風が吹く。近所から来た子どもたちが水遊びを楽しんでおり、水しぶきが空を舞い上がる。清流の滝は、地域の宝であり、人々の心を癒す場所である。

定信公の志を今に

酷暑の折、皆さまがお過ごしでしょうか。白河の山々も濃い緑に包まれ、蝉の音が聞えるようになりました。夏は元気をくれる季節である一方で、高齢の方や小さなお子さんにとっては体力を奪う厳しい時期でもあります。ご自宅でも無理せず冷房を使い、こまめな水分補給をお過ごしください。今年の夏は、熱中症による救急搬送が全国的に増加しており、白河地域でもすでに数多くの患者さんを当院で受け入れています。中には重症化するケースも見られます。外出時は帽子や日傘、経口補水液の携行など、日頃のちょっとした備えが命を守ります。地域の皆さまが安全に夏を乗り越えられるよう、私たち医療・情報発信の両面で力を尽くしてまいります。

さて最近では夏の稲穂が、まるで大地の息吹を受けてゆっくりと音を伸ばすように、日ごとに勢いを増えています。昨年からは米不足、米高騰、備蓄米などを巡る話題が続き、米は日本人の主食であり古来より米問題は多く存在してきました。現在放送中の大河ドラマには当地ゆかりの松平定信が描かれています。老中首座となり能が行った「寛政の改革」の背景には「天明の大飢饉」という米問題が存在しました。当時幕府は江戸への米の流入を促す政策を打ち出しましたが米高騰、地方の米不足が加速したとされています。寛政の改革では飢饉対策に取り組み、都市・農村問わず凶作や自然災害に備える備蓄貯蓄政策を推進しました。一方あまり知られていませんが定信公は農政だけでなく医療・福祉にも重点を置いた政策に積極的に取り組まれました。七分積金（しちぶづみきん）と医療・福祉への活用、人足増強の設置による生活保障、小石川養生所の強化、白河藩での人口増加政策など現代でいうところの公衆衛生や社会福祉の観点から大きく貢献した人物であると言えます。

定信公の時代から200年以上が経過しましたが地域における医療福祉の課題は山積しています。この地の中核病院である当院は、彼の高い志を少しでも受け継ぎ、これからも地域の皆さまにとって必要とされる医療・福祉を提供し続けてまいります。

白河厚生総合病院について

基本理念 地域を守り地域の皆様へ愛される病院を目指します

基本方針 私たちは

- 一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かに暮らすに貢献します
- 一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
- 一、患者さんを全人的に理解し、疑念と不安を取り除くことを最優先とします
- 一、充分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します
- 一、使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます

医療連携 登録医療機関の紹介 かの小児科クリニック

私は2018年4月から7年間白河厚生総合病院に勤務しておりましたが、この度2025年4月に西郷村にてクリニックを開院しました。主に小児の感染症やアレルギーの診療を行っております。入院治療や精密検査が必要となる患者さんに関しては、白河厚生総合病院へ紹介させていただいております。

アレルギーの患者さんは潜在的に多数いらっしゃいますが、小児のアレルギー専門医は特に県内ではまだまだ少ない状況であり、開院後アトピーや喘息等で相談に来られる患者さんが多いです。何かお困りのことがある場合、ぜひ相談ください。

診療情報

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:30	●	●	●	●	●	●
14:00-18:00	●	★	●	●	●	●

★火曜日の14時から15時の間はワグン外来となり、午後の一般診療は15時からとなります。

診療科目 小児科、小児アレルギー科

●住所 / 〒961-8061 福島県白河郡西郷村大字小田倉字山手線15-2  
●TEL / 0248-21-8500 FAX / 0248-21-8501  
●院長 / 野野 修人 (かのの しゅうと)

白河総合診療アカデミー 教授 宮下 淳

令和7年4月13日は、福島県西郷村の東京第一ホテル新白河にて、福島県立医科大学寄附講座「白河総合診療アカデミー」の創立10周年を祝う記念式典が行われました。当日は医療関係者や行政関係者など約40名が集い、これまでの歩みを振り返るとともに、これからの地域医療を見据えた新たな一歩を踏み出しました。

式典では、前原和平センター長が10年間の活動を振り返り、地域医療における総合診療の重要性とアカデミーの使命について語りました。続く福島県立医科大学の福原俊一副学長の講演では、これまでの教育・研究の実績と未来への展望が示されました。また、来賓としてご出席いただいた福島県立医科大学津医療センターの横山病院長や白河市の鈴木市長からは、地域医療への貢献に対する感謝とさらなる飛躍を願う温かな祝辞が寄せられました。

平成27年4月の設立以来、白河総合診療アカデミーは白河厚生総合病院を拠点に、資金・病棟・外来・在宅という地域医療のすべての場面に思い、患者さんの急性期から看取りまで一貫して寄り添う医療を提供してきました。診療と並行して臨床研究も積極的にを行い、これまでに約100篇の英文原稿論文を発表し、地域での実践から得た知見を世界に向けて発信しています。こうした努力は、患者さん一人ひとりの医療の質向上にもつながっています。

また、若手医師の育成にも力を注ぎ、初期研修医は10年連続でフルマッチを達成しました。専攻医も数多く輩出し、全国各地で活躍しています。式典当日は、かつてアカデミーで学び習得した医師たちも駆けつけ、再会を喜び合う温かな場面も見られました。

白河総合診療アカデミーは、これからも「地域とともに歩む医療」を胸に、住民のみならず健康と暮らしを支え、診療と研究の両輪で新たな挑戦を続けてまいります。

Special 特集 feature

## 心臓リハビリテーション

リハビリテーション科 湯田 美保

聞きなれない言葉ですが、一言でいうと「心臓を元気に保ち再発を防ぐ治療法」です。昨今の医療の進歩によって循環器疾患はますます予防が大切で新しいお薬が開発されてきました。しかしながら、一時的に症状が良くなってもきちんとメンテナンスを行わないと常に再発や悪化の危険があり、場合によっては心臓の機能が衰えてしまいます。そこで心臓リハビリテーションの出番です。

何をするかといいますと、「運動」をします。「心臓が悪いから動けない」と思い込んでいませんか？

実は「適度な運動を継続して行った方が心臓の負担が軽減し、体力の維持・改善が出来ることで結果的に長生きする」ということが医学的に証明されています。しかし、だからといって無理に運動するのは逆効果で、軽すぎても強すぎてもいけません。

当院では医師、理学療法士、看護師、臨床検査技師が毎月1回リハビリミーティングを実施し、より良い治療を提供できるように情報共有や課題の検討など行っております。

心疾患がある方もいきいきとした人生が送れるように、「心臓の治療をしては症状は良くなったけれど、どのくらい動いていいかわからない」「再発が心配だ」等の皆さんの疑問にお答えし、循環器疾患を持っていても元気に生活するお手伝いをしています。外来では心臓運動負荷試験(CPX)も行っています。心臓運動負荷試験とは血圧、心電図、呼吸ガスを計測しながらエルゴメーターとよばれる自転車漕ぎ、限界まで負荷をかける検査です。この検査を行うと効率よく安全に出来る運動強度や脈拍の上限を知る事が出来ます。不安がある方はぜひ主治医にご相談下さい。



心リハビリミーティング



心リハビリチーム



心臓運動負荷試験

# 令和7年度 糖尿病教室予定表

日時：毎月第4火曜日 8:45～  
 場所：2階カンファレンス室

どなたでも参加OK 参加費無料

日時	内容	講師
2025年 4月22日	糖尿病はどんな病気	草野医師
5月27日	糖尿病と言われたら心がけたい食事の仕方	管理栄養士
6月24日	誰でも簡単にできる運動	理学療法士
7月22日	お薬の話 (1)	薬剤師
8月26日	血糖関連項目について	検査技師
9月30日	肥満について	平井医師
10月28日	慢性腎臓病について 生活の注意点について	岩崎医師
11月25日	今日から実践！塩分2gを減らす方法	管理栄養士
12月23日	日常生活から工夫しよう	理学療法士
2026年 1月27日	お薬の話 (2)	薬剤師
2月24日	糖尿病で起こる怖い合併症	森谷医師
3月24日	糖尿病と言われたら気をつけたい生活習慣	看護師

## 白河厚生総合病院付属高等看護学院

# 令和8年度 学生募集

Shirakawa Kosei General Hospital  
Affiliated Nursing School



**募集定員**  
30名(推薦入学を含む)

**修業年限**  
3年課程(全日制)

**入学時期**  
令和7年10月6日～11月6日  
11月6日締切

**試験日**  
令和7年11月17日

**受験科目**  
現代の国語、英語コミュニケーションI、数学I、看護

**合格発表**  
令和7年11月28日

**1. 次のいずれかに該当する方**  
 (1) 高等学校を卒業した方、または令和8年3月に高等学校を卒業見込みの方  
 (2) 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方

**2. 地域の保健・医療・福祉に貢献できる方**

看護師国家試験の受験資格が得られる。また、保健師・助産師学校への進学、大学への編入試験の受験資格が得られる。

**卒業後の資格**  
● 専門士(医療専門課程)の称号が付与される。

**募集要項をご希望の方**

当学院ホームページより必要書類をダウンロードするか、下記の方法でご請求ください。

(郵送で請求する場合)  
〒961-0005 福島県白河市豊地上次次部2番地1  
白河厚生総合病院 看護部  
〒961-0005 福島県白河市豊地上次次部2番地1  
TEL: 0248-23-4081 / FAX: 0248-23-4136  
https://www.shirakawa-kango.jp  
Mail: skouseig@shirakawa-kango.jp

(面接で請求する場合)  
面接日：令和7年11月17日(日)  
時間：10:00～17:00  
※お申し込みは、面接にお越しください。  
※お申し込みは、面接にお越しください。  
※お申し込みは、面接にお越しください。

福島県厚生農業協同組合連合会  
白河厚生総合病院付属高等看護学院

〒961-0005 福島県白河市豊地上次次部2番地1  
TEL: 0248-23-4081 / FAX: 0248-23-4136  
https://www.shirakawa-kango.jp  
Mail: skouseig@shirakawa-kango.jp

白河厚生看護部 募集要項



## 院内ニュース IN-HOSPITAL NEWS 2025.4.5

**NEWS 01** 令和7年度 第65回 入学式 挙行

白河厚生総合病院付属高等看護学院  
 令和7年4月7日

専任教員  
芳賀 洋平

4月7日晴春らしい穏やかな日差しの中、第65回入学式が挙行され、22名の新入生が前原学院長より入学を許可されました。新入生を代表して、大庭円花さんが「豊かな知識と技術を得て、医療の現場や日常生活において、いかなる状況にも対応できるような努力を続けていきます」と誓いの言葉を述べました。新入生たちは、希望を胸に看護学生としての第一歩を踏み出しました。皆で温かな声かけをしながら成長してほしいと願っています。

**NEWS 02** 初期研修医の採血OSCE

看護師部 インジェクショントレーナー 根本由利子

令和7年4月26日、当院では初期研修医5名を対象に採血OSCE(客観的臨床能力試験)を実施しました。これは、当院の看護基準に基づき、感染対策に配慮しながら、安全かつ安楽に採血を行う技術が身につくかを評価するものです。

研修医たちは、仲間同士で何度も練習を重ねてきた成果を発揮し、全員が無事に合格することができました。今回の経験を通過して、採血技術の習得だけでなく、今後の臨床現場に向けた自信にもつながったことと思います。

今後もフィードバックを活かしながら技術を磨き、実践の場でしっかりと役立ててほしいと願っています。

**NEWS 03** 新人研修

研修責任者 上石美歌子

今年度も17名の元氣な新人さんが入職しました。看護部では新人研修として1年間の研修プログラムが作成されており、4月は研修の約半分が集合研修となっています。毎日が緊張の研修の中で、リフレッシュとなる研修が院内オリエンテーションです。3グループに分かれ、院内各部署を回り、出先では質問に答え、最後に今回の研修の特徴を発表していきます。先輩と協力し、他職種スタッフとの交流を図ることができました。

初めは緊張で手が震えた採血や血圧管理も、先輩ナースの指導を受けながら経験を積み、実施できるようになりました。

少しずつではありますができる事も増え、6月からは夜勤研修に入ります。明るく元氣な17名の今後の成長が楽しみです。

**NEWS 04** 令和7年度知事表彰

総務課 鈴木 夏海

このたび、当院 名譽院長の前原 和乎先生と、元 福島県厚生農業協同組合連合会 業務部看護課経理長の鈴木 美弥子さんが、(令和7年度 各職種労働者知事表彰)を受賞されました。

この表彰は、県政の発展や県民の福祉向上に長年にわたる大きな貢献をされた方々に対して、福島県知事が顕彰を代表して贈られるものです。

お二人のこれまでのご尽力が高く評価され、5月15日、福島市の杉妻会館で行われた表彰式にて、知事より表彰状が授けられました。

白々の努力と、温かいお人柄で多くの方に慕われてきたおふたりのご受賞を、心よりお祝い申し上げます。

## Topics 白河厚生総合病院 無料巡回バスのご案内

白河厚生総合病院から新白河駅間の往復で無料の巡回バスがご利用頂けます。



**白河厚生総合病院無料巡回バス 時刻表**

行先	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
新白河駅(東口)	7:35	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—
福島銀行白河支店(新白河)	7:40	—	9:35	—	11:05	12:05	—	14:50	—
福島交通昭和町バス停	7:43	—	9:40	—	11:10	12:10	—	14:55	—
白河駅	7:50	8:35	9:45	10:15	11:15	12:15	12:45	15:00	—
ヨークベニマル横町店向かい	7:53	8:38	9:48	10:18	11:18	12:18	12:48	15:03	—
小幡大橋 田町側	7:55	8:40	9:50	10:20	11:20	12:20	12:50	15:05	—
白河厚生総合病院	8:15	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	13:00	15:15	—
白河厚生総合病院	—	9:00	10:00	10:30	11:30	12:30	14:15	15:15	15:45
小幡大橋 田町側	—	9:10	10:10	10:40	11:40	12:40	14:25	15:25	15:55
ヨークベニマル横町店側	—	9:13	10:13	10:43	11:43	12:43	14:28	15:28	15:58
白河駅	—	9:15	10:15	10:45	11:45	12:45	14:30	15:30	16:00
福島交通昭和町バス停	—	9:20	—	10:50	11:50	—	14:35	—	16:05
福島銀行白河支店(新白河)向かい	—	9:25	—	10:55	11:55	—	14:40	—	16:10
新白河駅(東口)	—	9:30	—	11:00	12:00	—	14:45	—	16:15

※病院の休診日(日曜日、祝祭日、第1・3土曜日、お盆・年末年始)は運休します。  
 ※土曜診療日の運行は7便までとなります。  
 ※停留所の標識はありません。

【お知らせ】交通や天候の事情により、出発時間、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

風によせて 2025.7 VOL.75

編集発行 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上次次部2-1  
 HP: https://www.shirakawa-kosei.jp

TEL: 0248-23-2211 FAX: 0248-23-2218  
 e-mail: info@shirakawa-kosei.jp

この広報誌は環境に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。

# 編 集 後 記

今年度も病院年報を発行できる運びとなり、大変うれしく思っております。当病院は、地域医療の役割を果たすため、各部門とも日々の診療や業務の合間に各委員会の活動を通して、病院の体制作りをおこなっております。今回、2016年と2021年に日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定を受け、さらによりよい病院となるために医療と質、および教育を充実させて、地域医療に貢献していくつもりです。2023年は新型コロナウイルス感染症も5類となり、各診療科やコメディカルの方々を含めた部署で、研究の発表や自己研鑽を行っています。さらに、各自の意欲や質の向上とともに業績をあげ、当院全体のレベルアップをしてまいりました。病院の行事、各部門の業務内容、さらに委員会の実績などが把握できるように年報の形で残しておくことは、今後、当院の貴重な財産になると考えております。今回も日常業務でお忙しい中、感染症にも気が抜けない時期が続いておりますが、各部門の責任者の方々には昨年引き続き、業績をまとめていただきありがとうございました。今後もよりよい年報を毎年発刊できるよう心がけてまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

最後に、年報の作成に携わっていただいた広報委員のスタッフの方々に感謝いたします。

(野沢 佳弘)

令和7年12月吉日

広報委員会委員長	野沢 佳弘	
広報委員	大木 進司	宮下 淳
	湯澤 仁志	飛知和美智子
	山口由加里	鈴木 茂太
	舟木 一夫	二木 照美
	柳田 雄貴	大沼恵利奈
	柴 百恵	鈴木 伸英
	山田 卓	江尻 寿子
	大箭 美子	木下 陽平
	高橋 理恵	鈴木 夏海
	芳賀 洋平	



J A 福島厚生連  
白河厚生総合病院

# 病 院 年 報

令和6年度

---

令和7年12月1日発行

編 集 白河厚生総合病院 広報委員会

発 行 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1

TEL 0248-22-2211 FAX 0248-22-2218

印 刷 (有)ワタベ印刷所

---